

会長のページ 県医師会会長就任のご挨拶	稲倉 正孝	3
宮崎大学医学部教授退任挨拶	河南 洋	4
〃 〃	長田 幸夫	5
随筆 孤独死、街のなかの野ざらし紀行 - 警察医の視点 -	大西 雄二	6
旅行記 北陸能登路旅行	森山 正武	8
エコー・リレー(392)	小村 和孝, 木下 浩	9
宮崎県医師会新役員名簿・業務分担		10
各都市医師会役員名簿		12
メディアの目 一皮むける醍醐味	上野 敏彦	17
宮崎大学医学部だより(生殖発達医学講座 小児科学分野)	盛武 浩	18
心・いのちを考える お茶の間作文コンクール受賞作品(銅賞)		19
診療メモ 宮大病院橋通歯科口腔外科クリニック	迫田 隅男	82
宮崎県感染症発生動向		14
あなたできますか?(平成 18 年度医師国家試験問題)		16
各種委員会(会員福祉委員会, 救急医療委員会, 健康スポーツ医学委員会, 学術生涯教育委員会)		27
第 3 回都市医師会会長協議会(概要)		31
宮崎県医師会創立 119 周年記念医学会		34
第 14 回宮崎県医師会臨時代議員会(概要)		37
本県の医療体制整備について 東国原県知事へ要望		41
九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期会長合同会議		42
九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期日医代議員協議会九州ブロック日医代議員(含・次期) 連絡会議		43
都道府県医師会廃棄物担当理事連絡協議会		44
都道府県医師会情報システム担当理事連絡協議会	富田 雄二	48
日医 FAX ニュースから		50
医事紛争情報		52
薬情報センターだより(251) 新薬紹介(その 14)		54
医師国保組合だより		55
理事会日誌		56
県医の動き		60
追悼のこたば		61
会員消息		67
ドクターバンク情報		69
行事予定		73
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会		75
読者の広場		79
ベストセラー		80
おしえて! ドクター健康耳寄り相談室		84
あ と が き		88
~~~~~		
告 知 第 14 回宮崎県医師会定例代議員会・医師連盟執行委員会開催 .....		26
お知らせ 県ドクターズテニス大会( 春期) のお知らせ .....		30
宮崎県医師会勤務医住宅ローン融資利率の改定について .....		80
入会時負担金の変更について .....		81
都市医師会への送付文書 .....		86

## 医 師 の 心 得

- 1 . 私たちは、皆さまの  
健康状態をよくお聞きします。
- 2 . 私たちは、皆さまに  
最善の医療を提供できるよう心がけます。
- 3 . 私たちは、皆さまに  
医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
- 4 . 私たちは、皆さまの  
「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
- 5 . 私たちは、皆さまの  
健康維持と医療の質の向上に尽くします。

社団法人 宮崎県医師会

(平成 14年 3 月 12日制定)

〔表紙写真〕

紀 元 杉

神秘的な大原生林の中で幾千年もの年輪を刻み、  
なお力強く生き続ける屋久杉は、壮大な生命のロマン  
そのものだ。4 月の空に仰ぐ紀元杉は眩しかった。

紀 元 杉 四 月 の 青 き 風 を 抱 き 茂 徳

都城市 まる た しげ のり  
丸 田 茂 徳

## 会長のページ

## 県医師会長就任のご挨拶

稲 倉 正 孝



この度、県医師会長に選任していただき、身の引き締まる思いがしております。今後、2年間力一杯努力いたしますので、ご協力よろしくお願い申し上げます。

さて、わが国の医療を取り巻く環境は、近年、急速に悪くなり、解決すべき問題が山積しています。市場原理主義により格差社会は拡大し、次々と実施される厚生労働省の猫の目行政により、産科・小児科をはじめとする医師不足及び看護師不足は深刻となり、度重なる医療費抑制策により医療機関の経営状況は急速に悪化しています。

医療訴訟の増加、警察権力の医療への介入、勤務医の過重労働は、医療を荒廃・萎縮させています。

患者自己負担の引き上げにより、多くの国民が医療を受けることができなくなり、憲法で保障されている健康で豊かな生活を送る権利が大きく制限されています。地方では高齢化や過疎化が進み、地域医療は加速度的に崩壊し、一部の地域社会では存続さえ危うくなっています。経済財政諮問会議は、混合診療の全面解禁を強く求めており、国民皆保険制度は危機的状況です。「控除対象外消費税」いわゆる損税問題は、20年にわたって医療機関特に病院経営を大きく圧迫してきました。更に数年以内の消費税率の引き上げは、避けられない状況です。もう、これ以上、不合理な負担には耐えられません。平成 20年 4 月に「後期高齢者医療制度」が始まり、地方分権の流れは弱者切り捨て、高齢者切り捨て、地方切り捨ての危険性を秘めています。

このような困難な状況下ではありますが、逃げることなく真正面から、力一杯事にあたります。10年間の県医師会常任理事として、培った知識・経験・人脈の全てを懸けて地域医療の充実を図っていく所存であります。

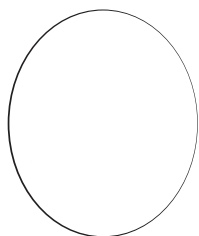
県医師会長選立候補に際してのマニフェストを掲げました。

- 安心して受診できる国民皆保険体制の堅持
- 安全で良質な医療提供体制の堅持
- 地域連携の強化
- 医療における不合理な控除対象外消費税の解消
- 医療制度改革への適切な対応
- 医師・看護師の不足、偏在の解消
- 患者負担増、医療格差の是正
- レセプト審査の透明性の徹底

必要な医療を誰もが公平、平等に受けることができる...これは、国民の権利として国が保障すべきものです。「医療費適正化」の名のもとに現在行われている医療費抑制策は国民の利益・安心・安全を損なうだけでなく、地域社会をも崩壊させる危険性を内包しています。県民の健康と幸福を守り、安心・安全の医療体制を整え、世界に誇れる国民皆保険制度の堅持に全力を尽くす覚悟です。透明性のある県医師会の運営を心がけ、各都市医師会及び会員各位の協力を得て、この難しい時代に立ち向かっていきます。

( H 20.4 .1 )

## 退任挨拶



## 宮崎大学医学部教授退任挨拶

機能制御学講座統合生理学分野教授

かん なん ひろし  
河 南 洋

日州医事 700号(2007年 12月号)の誌上で、宮崎大学医学部長退任の挨拶をさせていただいたばかりでございますが、本年 3月 31日をもって統合生理学分野教授を辞することになり、あらためて挨拶をさせていただきます。平成 4年 8月教授就任以来、医師会の先生方には大変お世話になってまいりました。この稿をお借りして厚く御礼申し上げます。

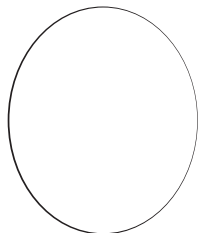
これまでの大学・教員生活を振り返りますと、色々な変革の時期に遭遇しました。それらの事柄を列記しますと、まず入学いたしました大学(兵庫県立神戸医科大学)が在学中に神戸大学へ統合し(昭和 38年)、卒業後行いました旧臨床研修(インターン)制度は我々を最後とし廃止され、その後医師国家試験ボイコット運動により年 3回目の試験が秋に実施され、ようやく医師免許を取得いたしました(昭和 43年)。その後いずれも新設単科医科大学(自治医科大学、産業医科大学)に勤務した後、旧宮崎医科大学にお世話になりました。宮崎での 15年 8か月を振り返ってみた場合、色々反省すべき点が胸に去来いたします。特に最後の 4年余りの期間は大学の統合・法人化といった大きな変革の時期であり、またこの時期学部長に選出されたこともあり、本来の教育・研究活動に専念出来ずに終わりました。一抹の不完全燃焼の感は否めませんが、一方私にとり大変貴重な体験もさせていただきました。幸い多くの方々のご協力・ご支援によりなんとかその重責を果たすことが出来、大変感謝致しております。教育については出来る限り分かり易い授業を心掛け、また生体機能を統合的な視点から理解することに力点を置き、そして学生の興味を喚起し、自発的に勉学する契機となるようトピックスを極力取り入れるように努めました。研究に関しては「体液・

循環系の中枢性調節」のテーマに沿って、特に視床下部による自律神経系中枢制御について、生体全体との関わりを知るため in vivo 実験に軸足を置いた研究を行ってまいりました。

大学の機能は大きく分けて教育、研究、社会貢献であります。各大学は自らの特色を生かした活動を行ってゆくことが強く求められています。先日科学技術政策研究所が国立大学の財務諸表や業務報告書、論文・特許データベースなどから各大学がいずれを重視しているかを、クラスター分析で明らかにした結果が報告されました。宮崎大学は社会貢献に重点を置いたカテゴリー 1Dに属する大学となっています。本学のスローガン「世界を視野に、地域から始めよう」通り、より地域に目を向けた活動の具現化が必要だろとう思います。これと関連して、平成 16年 1月からスタートいたしました JST 地域結集共同研究事業に研究統括として関わらせていただきました。宮崎県下の産学公が協力した初めての大型事業であり、地域産業の活性化と地域 COE 構築を最終目標とし、当面の課題は「食の機能を中心としたがん予防基盤技術創出」であり、約 100名に及ぶ多くの方々が参画し、事業は推進されました。数多くの特許を始め、ブルーベリー葉の有用性など具体的成果が上がりつつあります。今年末で終了いたしますが、ここ宮崎の地にバイオメディカル COE 拠点が出来上がることを強く願っています。

これまで色々な制度・管理体制の激動の時期に遭遇し、先行き不透明で不安を感じたこともありましたが、幸い多くの先輩・同僚に助けられ、将来に夢を抱きながら過ごすことが出来ました。これまでご厚誼をいただいた方々に深く感謝し、退任の挨拶とさせていただきます。

## 退 任 挨 拶



## 宮崎大学医学部教授退任挨拶

外科学講座泌尿器科学分野教授

おさ だ ゆき お  
長 田 幸 夫

今年度 3 月末をもって宮崎大学医学部を定年退職するにあたり、宮崎県医師会の皆様に一言御挨拶申し上げます。

宮崎に来ましたのが昭和 52 年 7 月であります。同年 11 月 1 日より 320 床をもって附属病院の診療が開始しました。当初は泌尿器科、皮膚科、耳鼻科との混合病棟で、泌尿器科スタッフもわずか 4 名でしたが、昭和 54 年 6 月 1 日より 600 床となり、泌尿器科も単独病棟となって入院治療も充実してきました。しかし相変わらずのマンパワー不足が続いていました。

昭和 63 年 3 月に故石澤教授のあとをついで第二代教授に就任しました。その後次第に泌尿器科スタッフも増えていきましたが、それにつれて出先機関も増え、教官の席を埋めるのがやっとという状態が続きましたが、最近少し余裕が出来たかなという感じです。

昨年末に附属病院の 30 周年記念会が開催されましたが、この間に泌尿器科学の診断・治療が大変進歩し、また疾患の頻度もずいぶんと様変わりしました。悪性腫瘍に関しては、膀胱癌だけは昔も今も年間新患者数 40～50 例程度ですが、前立腺癌は新患者数 80～100 例と昔に比し 8～10 倍に増え、腎癌も年間 40 例程度と 3～4 倍に増えています。このような悪性疾患の治療成績も次

第に向上し、必然的に再来患者が増え、最近の患者の大病院志向もあって外来担当者は悲鳴を上げています。

外来・入院とも患者の平均年齢は 70 歳代にピークがありますが、県内全域から小児泌尿器科疾患も集まってきており、これに対する手術も増加の一途をたどっています。

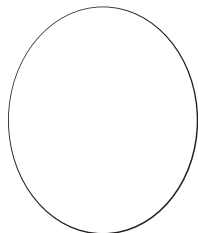
現時点での大学在籍の医局員は 13 名を数え、過去最高となっています。後期研修 1 名を除く全員が泌尿器科専門医であり、これらの医師が日夜忙しく働いていますが、かなりの時間を本来の仕事とは関係のない雑用に追われており、この事の早期解決が望まれるところです。

泌尿器科も他科と同様に開腹手術から鏡視下手術へと移行しており、鏡視下手術の技術認定取得を年間 2 名ずつ出そうと計画的に手術を行っているところです。

私の在籍期間に泌尿器科診療は大変な進歩をとげました。この大いなる進歩に立ち合えた事は本当に幸せな事だと思っています。将来的にはメスの不要な時代が来るかもしれませんが、そこまで見られるか心配です。

いずれにしろ医師会員の皆様には公私ともにお世話になりました。深甚の謝意を表し御挨拶と致します。

## 随 筆

孤独死，街のなかの野ざらし紀行  
—警察医の視点—宮崎市 大西医院 おおにし 大西雄二 ゆうじ

今日もまた、人生の終焉を誰にも看取られず、朽ち果てていく遺体が市井のどこかにある。その光景は、最近珍しいものではない。

「孤独死」である。世帯構成で、「単身」がまもなく最多となる。最期をひとりで迎える可能性は高い。

医療費の自己負担増加による受診抑制で、困窮のために医療を受けられない例があきらかに増えている。最期のセーフティ・ネットである生活保護を受けられず、餓死による孤独死も発生した。孤独死はきれいごとではない。異臭を放ち、蛆がわくりアルな現実である。

「孤独死」は阪神大震災の被災者が暮らす住宅で、1人暮らしの入居者が死亡することで知られるようになった。死後数日で発見されたケースが多いが、1か月以上経過していた例や、隣人が異臭に気付き、市職員が発見するまで3か月かかった例もあった。

孤独死は高齢者だけの問題ではない。リストラで職を失ったり家族と別れたりした中年層にも広がりを見せている。

「孤独死 110番」で、警察と消防と24時間連絡をとれる関東の地方都市では、100件の変死事案のうち「50歳以上で誰にもみとられず」死亡したケースでは、64歳以下の中年層が4割に上り、近所付き合いが残っていると思われていた旧市街での発生が全体の7割を占めた。中高年男性が孤

独死の中心層になっている。

「ここ数日、新聞、郵便物がたまっている」と住民から通報がある。訪れてみると、台所やトイレに倒れていて死後数日経っていた。慢性疾患があるが治療をしていない、経済的に厳しい境遇にある、このような例が典型的である。

孤独死の前に孤立がある。かつてのコミュニティは崩壊している。地域共同体の網の目からこぼれ、福祉サービスを受けず、孤立する高齢者・独居者は多い。行政と住民が協力して地域のネットワークを構築しないと孤立する人は増える一方である。

宮崎県内でも孤独死が増加している。平成16年1年間で250人。過去5年間で3割増加。現在で一人暮らしの高齢者は約5万人で、15年前の2倍近い。孤独死は高齢化、核家族化の進行に比例する。地域の繋がりの希薄化などで増加傾向は止まらない。

平成15年に、アパートで死後2年以上経過した40代男性の遺体の検死をおこなった。肝硬変のため死亡の直前まで病院に通っていたが、人付き合いがなく、誰一人として気づかなかった。

男性の遺体が発見されたアパート周辺は、マンションなどが立ち並ぶ住宅地域。男性の家賃や光熱費などは口座引き落としで、滞っていなかったために死を察知することはできなかった。しかし、郵便受けには大量の郵便物が放置され、

水道のメーターも止まったままだった。

プライバシーの問題から郵便受けを開けることはしない。

水道局は、水を長期間使っていない場合、人がいるかどうかを確認することはあるが、それ以上は踏み込めない。個人のプライバシーにどこまで踏み込めるのかにかかっている。

警察官や民生委員らによる独居高齢者の健康状態や安否の確認には限界がある。孤独死の防止には地域の繋がりが欠かせない。某市では高齢者住宅を見回るボランティアの「福祉協力員」の拡充に力を入れている。行政の見守り支援は、ゴミ収集や配食を戸別におこない、小学生の訪問事業や、見守りネットワークづくりなど、地域の力を生かした対策を講じている。

周囲の人が異変に気付くことが大切。ベランダの洗濯物。郵便受けの新聞・チラシ。窓から電気の点灯確認。すれ違ったときの「あいさつ」、声を掛け合うことで、孤立者が近所の人に心を開くことがある。それが孤独死の予防になる。地域の助け合いを引き出し、住民自身で安心できる地域づくりをめざす取組みが求められる。

「孤独死」はなくなる。足元に、社会から孤立した予備軍が堆積している。もはや年代、地域を問わず社会共通の問題である。国はモデル事業を始めようとしているが、対策は緒についたばかりである。

孤独死が増えてくるとはどんな影響を及ぼすか。

亡くなる本人のみならず、残された人にとっても不幸なことである。孤独死が増えることによって、住居を貸す方が抱えるリスクは今後ますます増えていく。現場で、当惑して立ち尽くす家主や業者を何回もみた。遺族に補償を求め

るのは容易ではない。独居老人を拒む例が増えていくであろう。住む場所をなくした高齢のホームレスも増加するであろう。

部屋の片付けで専門業者への依頼が増えている。核家族化が進み、お年寄りを看取って家族で遺品を整理する余裕が失われてきている。都会では遺品整理業者の需要が多いという。

警察官と警察医は、「孤独死」と向き合わなければならない。

本稿を書く理由は警察官たちの苦勞である。最近ではアパートの一室であっても、遺体をビニールシートにくるみ、署まで運んでの検死が多い。腐敗した遺体はひどく膨化するものである。畳やカーペットに張り付く。私も1時間ほど異臭に付き合わねばならない。

検死には2～3時間かかる。刑事課と鑑識の多数の警察官が担当する。ほとんどはなんら事件性のない、病死、自然死である。それに膨大な時間、エネルギーが費やされる。

このことは捜査力の低下に繋がる。犯罪事件の検挙率が下がっている。今後「孤独死」が増えれば、ますます手を煩わすことになる。ひいては未解決の事件が増え、治安の悪化、体感の安全・安心感の低下となる。

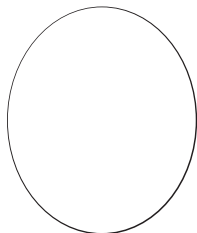
私が恐れるのは、今取りざたされている格差社会が、「孤独死」とリンクすることである。総中流社会が壊れた。貧困に苦しみ、希望が持てない現代の日本と関連している。

明日はどんな光景がみえてくるのか。家族の崩壊。コミュニティの瓦解。セーフティ・ネットの破綻。生きがいと社会の繋がりの喪失。

現代社会に随伴する影の部分である。私に見えるのは、人々の絆が失われた闇の光景である。

そうならなければよいが。

## 旅 行 記



## 北 陸 能 登 路 旅 行

宮崎市 もり やま まさ たけ  
森 山 正 武

平成 19 年 4 月 28 日(土)、午前 8 時に、鹿児島空港出発の全日空 542 便に、鹿児島市及び鹿児島県在住の三一会の皆さん(級友)が、搭乗され、大阪・伊丹空港に午前 9 時 10 分に到着されると同時に、私共森山夫婦は宮崎空港発の全日空便にて、大阪・伊丹空港に到着し、ここで皆さんと合流した。この旅行のお世話をしていたたく添乗員さんが、種々適切なご指導をして下さいました。

貸切バスにて、名神道を通って、北陸道へ向った。経験豊かなバスガイドさんの適切なご説明を聞きながら、バスは、福井県の永平寺まで走り、永平寺の「レストランかいど」で昼食をし、更に日本海の荒波により形成される岸壁の美しい東尋坊の景色を眺め、午後 5 時すぎに山中漆器会館に到着し、ここで輪島塗りの漆器が整然と陳列されているのを観て、山中温泉ホテル百万石に、午後 5 時 50 分に到着し、加賀市山城温泉のゆたかな温泉にゆっくりと入って、堪能した。

2 日目、4 月 29 日(日)午前 8 時 30 分に貸切バスは、ホテル百万石を出発し、^{なたでら}那谷寺を参拝見学した。周囲が新緑の樹木のある赤色の美しいお寺であった。次に、金沢市、妙立寺(忍者寺)に到着し、お寺を参拝した。

午前 11 時 40 分に長町武家屋敷を散策し、そして、金沢市民の台所である近江町市場を見学し、ここは日本海産のかにや高級食品(魚や貝など)の市場であった。

12 時 40 分にしゃもじ屋に到着した。文字通り大きなしゃもじのある赤色の美しい建物で、ここで昼食をいただいた。午後 3 時 20 分、千里浜なぎさドライブウェイに到着し、日本海式温泉宿の風情に親しみ、ここで、立派なかにや伊勢海老はなかったが、美味しい夕食をいただいた。又、金沢市は小京都の風情のある落ち着いた市街で兼六園などの美しい公園もあった。

4 月 30 日(月)は、和倉温泉ホテルを午前 8 時 30 分に出発し、午前 9 時に穴水を通して、輪島市に午前 10 時に到着し、輪島の朝市を自由見学した。輪島漆器会館及びキリコ会館で、上品な輪島漆器を見学し味新(みや新)輪島にて昼食をした。

その後、^{しらよね}白米の千枚田を見学し、午後 2 時 50 分に、能登空港に到着し、羽田空港に到着した。私共、森山夫婦は、午後 7 時の全日空便にて羽田空港より宮崎空港に向い、8 時 40 分に宮崎空港に無事到着した。

途中、合掌づくりで有名な白川郷も見学した。

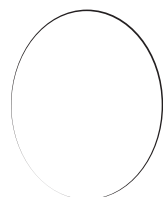
## エコー・リレー

( 392回 )

( 南から北へ北から南へ )

## 私の息抜き

宮崎市 小むら内科医院 小 村 和 孝



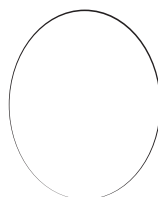
私は、ここ数年日曜日・祝祭日には家族と出かけ、少々奮発した昼食をとり、その後妻と連れ立って、市内の温泉に行くことにしている。昔から、ゴルフや釣りといったスポーツが苦手

で、これといった趣味のない私にとって、温泉でのサウナ浴は唯一の息抜きである。温泉では、必ず数回にわけてサウナで汗を流し、ビールを飲む。とにかくサウナが好きで、長時間入りすぎて、軽い脱水を起こし、妻や娘たちに叱られることもしばしばである。サウナに行き始めたきっかけは、ダイエット効果がある、と聞いたことであった。たしかにサウナに行くと私の場合体重は2 kgほども減少するが、水分が抜けただけなので、ビールを飲んだ後はすっきりもと通りになってしまう。それでも、サウナに行くのがやめられない理由は、サウナに行く度に、汗と一緒に一週間の疲れやストレスが体外に出ていくような気がするからである。医師という仕事をしていると、人の命を預かる分、少しのミスも許されず、神経がすり減っていき、体の中に澱が溜まっていく。それを払拭してくれるのがサウナであり、つまり私にとって、サウナは心身両面のデトックスなのだ。サウナでは、顔見知りの医師や、たまに宮崎県知事にも会うことがある。そんな時、きっとみんな仕事のストレスを癒やしに来ているのだらうと考える。これからも、リフレッシュの手段として、サウナを欠かさないようにし気持ち良く仕事をしていきたい。

〔次回は、都城市の隅 清克先生にお願いします〕

## 携帯電話

宮崎市 木下内科医院 木 下 浩 浩



7 年ほど前に初めて携帯電話を購入した。今では表面は傷だらけで子供が貼ったシールの跡で汚れている。携帯ではメールもインターネットもせず、ほとんど通話でしか使うことがなかつ

た。私には十分な機能であった。しかし今では小中学生からお年寄りまで多機能を使いこなしている。そろそろ買い換えようと思いながら3、4 年が経過した。

かかってくる電話と言えば、普通に知人・友人、家族からのものもあるが、透析をやっている関係で患者さんからのものも多い。深夜寝入ったところに携帯が鳴る。ワン切りであってくれとの願いもむなしく、鳴り続く。「主人が苦しがってゼイゼイいっています。どうしたらいいでしょうか」「すぐ来てください」肺水腫で緊急透析か。となると数時間はかかるから、今日は眠れない。そんなことよりもこんな時間にスタッフを起こして呼び出すのが辛い。それでも透析終了後元気になった患者さんの笑顔に救われる。携帯を眺めながら、こんなことが何回あったかなあと、ふと考える。

電話が鳴ったとき、ワン切りであってほしいと思うのも変な話だが、そういえばワン切りと言う言葉も最近聞かなくなった。時が経ち、自分も少し年をとった。エコー・リレーが回って来たのを機に、古くなった携帯電話への愛着を断ち切って、せめて人並みの機能の揃った携帯電話へ買い換えようと思う。

〔次回は、日南市の福岡周司先生にお願いします〕

## 宮 崎 県 医 師 会 役 員 等 名 簿

任期 平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 22 年 3 月 31 日

( 但 し , 議 長 ・ 副 議 長 の 任 期 は , 平 成 20 年 2 月 1 日 ~ 平 成 22 年 1 月 31 日 )

役 職	氏 名	〒	住 所	電 話 ・ F A X	新 任
会 長	稲 倉 正 孝	880-0951	宮崎市大塚町馬場崎 3554-2	0985 53-1411 F A X 53-1412	○
副 会 長	河 野 雅 行	880-0121	〃 大字島之内 7309	0985 39-3313 F A X 39-3314	○
〃	富 田 雄 二	881-0012	西都市小野崎 2 丁目 35	0983 43-0178 F A X 41-1061	○
常任理事	立 元 祐 保	880-1303	東諸県郡綾町大字南俣 622-3	0985 77-0333 F A X 77-3669	○
〃	佐 藤 雄 一	880-0021	宮崎市清水 3 丁目 1-10	0985 22-4705 F A X 21-1636	○
〃	吉 田 建 世	889-0511	延岡市松原町 4 丁目 8850	0982 37-0126 F A X 37-0233	
〃	大 塚 直 純	881-0016	西都市御舟町 2 丁目 45	0983 43-0016 F A X 43-3022	○
〃	濱 田 政 雄	880-0121	宮崎市大字島之内 7284	0985 39-0087 F A X 39-9112	○
〃	古 賀 和 美	880-0041	〃 池内町数太木 1749-1	0985 39-8888 F A X 39-0067	○
〃	石 川 智 信	880-0033	〃 神宮西 1 丁目 49-1	0985 32-2234 F A X 32-1795	○
〃	松 本 宏 一	889-1701	〃 田野町甲 5814-6	0985 86-0566 F A X 86-5062	○
〃	荒 木 早 苗	889-1692	宮崎郡清武町大字木原 5200 宮崎大学医学部 )	0985 85-9057 F A X 84-2549	○
理 事	高 橋 政 見	884-0002	児湯郡高鍋町大字北高鍋 154-1	0983 23-6465 F A X 23-6485	
〃	中 島 昌 文	888-0012	串間市西浜 2 丁目 7247-76	0987 72-5202 F A X 72-1761	
〃	上 田 章	880-8510	宮崎市北高松町 5-30 県立宮崎病院 )	0985 24-4181 F A X 28-1881	
〃	済 陽 英 道	880-0841	〃 吉村町大町甲 1919-6	0985 23-9000 F A X 24-0023	
〃	金 丸 吉 昌	883-1101	東臼杵郡美郷町西郷区田代 29 ( 美郷町国民健康保険西郷病院 )	0982 66-3141 F A X 66-2491	
〃	長 倉 穂 積	889-1901	北諸県郡三股町大字樺山 3491-2	0986 52-2109 F A X 52-2651	○
〃	千々岩 一 男	889-1692	宮崎郡清武町大字木原 5200 宮崎大学医学部 )	0985 85-2808 F A X 85-5814	○
〃	矢 野 裕 士	886-0004	小林市大字細野 2759-1 前田内科医院 )	0984 22-5802 F A X 22-5802	○
監 事	甲 斐 允 雄	882-0045	延岡市瀬之口町 1 丁目 4-12	0982 21-2110 F A X 33-1731	
〃	大 藤 哲 郎	880-0916	宮崎市大字恒久 1383-1	0985 50-2552 F A X 50-2046	
〃	濱 田 義 臣	885-0081	都城市鷹尾 4 丁目 4-2	0986 22-8818 F A X 22-8817	○
議 長	大 森 臣 道	886-0003	小林市大字堤 3136-10	0984 23-6101 F A X 23-4202	○
副 議 長	永 友 和 之	884-0002	児湯郡高鍋町大字北高鍋 1006	0983 22-3375 F A X 23-3543	○

## 宮 崎 県 医 師 会 理 事 業 務 分 担

( 任 期 平 成 20年 4 月 1 日 ~ 平 成 22年 3 月 31日 2 か 年 )

河野副会長	総務	立元常任理事
	公衆衛生	吉田常任理事・中島理事
	健康教育	松本常任理事・金丸理事・千々岩理事
	医療保険	河野副会長・富田副会長・上田理事・石川常任理事・濱田常任理事
	地域医療	古賀常任理事・吉田常任理事・中島理事・金丸理事・長倉理事・立元常任理事・佐藤常任理事・石川常任理事
	介護保険	石川常任理事・金丸理事・矢野理事・立元常任理事
	互助会・日医年金	大塚常任理事・立元常任理事
	産業医療	大塚常任理事・矢野理事
	労災・自賠	松本常任理事
	スポーツ医学	松本常任理事
	プライマリ・ケア	松本常任理事・金丸理事
	医師連盟	大塚常任理事
	第 1 区	立元常任理事
	第 2 区	吉田常任理事
	第 3 区	中島理事
	医師国保組合	高橋理事
稲倉会長	会計	佐藤常任理事
	学術・生涯教育	松本常任理事・上田理事・千々岩理事・長倉理事
	情報システム	荒木常任理事・済陽理事
	医療関係者対策	長倉理事・済陽理事
	学校保健	佐藤常任理事・高橋理事・吉田常任理事
	広報	荒木常任理事・済陽理事
	救急医療	古賀常任理事・済陽理事・佐藤常任理事
	環境公害問題	吉田常任理事・中島理事
	勤務医	古賀常任理事・上田理事・金丸理事・荒木常任理事
	会員福祉	大塚常任理事・高橋理事
	医事紛争	濱田常任理事
	母子保健・母体保護	濱田常任理事・佐藤常任理事
	共同利用施設	吉田常任理事・済陽理事・長倉理事
	へき地医療	金丸理事・矢野理事
	治験	松本常任理事・荒木常任理事・古賀常任理事・佐藤常任理事
	医師協同組合・	立元常任理事
	(有)エムエムエスシー	

先頭が主担当者

## 各 郡 市 医 師 会 役 員 名 簿

紙面の都合により、会長、副会長、理事、監事、議長、副議長のみ掲載します。

【任期：平成 20 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日】

### 宮 崎 市 郡 医 師 会

会 長	中 村 典 生	理 事	釘 宮 博 志	理 事	日 高 孝 紀
副 会 長	栗 林 忠 信	"	橋 口 兼 英	"	赤 須 郁 太 郎
"	八 尋 克 三	"	田 中 穰 式	監 事	藤 本 孝 一
"	田 中 俊 正	"	山 内 良 澄	"	戸 島 信 夫
理 事	菊 池 郁 夫	"	田 口 利 文	"	市 原 正 彬
"	小 池 弘 幸	"	檜 原 進 一 郎	議 長	宝 珠 山 弘
"	岡 田 光 司	"	松 山 幹 太 郎	副 議 長	木 下 義 美
"	済 陽 英 道	"	有 馬 政 輝		
"	山 村 善 教	"	長 倉 穂 積		
"	成 田 博 実	"	大 岐 照 彦		
"	川 名 隆 司	監 事	山 路 健	会 長	甲 斐 文 明
"	原 田 雄 一	"	速 見 晴 朗	副 会 長	渡 邊 康 久
"	高 村 一 志	"	大 窪 利 隆	"	古 賀 正 広
"	市 来 能 成	"	佐 々 木 幸 二	理 事	中 島 清 美
監 事	中 山 健	議 長	瀬 ノ 口 頼 久	"	青 柳 淳 太 郎
"	丸 田 眞 一	副 議 長	児 玉 實 志	"	三 股 俊 夫
"	古 賀 和 美			"	瀧 井 修
議 長	市 原 美 宏			"	金 丸 吉 昌
副 議 長	金 丸 禮 三			"	千 代 反 田 晋

### 日 向 市 東 臼 杵 郡 医 師 会

会 長	甲 斐 文 明
副 会 長	渡 邊 康 久
"	古 賀 正 広
理 事	中 島 清 美
"	青 柳 淳 太 郎
"	三 股 俊 夫
"	瀧 井 修
"	金 丸 吉 昌
"	千 代 反 田 晋
"	尾 崎 峯 生
"	今 給 黎 承
"	鮫 島 貴
"	鮫 島 哲 郎
監 事	吉 森 治 男
"	田 中 浩 夫
議 長	大 久 保 史 明
副 議 長	二 木 秀 人

### 延 岡 市 医 師 会

会 長	岡 村 公 子
副 会 長	牧 野 剛 緒
"	吉 田 建 世
理 事	大 地 哲 史
"	佐 藤 信 博
"	井 手 稔
"	平 野 雅 弘
"	江 崎 豊
"	石 内 裕 人
"	木 谷 道 隆

### 都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

会 長	夏 田 康 則
副 会 長	仮 屋 純 人
"	安 藤 健 一
"	小 牧 文 雄
総 務 理 事	飯 田 正 幸
理 事	野 邊 俊 文

## 児 湯 医 師 会

会 長 永 友 和 之  
副 会 長 蟻 塚 高 生  
理 事 高 嶋 章  
" 高 橋 政 見  
" 黒 木 宗 俊  
" 坂 田 師 隣  
" 米 澤 勤  
" 高 山 修 二  
" 永 田 昌 彦  
" 北 村 洋  
" 喜 多 保 一 郎  
" 内 田 俊 浩  
" 大 山 博 司  
監 事 鶴 敬 雄  
" 崎 濱 國 治  
議 長 茂 木 晃  
副 議 長 城 戸 栄 爾

## 西都市・西児湯医師会

会 長 相 澤 潔  
副 会 長 富 田 雄 二  
理 事 岩 見 晶 臣  
" 宇和田 収  
" 児 玉 健 二  
" 齊 藤 寿  
" 杉 尾 克 徳  
監 事 大 塚 直 純  
" 水 田 雅 久  
議 長 上 山 征 史 郎  
副 議 長 留 守 健 一

## 南 那 珂 医 師 会

会 長 山 元 敏 嗣  
副 会 長 長 友 英 仁  
" 河 野 清 秀  
理 事 百 瀬 文 教  
" 田 中 茂 樹  
" 中 島 昌 文  
" 黒 木 和 男  
" 野 田 隆  
" 川 越 勝 秀  
" 島 田 雅 弘  
" 江 藤 琢 磨  
" 河 野 秀 一  
" 峰 松 俊 夫  
" 木 佐 貫 篤  
" 藤 浦 芳 丈  
" 福 岡 周 司  
監 事 岩 切 美 利  
" 山 口 幹 生  
議 長 中 村 彰 伸  
副 議 長 内 村 利 博

## 西 諸 医 師 会

会 長 榎 健 一 郎  
副 会 長 高 崎 直 哉  
" 丹 光 明  
理 事 野 本 浩 一  
" 押 川 達 巳  
" 莫 根 隆 一  
" 園 田 通 広  
" 池 井 義 彦  
" 花 田 武 浩  
" 立 山 洋 司

理 事 矢 野 裕 士  
" 田 中 哲 夫  
" 内 村 大 介  
" 池 田 徳 郎  
監 事 針 貝 正 純  
" 黒 木 透  
議 長 前 原 東 洋  
副 議 長 大 森 臣 道

## 西 臼 杵 郡 医 師 会

会 長 佐 藤 元 二 郎  
副 会 長 植 松 昌 俊  
理 事 古 賀 志 朗  
" 植 松 正 雄  
" 柴 田 和 哉  
" 白 石 達 史  
" 田 崎 力  
" 後 藤 幸 一  
" 田 崎 清 廣  
監 事 後 藤 幸 一  
" 田 崎 清 廣  
議 長 植 松 昌 俊

## 宮崎大学医学部医師会

(平成 20年 6 月 30日まで)

会 長 高 崎 眞 弓  
副 会 長 池ノ上 克  
理 事 長 田 幸 夫  
" 田 村 正 三  
" 布 井 博 幸  
監 事 瀬戸山 充  
" 池ノ上 克

## 宮崎県感染症発生動向 ～ 2 月 ～

平成 20 年 2 月 4 日～平成 20 年 3 月 2 日(第 6 週～ 9 週)

## ■ 全数報告の感染症

1 類：報告なし。

2 類：結核 1 例が宮崎市( 12 例 ), 中央( 2 例 ), 都城・高鍋・高千穂( 各 1 例 ) 保健所から報告された。患者が 10 人。疑似症患者が 6 人。感染症死亡者の死体が 1 人。肺結核が 15 人, その他の結核( 腸結核, リンパ節結核 ) が 2 人。男性 8 人, 女性 9 人で, 20 歳代から 40 歳代がそれぞれ 1 人, 60・80・90 歳代がそれぞれ 2 人, 50 歳代が 3 人, 70 歳代が 5 人であった。

3 類：報告なし。

4 類：つつが虫病 3 例が日南・小林・高鍋保健所から各 1 例報告された。

《日南保健所》50 歳代の女性で頭痛, 発熱, 発疹がみられた。

《小林保健所》10 歳代前半の男子で発熱, リンパ節腫脹, 発疹がみられた。

《高鍋保健所》60 歳代の女性で発熱, 刺し口, リンパ節腫脹, 発疹がみられた。

5 類：○ウイルス性肝炎 2 例が宮崎市と都城保健所から報告された。

《宮崎市保健所》50 歳代の男性で, 全身倦怠感, 褐色尿, 肝機能異常, 黄疸がみられた。

《都城保健所》30 歳代の女性で, 嘔吐, 肝機能異常, 黄疸がみられた。

○劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例が宮崎市保健所から報告された。70 歳代の女性でショック, 軟部組織炎, 右下肢( 創傷部 ) リンパ浮腫がみられた。

○麻しん 1 例が都城保健所から報告された。20 歳代の男性( 修飾麻しん ) で, 発熱, 咳, 発疹, 腸炎がみられた。ワクチン接種歴は不明。

表 前月との比較

## ■ 5 類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は 10,292 人( 定点あたり 223.5 ) で, 前月比 112% と増加した。また, 例年と比べると 90% と少なかった。

2 月に増加した主な疾病はインフルエンザと感染性胃腸炎で, 減少した主な疾病は R S ウイルス感染症, 咽頭結膜熱, 流行性耳下腺炎であった。また, 例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾病は感染性胃腸炎であった。

インフルエンザの報告数は 6,306 人( 106.9 ) で前月の約 1.4 倍と増加したが, 例年の約 8 割と少なかった。小林( 145.8 ), 日南( 137.4 ) 保健所管内からの報告が多く, 報告の少なかった高千穂保健所( 20.5 ) 管内とは約 7 倍の差がみられた。5 歳以下が全体の 39%, 6 歳から 9 歳が 27%, 10 歳から 14 歳が 16%, 15 歳から 19 歳が 3%, 20 歳以上が 15% を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 2,805 人( 77.9 ) で前月の約 1.1 倍, 例年の約 1.4 倍多かった。都城( 134.5 ), 小林( 101.3 ), 日南( 93.7 ), 宮崎市( 82.6 ) 保健所からの報告が多かった。1 歳から 6 歳で全体の約 6 割を占めた。

	2 月		1 月		例年との比較
	報告数 (人)	定点当 たり(人)	報告数 (人)	定点当 たり(人)	
インフルエンザ	6,306	106.9	4,610	78.1	
R S ウイルス感染症	23	0.6	180	5.0	
咽頭結膜熱	32	0.9	58	1.6	
溶レン菌咽頭炎	280	7.8	352	9.8	
感染性胃腸炎	2,805	77.9	2,552	70.9	
水痘	492	13.7	560	15.6	
手足口病	57	1.6	57	1.6	
伝染性紅斑	14	0.4	35	1.0	
突発性発しん	150	4.2	164	4.6	
百日咳	0	0.0	2	0.1	
ヘルパンギーナ	4	0.1	12	0.3	
流行性耳下腺炎	86	2.4	129	3.6	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	39	6.5	37	6.2	
細菌性髄膜炎	1	0.1	1	0.1	
無菌性髄膜炎	1	0.1	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	1	0.1	2	0.3	
クラミジア肺炎	1	0.1	2	0.3	

例年同時期(過去 3 年の平均)より報告数が多い  
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

## ■ 月報告対象疾患の発生動向 2 月

### □ 性感染症

#### 【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は 56人( 4.3)で、前月比 93%と減少した。また、昨年 2 月( 5.2)と比べると 84%と少なかった。

#### 《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数 32人( 2.5)で、前月の約 9 割、前年の約 8 割と少なかった。男性 8 人、女性 24人で、20歳代が最も多く全体の約半数、30歳代が約 2 割を占めた。日向保健所管内( 8.0)からの報告が多かった。
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数 11人( 0.85)で、前月の約 1.6倍、昨年の約 6 割であった。男性 2 人、女性 9 人で、30歳代が約 4 割、10歳代後半が約 3 割を占めた。日向保健所管内( 3.0)からの報告が多かった。
- 尖圭コンジローマ：報告数 4 人( 0.31)で、前月の約 1.3倍、昨年と同数であった。男性 1 人、女性 3 人で、20歳代後半が 2 人、10歳代後半と 30歳代後半がそれぞれ 1 人であった。
- 淋菌感染症：報告数 9 人( 0.69)で、前月の約 6 割、前年の約 1.3倍であった。男性 8 人、女性 1 人で、20歳代と 30歳代がそれぞれ 4 人、40歳代が 1 人であった。

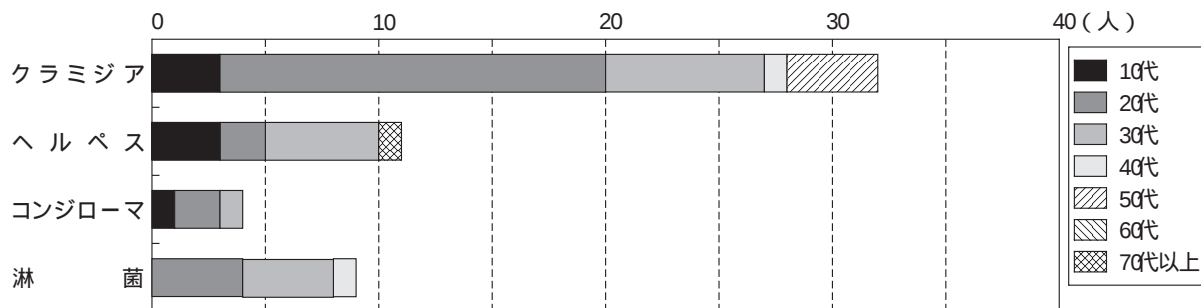


図 年齢別性感染症報告数( 2 月 )

#### 【全国】 定点医療機関総数：965

定点医療機関からの報告総数は 4,073人( 4.2)で、前月比 93%と減少した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症 2,135人( 2.2)、性器ヘルペスウイルス感染症 667人( 0.69)、尖圭コンジローマ 487人( 0.50)、淋菌感染症 784人( 0.81)であった。

### □ 薬剤耐性菌

#### 【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は 35人( 5.0)で前月比 90%と減少した。また、昨年 2 月と同数であった。

#### 《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数 27人( 3.9)で、前月の約 8 割、前年とほぼ同数であった。70歳以上が約 9 割を占めた。小林( 11.0)、宮崎市( 8.0)保健所管内からの報告が多かった。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数 8 人( 1.1)で、前月の約 1.6倍、前年の 4 倍であった。4 歳以下と 70歳以上からの報告であった。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はなかった。

#### 【全国】 定点医療機関総数：466

定点医療機関からの報告総数は 2,461人( 5.3)で、前月比 98%と横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 2,048人( 4.4)、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 383人( 0.82)、薬剤耐性緑膿菌感染症 30人( 0.06)であった。

( 宮崎県衛生環境研究所 )



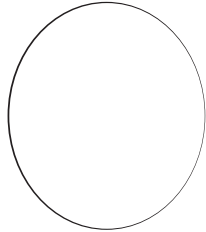
## あなたできますか？

— 平成 18 年度 医師国家試験問題より —

( 解答は 87 ページ )

- 1 . 30 歳の女性。1 年前に交通事故で脊髄を損傷した。第 12 胸髄以下の完全対麻痺、神経因性膀胱が残存した。残尿量は 150ml、尿沈渣では白血球 20/視野。静脈性腎盂造影写真では軽度の尿管の拡張がある。  
最も適切な尿路管理はどれか。  
a 膀胱瘻造設  
b 間欠自己導尿法  
c 無菌的間欠導尿法  
d 手圧排尿法の指導  
e 尿道バルーンカテーテル留置
- 2 . 56 歳の女性。専業主婦。健康診査で高血糖と肥満とを指摘され来院した。身長 154cm、体重 64kg。血圧 138/82mmHg。尿所見：蛋白 (-)、糖 2+。血清生化学所見：空腹時血糖 139mg/dl、HbA_{1c} 6.8% (基準 4.3~5.8)、総コレステロール 210mg/dl、トリグリセライド 124mg/dl。  
食事指導で適切な 1 日摂取エネルギーはどれか。  
a 1,000kcal  
b 1,300kcal  
c 1,600kcal  
d 1,900kcal  
e 2,200kcal
- 3 . 52 歳の男性。突然の胸背部痛を主訴に来院した。5 年前から高血圧を指摘されているが治療は受けていなかった。意識は清明。身長 178cm、体重 72kg。呼吸数 20/分。脈拍 96/分、整。血圧 192/64mmHg、左右差なし。第 3 肋間胸骨左縁に最強点を有する拡張期雑音を聴取する。  
この時点での検査として適切でないのはどれか。  
a 心電図  
b 心エコー  
c 胸腹部造影 CT  
d 心筋シンチグラフィ  
e 胸部エックス線撮影
- 4 . 79 歳の女性。胃癌の手術後に肺炎を併発し、1 か月間の臥床を余儀なくされた。  
起こりにくいのはどれか。  
a 安静時心拍数の減少  
b 股関節の屈曲拘縮  
c 四肢の筋萎縮  
d 肺活量の低下  
e 起立性低血圧
- 5 . 原因物質と疾患の組合せで誤っているのはどれか。  
a ヒ素 ————— 皮膚癌  
b 石綿 ————— 胸膜中皮腫  
c ベンゼン ————— 再生不良性貧血  
d 塩化ビニルモノマー ——— 肝血管肉腫  
e クロロメチルエーテル ——— 膀胱癌
- 6 . Ramsay Hunt 症候群を起こすのはどれか。  
a EBウイルス  
b アデノウイルス  
c サイトメガロウイルス  
d コクサッキーウイルス  
e 水痘・带状疱疹ウイルス
- 7 . 麻疹について正しいのはどれか。2 つ選べ。  
a 白血球数は増加する。  
b 潜伏期は 3 週間である。  
c 細胞性免疫が抑制される。  
d Koplik 斑は発疹出現後にみられる。  
e 亜急性硬化性全脳炎の原因となる。
- 8 . 分泌亢進が高血圧をきたすのはどれか。2 つ選べ。  
a レニン                      b プロラクチン  
c カルシトニン              d コルチゾール  
e バソプレシン

## メディアの目



## 一 皮 む け る 醜 態

共同通信宮崎支局長

うえ の とし ひこ  
上 野 敏 彦

昨年秋、宮崎へ転勤が決まった時、九州の取材先で真っ先に顔を思い浮かべた人物が2人いた。福岡県豊前市の開業医で、エイズ治療に携わってきた西村有史さんと、本県の土呂久公害に長年かかわった川原一之さんである。

東京社会部で記者をしていた私は、1990年代初めの2年半を厚生省担当として過し、その後も遊軍で医療や公害問題などのニュースを掘り起こしてきた。当時最大のテーマはエイズで、患者・感染者の訪問診療に取組む西村さんの存在を知り、治療現場に同行させてもらったのだった。開業医が直接患者を診ている事実が世間に伝われば、大手病院の診療拒否の態度にも少しは改善がみられるだろう、と考えた訳である。

片道4時間かけて離島へ診療に出かける西村さんは患者の母親が作った質素な昼食をいただき、世間話をして1時間ほどでUターンする。風邪を引いた子供の往診に近所へ出かける、そんな感じだ。

西村さんは大変な勉強家で、血液製剤に関する海外の文献を広く集めていて、その中には厚生省も入手していないような重要文献も含まれていた。

一方の川原一之さんは、かつて朝日新聞宮崎

支局で記者をしていた。1971年に高千穂町の山奥にある土呂久鉱山の周辺で、慢性ヒ素中毒症の患者が出ていることを知り、記事を書き続けた。

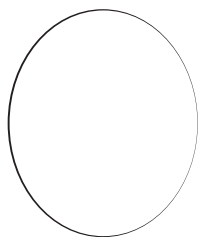
その後、西部本社へ転勤を命じられたが、「第4の公害病」にこだわり、朝日を辞め、宮崎に残ってこの問題が最高裁で和解するまで住民の支援を続けた。私が川原さんと出会ったのは戦後五十年の年に、現地へ案内して頂いたのが縁である。

あれから「アジア砒素ネットワーク」を立ち上げ、バングラデシュで地下水のヒ素汚染に苦しむ住民の救援に走り回る。そのさまは天の岩戸を押し開けるように産声を上げた土呂久の運動が地球的規模で広がっているようで感無量にならずにはいられない。

新聞記者という仕事は、いろいろな人に出会い、取材して記事を書くことによって記者自身も一皮むけていくような所に醜態がある。日向の国と言えば、麦飯男爵の異名を持つ高木兼寛ら医療の先覚者が出た土地柄と聞いた。あまり病気になる私がお医者さんと知り合う機会は少ないので、個性あふれるドクターとの出会いを楽しみに、ニシタチ辺りの赤提灯へ足を運ぶ日々だ。

## 宮崎大学医学部だより

### 生殖発達医学講座 — 小 児 科 学 分 野 —



ぬの い ひろゆき  
布井 博幸 教授

宮崎大学医学部生殖発達医学講座小児科学分野は、三代目教授である布井博幸教授が就任されて早いもので 8 年が経過致しました。教授の専門である慢性肉芽腫症の遺伝子診断の全国的な中核施設として根付いて、

国内から多くの検体が送付されてくるようになっていきます。また、宮崎県の小児医療を支えるために教授をはじめとして医局員一同、日夜努力しております。しかし、以前から新入局員の確保には苦慮しておりましたが、新臨床研修制度導入後は全国的な小児科離れの動きに相まって更に厳しさを感じるようになってきました。そのために、関連病院からの撤退や派遣医師数の縮小などを止む無く行わなくてはならず、関係諸先生方には多大なご迷惑をおかけ致しておりますことをこの場をお借りしてお詫び申し上げます。

現在の医局のスタッフは、布井博幸教授をはじめ、高木純一(医局長)、盛武 浩、澤田浩武(病棟医長)ら 3 名の講師、久保尚美、此元隆雄、水上智之、下之段秀美、池田俊郎、今村秀明(外来医長)、近藤恭平ら 7 名の助教で構成されています。

診療は、感染・免疫、循環器、血液・腫瘍、腎臓、内分泌・代謝、神経の各グループが、少ないマンパワーで最大限の努力を行いながら患児の笑顔を励みに頑張っています。研究面においては、布井教授、水上助教の感染・免疫グループが「慢性肉芽腫症の移植調査や遺伝子治療に関する研究」をテーマにしております。また、近年、インフルエンザ脳症発症機序における自然免疫

系の異常の関与を論文報告しました。高木講師、久保助教、近藤助教、大塚珠美医員らの循環器グループは「先天性心疾患術前後における心不全評価としての迅速 BNP 測定系の有用性についての検討」をテーマに解析を行い、その成果を学会報告しています。盛武講師、下之段助教、上村幸代医員らの血液・腫瘍グループは、数多く保有している細胞株や臨床検体を利用しながら「小児がんにおける発がんおよび腫瘍進展の分子機構の解明」をテーマに研究しております。近年、新たに樹立した細胞株を利用して腫瘍進展に関わる遺伝子との関係を論文報告しました。また、「ノックアウトマウスを用いた受動輸送体遺伝子の生理学的機能の遺伝子レベルの解析」も行っています。此元助教、今村助教、高橋真悠子医員らの腎臓グループは、「不死化ヒト系球体上皮細胞を用いた蛋白尿発症機序の解明」をテーマに現在、精力的に研究に励んでおります。澤田講師、松山美静代医員、柳田かえで医員らの内分泌・代謝グループは「カルシトニン遺伝子関連蛋白スーパーファミリーの機能解析」を行い論文報告しました。また、「タンデム質量分析計と酵素測定法による新生児の先天代謝異常症スクリーニングに関するパイロットスタディ」も行っています。池田助教、児玉由起子医員らの神経グループは、「難治性てんかんの加療と重症心身障害児の管理方法」をテーマに研究しており、経皮二酸化炭素モニターの臨床的有用性について検討し、それらの成果を学会報告しております。

最後に、当小児科教室は今後も宮崎県小児医療の更なる充実のため、そして 1 例 1 例の症例を大切にするという臨床の姿勢を大切にしながら研究も行い、患児の利益に繋がっていくトランスレーショナルリサーチを目指して医局員一同頑張っていく所存でございます。今後とも医師会の諸先生方の変わらぬご指導、ご鞭撻の程を何卒宜しくお願い申し上げます。

(講師 もりたけ ひろし 盛武 浩)

## 心・いのちを考える お茶の間作文コンクール受賞作品

銅 賞

### 私達夫婦のガンガン闘病記

富 田 博（農業）

今ここにある一片の赤茶けた宮崎日日新聞の記念として保存していた、古い切り抜きをしみじみと眺めている。私の妻弘子が 昭和 52年( 1977 年 )に開催された「がん制圧」をテーマにした第 19 回県公衆衛生大会で体験発表( 県医師会館ホール )した今から 30年も前の記事である。「子宮ガンを体験して」と心の動揺や家族の絆を述べた体験発表の内容である。

むせび泣きが会場に広がる「麻酔から覚め、かたわらに娘を見たとき私は生きていたことをやっと実感できたのです」とこのような書き出しの感動的な記事である。

当時 43歳保育所勤務の妻は、健康そのものを自負し検診には全く目もくれない。ある日地区の世話役の班長さんが、子宮ガン検診の申込書を持ってきたが、検診はいや、恥ずかしいの一点張り。早期発見の大事さを説得し私が申込書に勝手に記入し提出した。後日妻はいよいよながら検査を受けた。初めての検診で、待ったが出た。忘れもしない昭和 52年 8 月 26日ガンセンターから送付された親展封書には、「子宮ガンの疑い」至急専門医の検診を受けて下さいと書いてあるではないか。なにかの間違いよとへたへたと座り込んだ妻の姿を今でも思い出す。

ガン・イコール死の恐怖と重なりガン知識の乏しい当時としては、まさしく晴天の霹靂であった。その後の精密組織検査でも黒、診断の結果は初期の「子宮頸ガン」と宣告され、ショックの余りお先真っ暗な妻はどうして診察室を出たか

覚えていないと言う。

入院までの焦燥と不安の 1 か月、入院して手術までの 2 週間は、検査検査の毎日であった。手術日は 11月 1 日、成功を祈るかのように我が家の早咲きの赤いサザンカの花一輪が咲いていた。妻は、今でもサザンカが咲くと私のガンの花よと愛おしむ。

さて、当日は手術室に入るまで「切らない」「切らない」と子供のように泣いて、だだをこねる妻を慰めるのに一苦労、やっと麻酔を打ってぐったりと横たわった搬送車の姿をみると心なし可愛そうな気もした。

手術は子宮・卵巣の全摘・リンパセンの一部を摘出する大がかりな手術で 5 時間近くかかっていた。手術は成功ですと先生の誇らしげな報告。私達の命の恩人、神様とも思えるような執刀医は、当時の県立宮崎病院産婦人科部長・現県医師会会長の秦 喜八郎先生でした。

ガンは初期であったが、大事をとって思い切り周囲までとりましたと先生の自信の笑顔が今でも忘れられません。10円玉位のガンの病巣を見せてもらって安堵と喜びの私達家族。ああこれで生きられると妻の目には、うっすらと涙が光っていました。

しかし、一方同室の患者さんの何人かは、手遅れで亡くなり淋しい送りを目の当たりにしました。これが現実かと目を疑い、ガンの早期発見がいかに大事かが思い知らされる日々でした。その後妻も順調に回復しましたがその陰には、

大学を自主的に中退し、妻の看病や自宅療養で家事全般の手伝いをしてくれた娘の存在は、大きな支えになりました。長かった 10 か月の自宅療養後晴れて職場に復帰しました。

一方、夫である私についての闘病記を述べてみたいと思います。今大学ノートに記した当時の闘病記録をしんみりと振り返っています。現代病と言われている痛風とは、昭和 39 年発症以来約 40 年のお付き合い。平成 7 ～ 8 年頃は尿道結石症を併発し泌尿器科医院通いは頻繁でした。結石による激痛のため救急車を呼んだことも一度か二度。あちこちと医院を転々とするうち、ようやく宮崎市内の K 総合病院の泌尿器科にたどり着きました。血液の PSA 検査で前立腺ガンの疑い・果ては二度の検査入院の組織検査で前立腺ガンの最終診断を受ける。覚悟はしていたものの動揺しないとは嘘、一抹の不安がよぎったのも事実である。病期分類は、腫瘍が前立腺内に極限しており、転移の心配ないステージ B と判明、今なら手術できるとの診断である。

当時、平成 10 年( 1998 年 )63 歳。職場もあり男盛りに未練もある。切らずに治ればと迷ったが命あつての人生と思い直し、人生第 2 の職場も退職して手術することに決めた。主治医からは、欧米化した脂肪摂取の多い食生活と年々急速に進む高齢化がこの病気の大きな原因だと説明される。なぜこの病気にかかるのか、手術中のリスクや術後の後遺症など、延々 2 時間にわたる説明に十分納得する。特にこの手術は、神経と血管が集中しているところで、気の抜けない難しい場所とのこと。

事前準備として、手術時の出血に備え、3 回に分けて採血した自己血 1,200cc を先ず預血する。

平成 11 年 9 月 14 日入院いよいよ病院生活が始まる。手術前の検査もいろいろ心電図・肺活量・尿・血液・胸部レントゲン検査・造影剤による RI 検査( 骨の検査 )など全て異常なしで、手術

は 18 日と決まる。外は台風第 6 号の接近で雲行きがあやしい。

17 日 6 時 30 分、採血。先に保存した自己血と照合、午後 10 時手術後の痛みを取るための硬膜外ブロックの取り付け( 脊髄に )( 麻酔注射液が容易に注入できる管の挿入 )15 時看護師さんより胸・腹部・太もも・陰部など談笑しながら丁寧にひげを剃ってもらう。手慣れたものである。21 時以降絶食・下剤 2 錠飲む。

9 月 18 日午前 9 時、浣腸し下剤を飲む。大部屋より個室に移動。9 時 30 分点滴開始、午後 2 時手術室に入る。手術はへその下から陰茎付近までの約 15センチ余りの開腹手術。スタッフは執刀医の Y 先生を始め京都からの日帰り応援の大学教授を含め 4 人の先生と数人の看護師さんと聞く。

手術中、麻酔が効いて夢をさまよう空白の時間私には何も分からない。

「富田さん、終わったよ」と麻酔が覚めかけたうつろな耳元でささやかれた先生の声、午後 7 時頃だったろうか。時間は約 5 時間かかった。自己血の全部を輸血・抽出した前立腺の全部を見せてもらい成功でしたと報告された。( 妻の話 )手術当夜は頭痛と切り口の痛みで眠れない。看護師さんが 1 時間毎に様子を伺いに、Y 先生も夜通し幾度となく回診された。

9 月 19 日、手術日以降 24 時間、終日点滴・絶食が続く。天井を向いての不動の姿勢で腰や傷口がいやに痛むので、座薬を入れてもらい背中ブロック口からは「痛み止め液」を注入してもらう。

9 月 20 日、朝ようやく重湯やりんごのジュースが出る。全部飲み干す。21 日三分がゆ・魚ミンチ・カボチャのつぶしが出る。23 日患部などの痛みが続く。耐えられず朝方痛み止めの注射を打つ。

9 月 24 日、腹部の汚物排泄ドレーン右側を抜

くが左側がまだ残っている。ふらつきながら 5 日振りに部屋の中のトイレ洗面所に初めて行く。ガーゼ交換・患部の消毒と痛みとの闘いが続く。導尿のため管(カテーテル)は、手術の日から入れっぱなし尿袋は最初は血液で真っ赤だったのが、日ごと澄んできて綺麗になり気持ちも落ち着く。

10月 12日、挿入していたカテーテルをはずす日。100ccの水を膀胱に注入し助手の N 先生が引き抜きにかかったがどうしても抜けない。痛みでその日は中断。翌 13日主治医の Y 先生が見えてやっと抜いて下さった。アツという痛みと同時に温かい尿が溢れ出てシーツを濡らした。25 日間入れていた尿管(カテーテル)とのお別れでやっと身軽になる。抜いた直後は尿意も分からず尿は垂れ流し。数回の取り替え「パット」の重量も 5 キログラムを超えていた。以後尿漏れの闘いが続く。尿漏れは、尿道の括約筋を切除したための後遺症で当分は続きますよとの先生の説明を思い出し諦める。その後尿もれも少なくパットの重さも日ごと軽くなり記録が楽になった。退院間際には見舞客も多くなり待望の退院は、一泊の退院前外泊を許可された翌日の 10月 30日でした。初めて体験した長い苦しい 42日間入院生活に別れを告げることができました。

ふり返れば、妻の子宮ガン手術から 30年、私の前立腺ガンの手術から早くも 10年が近づく。師走も半ば咲き始めた庭のサザンカを階下に眺め、過ぎし日を懐かしみ回顧しながら慣れぬ手

つきでパソコンに向っている。同じような病気をしてきた私達夫婦のガンは共に早期発見・早期治療が幸いし今の命を授かっています。

日進月歩の医学に感謝し日々の健康の喜びをかみしめ、毎日楽しい日々を過ごしている昨今であります。

私達夫婦は、共に戌年生まれ賑やかなわんわん夫婦。今年で結婚満 50年目金婚の年でもありました。家族・親戚・多くの友人・知人などから祝福され加えて、役場主催の金婚式にも招待され喜び一杯の 1 年でありました。

この喜びを何らかのかたちで地域のお役に立ちたいと、妻は日赤奉仕団の団員・高齢者を元気づけるいきいきサロンのお手伝い・花嫁推進員・更生保護女性部会活動など家に居るまもなく飛び回っています。

私もこれに、負けじと 2～3 の公職と請われて地区の自治会活動や地域農業団体活性化のため微力を尽くしています。下手なゴルフや家庭菜園を楽しみに、心と体の健康保持に努めています。

「もうか」ではなく「まだまだ」の気持ちでいつまでも健康で明るい家庭と、元気な地域作りに体の続く限り奉仕したいものだと思う昨今です。

「古希の妻 菜を切る音も まだ元気」

これは国保新聞シルバー元氣川柳の入選作です。  
(平成 17年 3月)博作

## 銅 賞

## ウォーキングで病を克服

恒 益 真 弓(主婦)

専業農家の両親は、1年中休まず働いていた。おそらく、暮らしをたてていくのに必死だったのだろう。はしゃぐ、駄々をこねる、泣きわめくなどなど、子どもだったら当たり前の感情を、受け止めてもらった記憶がない。

その一方で、私自身も忙しい親に甘えたい、遊んでほしい、こころのうちは聞いてもらいたいという、もろもろの気持ちを「言葉」にして表す、ということをしなかった。心細い。さびしい思いを胸の奥にしまい、見ない振りをして自分をごまかし、大人になったのである。

結婚し、生活に夢を抱き、家事や育児に精をだした。しかし、子どもたちや同居の義父母、兄弟と意思の疎通や交流がままならない。思うように話せないのだ。そんな自分にいらだった。いつの間にか、感情障害に陥ってしまっていた。20年前、2歳の時である。

3週間の入院、そして退院した。しかし、薬の副作用で思うように動けない。体を休めるために薬を飲んでいる、ということさえ分からないのだ。心身の苦痛はつらい。一体、自分はどんなってしまったのだろう。

当時、私はもとより、周囲もこの病気に対し、ほとんどの人が無知だった。実家の親や姉妹にも理解してもらえない。私の怠慢としかうつらなかつたらしい。救いだったのは、主人とその両親である。

頭で考えていることを手先に伝え、行動するまでに時間がかかる。テーブルの上にあるものを取りとき、スローモーションの映像のようにおそい。卵焼き一つを作るのに、何十分と手間取ってしまう。そんな私に何一つ文句を言わず、

ことばを荒らげることもなかった。何ごとも気長にまってくれた。そういう状態の中でも、子どもたちの世話は変わりなく続けた。

毎日がゆったりと過ぎていった。今振り返ると、薄皮がはがれるように、わずかずつ回復していったように思う。

そんな穏やかな日々に、私は自分探しを始めた。不安を静めるため、家事の合間に読書、ミニバレー、パッチワークといろいろなことをためしてみる。その中で、特に自分に合ったのがウォーキングである。お金をかけず、空いた時間に一人でできる。それは、私にぴったりだった。

現在、ウォーキングは、私にとって生活の一部だ。1日のうちで1時間、家事のやりくりをつけて歩く。夏の暑い盛りや、冬の木枯らしのときも、大雨以外はほとんど毎日歩く。時間にゆとりが出た日は、午前と午後、2回のときもある。

コースはほとんど同じ。家から県立図書館まで行き、文化公園を1周した後、園内を気ままに歩き、家路につく。

そうした日課を続けて8年が過ぎた。嫌になったことは一度もない。毎日変化している空、木、花々、遊んでいる親子連れなどなど、目を楽しませてくれる。疲れたらベンチに腰をおろし瞼を閉じる。汗ばんだ体に、時おり吹く風が心地良い。

なんとなく気が重いとき「さあ、歩こう」心の声がささやく。一汗かき、帰宅したときには、すっきりとした自分になっている。

自分がしあわせでなければ、人をしあわせに

はできない。それには、自分を大切にすること、こころと体で実感できたのは、歩いているときだった。

甘えたくても、甘えられなかった子どものときの気持ちを、年老いた母に何回とぶつけた。遅い反抗期だ。「あんたたちを食べさせていくのに一生懸命で、そのことしか頭になかったとよ、あんたにも、お母さん達の苦労はわからんやろ」ある日、母は声を震わし、つぶやいた。気丈な母の言葉は胸にこたえた。親は親で、生きるのに精一杯、ゆとりがなかったのだ。

私は、もう、母に泣き言は言わない。過去はいくら悔やんでも変えられないのだ。そこで拾ったものを、どうやってこれからの自分に必要な栄養としていくか - それが大事なことはないかと思う。

私も、今や3人の子どもの母親だ。学んできたことを伝えていかなければならない。今、自分の気持ちを人に伝えるのに、以前のようなあのもどかしさは、もうない。

現在も主治医の指示を守り、診察に行くことを続けている。有り難いことに、ここ数年、先生の問診は家族の様子ぐらい、それも数分で終わる。

あの、苦しかった日々にはもう二度と戻りたくない。そこで、県の精神保健福祉センターへ、思い切って足を運んだ。「夜、ちゃんと睡眠をとること。そして、私たちがいろいろな知識を教

えることよりも、あなたが自分の悩みに対して、自らが出してきた“答え”それを大切にしてください」担当の先生は言われた。私が考えていたことと同じだった。胸のつかえが下りた。

私は、これからも歩き続ける。誰もいないたった一人の公園も悪くない。我が家の庭、そんな贅沢な気分になる。自分だけの時間に昔のことを思い出しては、感傷に浸ることもある。公園は長い年月をかけて、私を一まわりも二まわりも大きく成長させてくれた。

家族も私を理解し、ウォーキングを認めてくれている。夜、食事の後片付けをしないまま、歩きたくなったときでも、「行ってらっしゃい」快く送り出してくれる。運動後は晴ればれとして帰宅、家事をするのを知っているからであろう。いつも、にこにこ顔で応援してくれる主人には感謝である。

近ごろ、ウォーキングの途中、ジョギングをいれている。まだ慣れていないが、少しずつなら走れるようになった。

ことし秋、日向市で開催された、ウォークラリー大会にも、一人で初めて参加した。13キロを完歩したことは、自信と勇気を与えてくれた。「歩く」ということで、世界が広がっていくのが分かる。

これまで歩いてきたのを換算したら、福岡の息子のところへ往復した距離になった。

さあ、次の目標は、九州一周だ。

## 銅 賞

## 本当に生きるという事

奥 和 代 (主婦)

あれは、5 年程前の事だったと思います。長い間、リウマチを患っていた義母は、腰は曲がり、手・指・足も変形し、その頃は歩く事も困難でした。田舎の病院に入院していた当時の義母は、寝たきりではありませんでしたが、“おしめ”の世話になり移動は車椅子でした。食事也喜欢嫌いがある上に食も細く、佃煮ののり、梅干しで御飯を食べ、甘い物が大好きでした。宮崎に住んでいた私達は、月 1 回程度お見舞いに行き、何のお世話もやれてない申し訳なさで、甘い物好きの義母のために、とびきり甘い美味しそうなお菓子を、せっせと運んでいました。そして、ただただ耳に心地良い優しい言葉だけをかけて帰る日々でした。リウマチに冒された痛々しい姿を見るにつけ、何でも義母の思うようにしてあげよう!!それが、主人と私の暗黙の了解でした。

そんな、入退院を繰り返していたある日の事です。田舎から 1 本の電話がありました。義母が危ないので、宮崎の大きな病院へ転院させるので迎えにきてほしいとの事でした。私達は、いよいよそんな時が来たのかと、大急ぎで田舎に帰ったのでした。主治医の説明によると、血流の悪くなった足が、壊疽を起こし治らなくなったので、早急に転院させてほしいとの事でした。また、運の悪い事に極度の貧血が重なり危ないところだったけど、輸血をして、今はギリギリの線で保たれているが、いつ何があるか分からないという深刻なものでした。ぐったりとなった義母を、看護師さん 4 ~ 5 人で車に乗せました。全く動かない義母を抱きかかえ、引っぱり、やっと乗せました。その間も口々に看護師さん

が、優しい言葉をかけてくれ、義母が「痛いっ」と言おうものなら「痛かったね、ごめんね・・・」と 2、3 歳の子供をあやす様に接してくれました。義母の妹達も駆け付け、皆で泣きながら別れました。後に、母の妹達に聞いてみたところ、あの時は本当にもうこれで最後になるかもしれん・・・と思ったそうです。まわりがこうなので、本人はなおさらです。すっかり元気がなくなり、もう自分は駄目だという顔をして、後部座席で横になっておりました。重い気持ちで、宮崎の県病院に向って、ひたすら車を走らせたのでした。可哀相で、とても悲しかった事を覚えております。

主人と 2 人で、やっとの思いで車椅子に乗せ診察してもらう科へ連れて行き、待合室で待っていると、義母が心臓が苦しい気がすると言ひ出しました。見た感じでは悪い様には見えませんでした。以前、狭心症で入院した事もあり、看護師さんに申し出て、中のベッドに休ませてもらいました。おしめも濡れているとの事で、おしめを替えようと義母のお尻をもち上げようとした時、看護師さんが予想もしなかった言葉を言われたのです。義母に向って、看護師さんが「あなたの悪いのは足だけです。腰もお尻も悪くないので、自分でお尻を持ち上げてごらん!!」そして、私に向って「そんな事をしてたら、あなたが腰を悪くしますよ、びっくりしました。「エッ!!」私も義母も、一瞬止まってしまいました。でも、義母はお尻を自分で上げたのです。実は、私はギックリ腰の常習者で苦しんでいたのですが、中腰で母のお尻を持ち上げる事を「出来ない」とは言えなかったもので、無理してやろうとしてい

たところだったのです。どんな事でも優しく思い通りにしてあげるのが立派な介護だと思い込んでいた私には、また、そういう優しく我がまを聞いてくれる看護師さんの中に、どっぷり浸かっていた義母にとっては、予期せぬ出来事でした。厳しい一言でした。診察を終えて病室へ行き、さて、ベッドに義母を寝かせようと主人が抱えようとしたら、「手を貸してはいけません。一人でベッドに上がってみて下さい。悪いのは、ふくらはぎの皮膚だけです。手も足も動くのですから、出来るところまで一人でやって下さい」不安げに見つめる私達に、「どこまで一人で出来るか、見極めて必要な介護を決めます。その為に、やってもらうのですよ」と看護師さんは、毅然として言われました。本当に不思議なのですが、朝、皆に抱えられて車に乗った義母が、ぐったりと車に横たわっていた義母が、今、一人でベッドに上がろうとしているのです。母は全身で悲しみを訴えていましたし、私達も可哀相で見てられませんでした。でも、その可哀相はうわべだけのものだったんだと後になって知りました。ベッドに上がった義母は、おしめを外されました。看護師さんの手を借りて、車椅子でトイレに行く事になったのです。狭心症予防のため、500mlのペットボトルのお水を飲む事を義務づけられ、病院で出される物以外は、極力食べないように、出された御飯は全部、頑張って食べるように言われました。いつも、先生や看護師さんが「食べて元気になろうね」と声をかけて下さいました。その日を境に、義母は別人になりました。本当にびっくりです。私自身も目から鱗が落ちるとは、こういう事だと思いました。優しくしてあげ、言う通りにする事が良い介護だと思っていましたが、実は、その人にとって何が大事かを分かってあげて、導いてあげる

事が大切なんだなあと感じました。もちろん、厳しくする事と冷たくする事、甘やかさない事と放っておく事とは、全く違います。看護師さん達は、励ましの言葉をかけながら、いつもフォローして下さいました。私と主人は毎日欠かさず病院へ顔を見に行きました。お見舞いに行くと、義母はいつもベッドに座って、隣の方と談笑して楽しそうにしていました。そこには、今を生きるひとりの人間の姿がありました。頑張って御飯を食べ、ペットボトルの水を飲み、体力をつけ、無事に皮膚を移植するという手術に耐え、義母は回復しました。あの時、誰もが、もう駄目かもしれんと思ったのに・・・私は、義母を元気にして、田舎のお父さんの元へ帰すことができ、涙が出る程嬉しかったです。県病院の正面玄関を車椅子の母を連れて出た時の「良かったぁーっ」という気持ちと、見上げた空の明るさを、今でも忘れる事はできません。あれから、二度、宮崎の病院へ入院しましたが、その都度に頑張って元気になって帰って行きました。

あの時の事を義母がどう思っていたのか、聞いた事は一度もありませんでしたが、きっと何かを得ていたと思います。何故なら、その後、両足を失ったりする辛い闘病生活を見事に耐え抜き、常に生きぬこうという姿勢を貫いておりましたから。結局は長く苦しめられた病気ではなく、肺炎で亡くなってしまいました。今、私も年を取り、老いが身近な問題として実感できる様になって、私自身があの時の看護師さんの言葉を噛み締めています。自分が今できる事、人に助けてもらわなければならないことを、きちっと考えて、甘えることなく、いくつになっても自分の人生を生きられる人になりたいと、そう願っています。

## 告 知

## 第 146 回宮崎県医師会定例代議員会開催

と き 平成 20 年 4 月 22 日(火) 19: 00~

ところ 宮崎県医師会館 2 階研修室

- |                                           |                                  |
|-------------------------------------------|----------------------------------|
| 1 . 議長開会宣言                                | 一般会計                             |
| 2 . 議事録署名人選出                              | 県・その他からの委託事業・補助事業特別会計            |
| 3 . 物故会員に対する弔慰黙祷                          | 福祉特別会計                           |
| 4 . 県医師会長挨拶                               | 会館管理特別会計                         |
| 5 . 役員紹介                                  | サービス評価事業特別会計                     |
| 6 . 報 告                                   | 介護サービス調査機関特別会計                   |
| 1 ) 4 月 1 日(火) ~ 2 日(水) 日医定例代議員会・定例総会について | 治験促進センター機構特別会計                   |
| 2 ) 平成 19 年度会務報告について                      |                                  |
| 3 ) その他                                   |                                  |
| 7 . 議 事                                   | 8 . 協 議                          |
| 議案第 1 号 平成 20 年度宮崎県医師会事業計画に関する件           | 1 ) 本会顧問の委嘱について                  |
| 議案第 2 号 平成 20 年度宮崎県医師会各会計収入支出予算に関する件      | 2 ) 本会名誉会員の委嘱について                |
|                                           | 3 ) 平成 20 年度日医社保指導者講習会復講等の開催について |
|                                           | 4 ) その他                          |
|                                           | 9 . 議長閉会宣言                       |

## 宮崎県医師連盟執行委員会開催

と き 平成 20 年 4 月 22 日(火) 20: 30~

ところ 宮崎県医師会館 2 階研修室

- |                               |                                        |
|-------------------------------|----------------------------------------|
| 1 . 開 会                       | 嘱の承認に関する件)                             |
| 2 . 委員長挨拶                     | ( 医師連盟規約第 12 条による )                    |
| 3 . 報 告                       | 議案第 2 号 平成 20 年度宮崎県医師連盟収入支出予算に関する件     |
| 1 ) 平成 19 年度会務報告について          | 議案第 3 号 平成 20 年度宮崎県医師連盟会費賦課及び徴収方法に関する件 |
| 2 ) 平成 20 年度日本医師連盟負担金賦課徴収について |                                        |
| 3 ) その他                       | 5 . 協 議                                |
| 4 . 議 事                       | 6 . 閉 会                                |
| 議案第 1 号 宮崎県医師連盟会計監督者の委        |                                        |

## — 各 種 委 員 会 —

## 会 員 福 祉 委 員 会

と き 平成 20年 2 月 21日(木)

ところ 県医師会館

野崎常任理事の司会により開会，八尋委員長の挨拶に続き，報告・協議に入った。

## 報 告

互助会・医師年金については事務局，医師国保組合については高橋理事，医師協同組合に關しては志多副会長より現況報告が行われた。

## 協 議

## 諮問事項の具体的な検討

会長諮問である 会員福祉のこれからの展望について， 医師協同組合のこれからのあり方について，の検討であるが， の会員福祉のこれからの展望について，の諮問の意味としては会員の経営・生活の安定を図ることとし，セーフティネット( 互助会・医師年金・医師国保組合・医師協同組合 )に重点をおいた議論となった。各委員からの意見として，未加入医師はメリットを求めているのもっと P R をすべきである，医療制度改革や診療報酬改定で福祉関係まで手が廻らない。例えば請求できるのに知らないがために請求していない事もあるので，もっと具体的な診療報酬改定内容を教えてもらう事も会員の収入を増やすという意味で会員福祉ではないのか，医師会としては健康増進のための健康診断・体力向上や会員親睦のための歩こう会やゴルフ大会・芸術を高めるための医家芸術展，老後のための医師年金これ以上に会員福祉委員会で検討すべき福祉があるのか，などの活発な意見であった。それらの意見を踏まえ，セーフ

ティネットの 4 本柱( 互助会・医師年金・医師国保組合・医師協同組合 )のすべてにおいては，会員数の増加が不可欠となるのもっと P R していかなければならない。

の医師協同組合のこれからのあり方について，当委員会から医師協同組合へ諮問を行い，そこで協議していただいた答申が出された。合計 3 回の検討委員会を開催し，医師協同組合が現在の形態を維持した場合のメリット・デメリット，独立した場合のメリット・デメリットを，全国，九州各県の医師協同組合の現況を参考に議論された。現在の形態を維持した場合のメリットは，有益な講演会等の開催，役員等の選出や事業への理解が得やすいなどであり，デメリットとしては，業績に合わせた人事評価が困難である。また，独立した場合のメリットは，職員の在任期間が長くなるために専門性が増し，人事評価がしやすくなる。医師会等への協賛金の減少などである。デメリットは，「医協＝医師会」の意識が希薄，利用代金の徴収( 引去 )がスムーズでなくなる，医師会からの情報( 会員異動等 )が不足する，収益を意識せざるを得なくなり値引き幅が小さくなる，無料職業紹介所の運営に支障をきたすなどであった。結論としてこれからの医師協同組合の形態としては，現在の県医師会と表裏一体となった組織運営方法の維持が望ましいとの答申であった。これらを踏まえて後日，秦会長へ答申をする事となった。

出席者 - 八尋委員長，三股副委員長，鯨島・北村・照屋・秦委員

( 県医 ) 志多副会長，野崎常任理事，高橋理事，阿萬課長，大野係長

## 救 急 医 療 委 員 会

と き 平成 20 年 2 月 22 日(金)

ところ 県医師会館

今回は、県福祉保健部医療薬務課および県危機管理局危機管理室・消防保安室の担当者に出席いただき、済陽理事により開会。大坪副会長の挨拶に続き、矢埜委員長司会のもと、報告・協議が行われた。

## 報 告

## 1. 小児救急医療電話相談事業について

配付資料により、平成 19 年 4 月～平成 20 年 3 月分について、月別状況、曜日別状況、所要時間、当事者年齢、当事者居住地、相談者の続柄、相談内容、対応内容、納得度等について報告された。

## 2. ACLS 講習会の現況について

配付資料により、平成 19 年度宮崎県内 ACLS (二次救命処置 講習会状況等について報告された。

なお、3 月 9 日(日) 9:00 から開催予定の平成 19 年度宮崎県医師会 ACLS 研修会(救急医療施設医師研修会)について案内された。

## 協 議

## 1. 各地区の夜間救急についての問題

各地区の状況説明があり、議論が行われた。

## 2. ひむか救急ネット(宮崎県広域災害・救急医療情報システム)について

県医療薬務課担当者から説明が行われ、今後、打合会を開催することになった。

## 3. 災害医療体制について

- 災害現場・救急医療現場の情報共有について
  - 県外協力体制、各県の状況について
  - 県内二次救急医療の現況について
- 以上について、意見交換が行われた。

出席者 - 矢埜委員長、廣兼副委員長、岡田・

小牧・平野・千代反田・高嶋・野本・

千阪・日高・早稻田・山口(宮日新聞社)

委員

県福祉保健部医療薬務課：緒方課長補佐、

肥田木・須志原主幹、斉藤主査

県危機管理局：海野副主幹(危機管理室)、

山台主査(消防保安室)

(県医) 大坪副会長、富田・濱砂常任理事、

済陽理事、田中事務局長、児玉次長、

杉田課長、鳥井元主事

## 健 康 ス ポ ー ツ 医 学 委 員 会

と き 平成 20 年 3 月 2 日(日)

ところ 県医師会館

健康スポーツ医学委員は、宮崎県スポーツドクター連盟の役員を兼ねており、緊密に連携をしながら活動をしているため、連盟の総会と委員会を合同で行った。

はじめに、田島委員長から挨拶があり、協議に移った。

## 協 議

## 1. 宮崎県医師会スポーツドクター連盟について

スポーツドクター連盟委員の河野先生より、平成 18 年度事業・決算報告が行われ、連盟監事の柳田先生から監査報告のあと承認された。次に平成 20 年度予算の審議が行われ、原案通り承認された。

## 2. 県民健康づくりサポート体制整備事業(スポーツメディカル医療機関ネットワーク事業)について

スポーツメディカル医療機関ネットワーク事業について、利用を促すため、認証プレー

ト、ポスター、リーフレットの作成進行状況の報告があった。

出席者—田島委員長，田中・押川副委員長，  
小岩屋・佐藤・獅子目・松村・帖佐・  
柳田委員  
(県医) 河野常任理事，久永係長

### 学 術 生 涯 教 育 委 員 会

と き 平成 20年 3 月 6日(木)

ところ 県医師会館

#### 報 告

2 月 16日(土)開催の日医生涯教育協力講座セミナー「生活習慣病の克服をめざして」(テーマ：脂質異常症)について

宮大第 3 内科の中里教授にコーディネートしていただき，小児や女性への対応，冠動脈への影響，薬物療法・食事療法について県内外の講師陣に基礎から講演いただいた。県内 8 会場へテレビ会議システムで同時放映し，出席者は過去最高の 135名で，内容の濃いセミナーであった。

#### 協 議

会長諮問事項への答申についての検討

「医療の質の向上と医師の生涯教育の推進について」の検討が行われた。

「興味を引き付けるため，個別テーマを列挙して選択して回答いただくような具体的なアンケート調査を実施してはどうか」「日医認定産業医研修会，各専門学会等の単位取得学会の単位は本会場以外では認められていないので，今後参加者を増やすためにも，テレビ会議での参加でも単位を認めるよう日本医師会や各種団体に引き続き要望と交渉をしていただくよう求めていくべきではないか」「インターネットを利用した日医生涯教育 on-line の活用を，県医師会でも行っていくべきではないか」などの活発な議論が交わされた。

今回出た意見をもとに，3 月末までに答申をまとめて会長に提出することとなった。

出席者 - 山口副委員長，釘宮・大地・瀧井・  
高山・宇和田・照屋・伊瀬知・藤元・  
安部・川名・堀之内・杜若・齊藤・  
松本委員

(県医) 大坪副会長，浜田理事，小川課長，  
喜入主事

## 第 3 回都市医師会長協議会( 概要 )

と き 平成 20年 2 月 5 日(火)

ところ 県医師会館

稲倉常任理事の司会により開会、秦会長の挨拶の後、報告及び協議に移った。

### 報告及び協議

#### 1 .1 /22(火) 日医 )都道府県医師会長協議会について

資料に基づき、秦会長が特定健診・特定保健指導への対応、診療行為に係る死因究明制度を中心に下記のとおり報告した。

なお、詳細な内容は、日医ニュース№ 1114 平成 20年 2 月 5 日号に掲載。

#### 特定健診・特定保健指導について

日医としては、都道府県医師会で、または都市医師会で実情に応じた対応、交渉をして欲しいと言っている。岐阜の場合は、医師会が書類提出( 支払基金への )を代行している。愛知では N P O 法人を作ってそれでやろうとしている。宮崎県としては医師会で一括してやれるような体制を作ろうとしている。ただ、電子媒体での報告、代行入力に費用がかかる。N T T データは 1 件につき 500円ぐらいと言っている。もう少し詰まったら県医師会一括方式を検討していきたいと思っている。

#### 診療行為に係る死因究明制度について

医師法 2 条により、医療事故があったら全部警察に届けなければならない。日医は厚労省との交渉で、調査委員会もしくは調査機関を作って、そこに報告すればいいのではないかとやっている。第 2 次試案まで出ているが、委員会には民間人等いろんな人が入る。やはり死亡事故になればやはり刑法に問われる。

勤務医の一部が非常に反発しているのは、急患とか重症の患者を引き受ければ、またいつ逮捕されるかわからないからであり、これを免責にせよと言っている。我々は医療事故がおきた場合、民事はあるが刑事は有り得ないと思っている。それを民事もあるが刑事もありますよと、しかし、医師法 2 条により警察に届け出た結果、警察が直ちにやってきて捜査するということはありません。そのための調査委員会であり、処罰的色彩を排除したものであると。それを早く次の国会に通して明文化したいとの説明だった。

#### 2 .1 /26(土) 長崎 )九州医師会連合会第 2 回各種( 医療保険・介護保険・地域医療対策 )協議会について

会議出席したそれぞれ担当役員から資料に基づき次のように報告があった。

なお、詳細な内容は、日州医事( 平成 20年 3 月号 )に掲載。

#### 1 ) 医療保険対策 / 志多副会長

診療報酬改定の再診料が非常に問題になった。日医鈴木常任理事が同席されていたが、時間が無く日医の本心が聞けなかった。今の時点では基本的には、軽微な処置の基本診療料への包括は同意する。検査判断料の引き下げも同意するという中医協での大まかな見解。後発医薬品の処方に関わる加算の廃止ものむ。本体プラスの改定の財源、所謂、勤務医対策のことであるが、診療所の配分は求めることはしない。病院勤務医

対策に充てる、配分を厚くするということである。日医も世論を配慮しての基本的な態度だろうと思う。具体的に、再診料の引き下げには勿論反対、最近の報道では再診料の引き下げは行わないということで大体の一致は中医協の公益側の意見も出たようである。しかし、支払側はまだまだ反対している。外来管理加算の時間的制限、5 分以上の要件、これが非常に大きい。これをやれば 1 日( 6 時間 ) 72 人しか診れない。これについては注視しておかないといけない。医療安全対策はいつも問題になるが、コストがかかる割にはこれにかかる診療報酬の手当が何もない。非常に医療機関の負担になっている。今後強く要望していくということであった。

## 2 ) 介護保険対策協議会 / 野崎常任理事

療養病床再編に伴う転換に関する問題について、福岡県では医療療養病床 24,000、国の試算では 8,000 強しかない。日医の試算では 12,000 強、地域ケア整備構想の確定が 3 月末であり、12,000 は維持してほしいということを県に申し入れているということだった。鹿児島県と宮崎県だけが県担当課との協議が終わり殆ど出来ている。各県とも国の参酌標準の数値より上回るため折り合いがついていないということだった。日医の天本常任理事より、療養病床の再編に関しては、現在、医療区分 1 の診療報酬が不明なため医療機関の意思決定が出来ない状況で、エビデンスでは医療区分 2・3 と同じくらいに医療が必要であるとのデータが出ているが、なかなか世の中は現状が通らない。日医では何度も様々な立場で受け皿が整備されてない段階であり、参議院での付帯決議で介護療養病床の廃止が決定した時点で介護療養病床における医療の在り方

を検討するということだったが、結論が出ないままにどんどん進んでいるとの説明であった。

## 3 ) 地域医療対策協議会 / 濱砂常任理事

4 疾病 5 事業の議題の中の「高度・急性期総合病院を、民間も否定しないとしつつも、公立、公的を想定している。それが地域医療計画の 4 疾病にも波及することが懸念される。日医の考え方はいかがお聞きしたい」との協議事項について、厚労省医政局の原課長が昨年、高度・急性期総合病院構想の説明の際、高度・急性期総合病院が何でも手術し、一般の急性期病院がその下あって、それを受けて、各療養型病床群も受けるというようなピラミッド形の構想を出している。4 疾病 5 事業にもこういう考え方を根本的に持っているのではないかと。特にがん、内容は、化学療法、放射線療法、手術ができない病院は拠点病院にはなれないとある。放射線療法を使わない治療方法もある。臓器別がいいのではないかとという意見も出た。宮崎県は、がんの拠点病院は公的病院という案を県が持ってきた。他の県は基本法がありつつも、所謂医師会が中心となって意見を言うべきであるとのことだった。私個人としても臓器別で表すのが一番解りやすいと思っている。

稲倉常任理事 - がん対策の問題、先日、県医療計画策定会議があったが、そのときの県からの案では、県立 3 病院と国立病院機構都城病院を基幹病院にするとの説明であった。それでは出来ないとの意見を出した。臓器別に分けて、准基幹病院というものを作って、一緒に公表してほしいと申し入れた。

## 3 . 今後の行事予定及び診療報酬改定について

資料に基づき稲倉常任理事、秦会長より、

診療報酬改定説明会を含んだ今後の行事予定について説明があった。

#### 4 . 医療機関のテレビコマーシャルについて

宮崎市郡医師会の八尋副会長より、事例報告として、昨年開業した一医療機関のテレビコマーシャルについて会員より疑義が寄せられた。それを受けて保健所に相談したところ、ご存知のように医療機関の広告は随分緩和されており、内容的には殆ど問題ないという回答であった。九州各首市医師会に問い合わせた結果、殆どタッチしていないということであった。

富田常任理事 - テレビ広告に関しては昨年の秋、UMK、MRT より医療機関のコマーシャルを作りたいとの相談があった。医療機関の広告媒体としてはテレビは好ましいとは考えていないと伝えたが、強制はできない現状である。

#### 5 . その他

##### 1 ) 県医師会代議員について

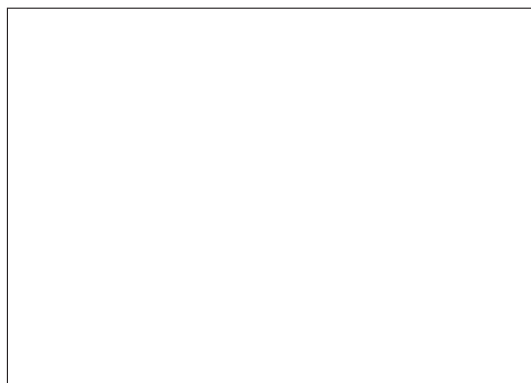
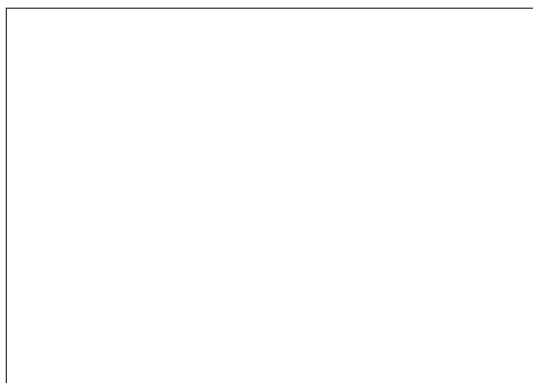
平成 20年 2 月 1 日から平成 22年 1 月 31日までの代議員名簿を配付した。

##### 2 ) 次期郡市医師会長について

次期(任期：平成 20年 4 月 1 日～平成 22年 3 月 31日)郡市医師会長の名簿を配付した。

#### 出席者

郡市医師会 - 八尋副会長、夏田会長、岡村会長、甲斐会長、永友会長、相澤会長、大井会長、大森会長、佐藤会長、高崎会長  
県医師会 - 秦会長、大坪・志多副会長、稲倉・西村・富田・早稻田・河野・濱砂・浜田・吉田・野崎・長倉常任理事  
田中事務局長、児玉次長、島原・阿萬・小川・杉田・竹崎課長、伊東国保課長、甲斐医協事務長



## 宮崎県医師会創立 119 周年記念医学会

と き 平成 20 年 2 月 25 日(月)

ところ 県医師会館

開会に先立ち、医神祭を執り行った。

秦 県医師会長挨拶

明治 2 年 2 月 25 日に県下各郡医会を統合し、宮崎県連合医会が発足した。会議は「県会議講堂」で行われ、会員数 478 名、出席者 84 名と記録されている。同時に、県医学会が開催されている。それから 119 年、先輩たちが営々と重ねた努力の上に今日がある。

本日表彰を受けられる米寿・喜寿の先生方、永年勤続職員の方々のご功績もそれに連なるものであり、心から敬意を表す。

また、時、あたかも医療制度の大改革期にあっている。本年の 4 月から後期高齢者医療保険制度の創設、第 5 次保健医療計画の作成、特定健診、保健指導の導入、IT 化の推進など、地域医療の現場が大きく変貌しようとしている。

先生方のご協力、ご支援により完成した第 3 代目の新県医師会館はこれらの時代の要請に対応できるものである。新しい時代が、新しい人々によって切り開かれていく事を確信している。

最後まで楽しくお付き合いいただき、明日への糧にいただければ幸いですとの挨拶があった。

県医師会医学賞贈呈

大坪副会長から、9 月 13 日に開催された医学賞選考委員会において、宮崎県医学会誌第 30 巻第 1 号及び第 2 号の論文の中から、永田賢治先生他の「当科における肝細胞癌に対する経皮的ラジオ波焼灼療法の治療成績」が推薦され、全理事会で決定された旨の説明があった。その後、永

田先生に秦会長から医学賞が贈呈された。

高齢者会員祝賀

米寿会員( 7 名 )

黒 水 啓 一 先生( 宮 崎 )

谷 榮 市 先生( 宮 崎 )

松 岡 春 明 先生( 延 岡 )

白 石 孝 之 先生( 日 向 )

津 曲 宗 康 先生( 児 湯 )

有 川 昌 男 先生( 西 都 )

田 崎 力 先生( 西臼杵 )

喜寿会員( 13 名 )

川 越 修 先生( 宮 崎 )

杉 澤 徹 先生( 宮 崎 )

早稲田 睦 先生( 宮 崎 )

大 島 康 宏 先生( 都 城 )

濱 田 義 次 先生( 都 城 )

丸 田 次 郎 先生( 都 城 )

甲 斐 允 雄 先生( 延 岡 )

宝珠山 弘 先生( 延 岡 )

松 崎 武 壽 先生( 延 岡 )

田 中 浩 夫 先生( 日 向 )

糸 井 達 雄 先生( 児 湯 )

池 上 信 夫 先生( 西 諸 )

田 上 恒 雄 先生( 西臼杵 )

永年勤続職員表彰( 95 名 )

井ノ口内科医院( 宮崎 )

中 尾 圭 子 様

小川産婦人科医院( 宮崎 )

三 田 純 子 様

## 宮崎中央眼科病院(宮崎)

池 田 美穂子 様

" 仁田脇 絹 代 様

" 奈良迫 文 人 様

" 松 元 誠一郎 様

" 森 田 克 子 様

" 奈良迫 博 子 様

## 宮崎若久病院(宮崎)

野 口 光 憲 様

" 阿 部 武 光 様

" 鬼 束 清 身 様

" 田 代 正 典 様

" 河 野 辰 郎 様

" 浅 岡 悦 子 様

" 清 水 洋 子 様

" 尾 上 晶 子 様

" 長 友 恵美子 様

" 衛 藤 真 二 様

" 明 利 定 信 様

## 古賀総合病院(宮崎)

荒 武 敏 夫 様

" 牧 野 克 弘 様

" 財 部 初 美 様

" 本 田 正 次 様

" 荒 殿 悦 子 様

" 小 牧 一 彦 様

" 日 高 樹一郎 様

" 入 船 義 典 様

" 衛 藤 みつ子 様

## けいめい記念病院(宮崎)

河 野 早 苗 様

## 高宮病院(宮崎)

岡 元 洋 様

" 大 谷 優 子 様

## 平和台病院(宮崎)

河 野 弥 生 様

## 古賀駅前クリニック(宮崎)

大 内 教 由 様

## 相良内科医院(都城)

大 峰 知 子 様

## 志々目医院(都城)

有 村 きみ子 様

" 新 静 代 様

## 永田病院(都城)

中 村 一 郎 様

" 富 田 勇 一 様

" 富 田 豊 子 様

" 安 平 イチ子 様

" 今 永 周 二 様

## 藤元上町病院(都城)

稲 用 久美子 様

## 倉内整形外科病院(都城)

胡摩窪 エツ子 様

" 中 原 やす子 様

## 井上医院(延岡)

石 田 五 江 様

## 押領司内科医院(延岡)

井 俣 多美子 様

## 甲斐整形外科医院(延岡)

本 田 康 子 様

" 佐 藤 珠 代 様

## 谷村病院(延岡)

小 川 清 子 様

" 梶 本 亮 子 様

## 黒瀬病院(延岡)

池 永 由紀子 様

## 延岡保養園(延岡)

大 山 郁 枝 様

" 染 矢 國 義 様

" 宇 藤 恒 生 様

" 黒 木 信 一 様

" 川 崎 幹 男 様

## 平田病院(延岡)

黒 木 峰 子 様

" 木 下 キヨ子 様

## 黒木病院(延岡)

木 村 聖 子 様

## 松崎小児科医院(延岡)

牧 野 利 恵 様

## 吉田病院(延岡)

小 野 マリ子 様

" 松 川 好 利 様

" 甲 斐 義 章 様

" 平 田 貞 子 様

" 甲 斐 とし子 様

" 甲 斐 久美子 様

" 金 丸 宏 様

" 蓮 本 孝 一 様

" 金 丸 弘 子 様

" 江 藤 昌 子 様

" 柳 田 賢 一 様

吉田病院(延岡) 黒 木 京 子 様  
 " 郡 司 正 人 様  
 " 江 口 知恵美 様  
 " 橋 口 政 子 様  
 " 西 田 雄 一 様  
 協和病院(日向) 丹 生 勝 義 様  
 " 中 田 喜代子 様  
 " 小 田 愛 子 様  
 " 柏 田 文 子 様  
 三ヶ尻整形外科医院(日向)  
 椎 葉 ヨシ子 様  
 三財病院(西都) 松 本 八代子 様  
 " 松 本 純 子 様  
 上野医院(西都) 橋 口 公 洋 様  
 " 橋 口 トナミ 様  
 本城診療所(南那珂) 小 倉 小夜子 様  
 " 三津田 利恵子 様  
 河野医院(南那珂) 富 永 美佐子 様  
 " 谷 口 たず子 様  
 山元病院(南那珂) 中 倉 陽 子 様  
 " 日 高 享 子 様  
 " 岡 澤 芳 枝 様  
 池井病院(西諸) 大 脇 純 子 様  
 内村病院(西諸) 須 賀 悦 子 様  
 えびの共立病院(西諸) 小 菜 秀 子 様

以上 95 名(順不同)

永年勤続県医師会事務職員表彰(2 名)

県医師協同組合 事務長 甲 斐 富 男

県医師国民健康保険組合 課長補佐

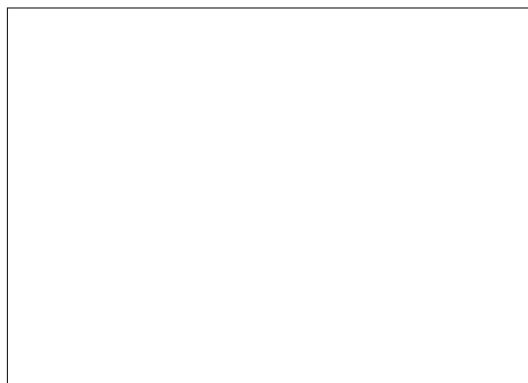
小 川 和 恵

医学賞講演

上田理事の座長により、今回医学賞を受賞された永田賢治先生に、受賞論文の概要をご講演いただいた。

特別講演

秦会長の座長により、日本赤十字社医療センター名誉院長・日本医師会参与の森岡恭彦先生に「医の職業倫理について～日本医師会の取り組み」と題してご講演いただいた。森岡先生は、現在、日医の会員の倫理・資質向上委員会委員長をお務めであり、時宜を得たお話を拝聴することができた。



この後、表彰・祝賀を受けられた方々の記念撮影を行い、懇親会に移った。

終始和やかな雰囲気、大変盛会であった。

## 第 145回宮崎県医師会臨時代議員会(概要)

と き 平成 20年 2 月 26日(火)

ところ 県医師会館

今回は、代議員改選後初の代議員会であり、議長・副議長をはじめ、次期本会役員、次期日医代議員等の選出とともに、平成 20年度の暫定事業計画・予算について審議された。

### 仮議長開会宣言

定款施行細則第 16条により年長の甲斐文明代議員が仮議長となり、代議員の定数は 35名、出席代議員も 35名、定款第 44条の規定に基づき代議員会は成立することを告げ、開会を宣言した。

なお、議事進行に関連し、池ノ上克理事が宮崎大学医学部医師会総会において代議員に、丹光明理事が西諸医師会総会において予備代議員に選出され、本会定款第 14条第 4 項の規定により、1 月末日付けで理事の辞任届が提出された旨の報告があった。

### 議長・副議長選挙

議長・副議長は、定款第 40条第 2 項の規定に基づき、議長に大森臣道代議員、副議長に永友和之代議員が選出された。

### 議事録署名人選出

定款第 46条第 2 項の規定に基づく、議事録署名議員として、金丸禮三代議員、山村善教代議員を選出した。

### 秦 県医師会長挨拶

10年間本当にお世話になった。会務運営の透明性、医療情報が全会員へ平等に認知されるよう心がけてきたつもりである。また、IT 化の推進、FAX 通信網の構築、テレビ会議システムの整備、理事会のペーパーレス化等に力を入れてきた。対外的には、地域共生の理念を掲げ、県民の健康と幸せを守る県医師会というスローガンでやってきた。新会館はその趣旨にそったも

のと考える。多くの知己を得て支えられてやってきた。感謝申し上げたい。

### 議 事

#### 議案第 1 号 平成 20年度宮崎県医師会暫定事業計画に関する件

平成 20年度 4 月度の暫定事業計画(主に理事会、代議員会等の必要な会議)について大坪副会長が口頭で説明を行い、異議なく承認可決された。

#### 議案第 2 号 平成 20年度宮崎県医師会各会計収入支出暫定予算に関する件

一般会計

福祉特別会計

会館管理特別会計

サービス評価事業特別会計

介護サービス調査機関特別会計

治験促進センター事業会計

#### 議案第 3 号 平成 20年度宮崎県医師会暫定会費に関する件

上記議案第 2 号、議案第 3 号に関しては、関連があるため一括上程され、西村常任理事が配付資料に基づき説明を行い、いずれの議案も異議なく、原案どおり承認可決された。

#### 議案第 4 号 宮崎県医師会入会時負担金賦課規程第 2 条の一部改正に関する件

配付資料に基づき、西村常任理事が説明を行い、異議なく承認可決された。

### 協 議

#### 1. 次期理事の数について

稲倉常任理事が次期(任期：平成 20年 4 月 1 日～平成 22年 3 月 31日まで)理事の数を 20名にしたいことの提案理由説明を行い、採決の結

果、次期理事の数は 20 名とすることが承認可決された。

## 2. 事前質問事項について

川名隆司代議員 - 平成 20 年度の診療報酬改定において新設された「後期高齢者診療料」の算定要件として、1) 高齢者の心身の特性等に関する講義を中心とした研修、2) 診療計画の策定や高齢者の機能評価の方法に係る研修を受けた医師の常勤が要件とされている。県医師会として、上記研修に関しどのような予定を組まれるのかご教示いただきたい。

稲倉常任理事 - 日医に照会しているが、告示の部分だけが決まっており運用面の通知が公表されていない。現在詰め協議を厚労省と行っている段階とのことである。日医の現在の見解としては、高齢者医療の経験が例えば 5 年以上ある医師についてはいくつかの簡単な要件を変えることで不要としたいという考え方を持っている。また、臨床経験の浅い医師は届出時点で研修要件を満たさなくても、例えば年内に後期高齢者の診療上不可欠な知識を取得する研修を受ける前提があれば 4 月からでも算定できるようにしたいというのが日医からの回答である。研修は、地区医師会の受講で済むということを考えている。研修のカリキュラム等についても日医では鋭意検討しているとのこと。難しい条件ではないということだった。

川名隆司代議員 - 院内で医療事故が起こった際に、特定機能病院では医療安全委員会が事故の調査を行うようになっている。これに対し、自前の事故調査が困難な一般病院や有床診療所においては、「県医師会が院内医療事故調査に準ずるシステム」を構築するよう日医が支援するとなっている。これに関する今後の取組みをご教示いただきたい。

西村常任理事 - 会内の医療苦情処理委員会、医事紛争対策委員会、診療情報提供推進委員会を活用していきたいと考えている。院内医療

事故調査委員会を作る場合は、3 つの委員会を寄せ集めて、あるいはピックアップして、専門の先生、弁護士、民間人も入れることになると思うが、宮崎県の場合はいつでも組める体制は作っている。

市来能成代議員 - 自治医大卒業生の県内定着率とその先生方に対する県医師会の支援体制について伺いたい。

河野常任理事 - 自治医大卒の先生方のへき地勤務後の状況は平成 19 年 6 月現在で 4 名が該当し、県外に 18 名、県内に 24 名の先生が残られ、その内そのままへき地に勤務されている先生が 3 名、県内病院の勤務または開業された先生方が 1 名、県職員として 4 名採用されている。義務年限を終えられた医師の方々が県外へ去られるのはまことにもったいない話である。県医師会としても、様々な県の会議と会合の場をとらえ関係部署に申し入れを行っている。昨年宮崎市で開催された日本プライマリ・ケア学会に講師として招聘した高久自治医大学長、東国原県知事に本県の医療状況及び医師確保について説明を行い、県内定着を含めた陳情を行っている。県のドクタープールが充実し医師がプールできた暁には、地域の医療を担う医師会病院等まで出向を広げて頂くように申し入れていきたいと考えている。

岡村公子代議員 - 患者さんへの医療費返還のお知らせ通知のあり方について、診療報酬の再審査請求中に当該患者に社会保険事務局事務センターより医療費のお知らせ文書が送付されていた。このような係争中の事案に対して通知を出す場合は、医療機関へ事前に通告がなされるべきではないか。

稲倉常任理事 - 一部負担過払通知に対する疑念について、もっともなことだと考えている。国保連合会、宮崎社会保険事務局に照会した。昭和 60 年 7 月以降審査分より保険者協議会の申し合わせにより、査定額にかかる自己負担相当額が 1 万円以上のレセプトについて実施

するようになっている。2 か月間の間に再審査請求をしないと 6 か月目には被保険者に通知が出される。このことは保険者から患者への情報提供という意味で、必ずしも医療機関に返還せよというような指示ではない。医療機関は既に手術・診察・投薬等を行っており、患者さんから返還の申し出があっても直ちに返還に応ずる必要はないと。一番の問題点は、まず診療が終わって 5 か月以内に再審査請求が行われていれば、通知が保留になるか、または再審査請求中(訴訟中)であることが社会保険事務局から被保険者に通知が行くようになっていくという説明であった。社会保険医療協議会で取り決めを行っており、ルールがないとなかなか進まないと思う。決められたとおりに再審査請求を早めにするとか、医療機関も守っていかないと制度自体がうまく働かない。

#### 役員選挙

選挙細則第 1 条及び第 12 条第 4 項の規定に基づき、議場に掲示し、候補者名簿を配付し選挙を行った。

#### 会長選挙

定数 1 人に対し、届け出のあった候補者も下記 1 人で、当選者と決定した。

稲 倉 正 孝(宮 崎)

#### 副会長選挙

定数 2 人に対し、候補者も下記 2 人で、当選者と決定した。

#### 当選者(届出受付順)

河 野 雅 行(宮 崎)

富 田 雄 二(宮 崎)

#### 理事選挙

理事の定数は定款第 13 条により 15 人以上 23 人以内となっているが、先の協議により次期理事の数は 20 名と決定したので、会長、副会長を除く理事の選出数は 17 人となり、候補者も 17 名で、下記 17 名全員を当選者と決定した。

#### 当選者(届出受付順)

千々岩 一 男(宮大医)

矢 野 裕 士(西 諸)

済 陽 英 道(宮 崎)

長 倉 穂 積(都 城)

金 丸 吉 昌(日 向)

大 塚 直 純(西 都)

立 元 祐 保(宮 崎)

古 賀 和 美(宮 崎)

濱 田 政 雄(宮 崎)

佐 藤 雄 一(宮 崎)

松 本 宏 一(宮 崎)

石 川 智 信(宮 崎)

荒 木 早 苗(宮大医)

吉 田 建 世(延 岡)

中 島 昌 文(南那珂)

高 橋 政 見(児 湯)

上 田 章(宮 崎)

#### 監事選挙

監事の定数は 3 人で、候補者も 3 人で、下記 3 名を当選者と決定した。

#### 当選者(届出受付順)

大 藤 哲 郎(宮 崎)

濱 田 義 臣(都 城)

甲 斐 允 雄(延 岡)

#### 裁定委員選挙

裁定委員の定数は 11 人で、候補者も 11 人で、下記 11 人全員を当選者と決定した。

#### 当選者(届出受付順)

田 村 正 三(宮大医)

宮 崎 裕 三(西 諸)

定 永 正 明(宮 崎)

楠 元 正 輝(宮 崎)

貴 島 亨(都 城)

鮫 島 哲 也(日 向)

石 坂 公 夫(延 岡)

大 塚 和 子(西 都)

糸 井 達 雄(児 湯)

山 口 和 彦(南那珂)

田 崎 清 廣（西臼杵）

日本医師会代議員選挙

日本医師会定款施行細則第 3 条により，本会から選出する代議員は 4 人で，候補者も定数と同じ 4 人で，下記 4 人を当選者と決定した。

当選者（届出受付順）

稲 倉 正 孝（宮 崎）

大 坪 睦 郎（宮 崎）

河 野 雅 行（宮 崎）

富 田 雄 二（西 都）

日本医師会予備代議員選挙

日本医師会定款施行細則第 3 条により，本会から選出する予備代議員は 4 人で，候補者も定数と同じ 4 人で，下記 4 人を当選者と決定した。

当選者（届出受付順）

山 元 敏 嗣（南那珂）

牧 野 剛 緒（延 岡）

飯 屋 純 人（都 城）

榎 健一郎（西 諸）

互助会監事推薦

互助会規程第 1 条により，下記 3 人を代議員の推薦をすることと決定した。

楠 元 正 輝（宮 崎）

小 牧 齋（宮 崎）

日 高 明 義（宮 崎）

役員等の選挙終了後，当選役員を代表し，次期稲倉会長から当選の挨拶があり，大森議長が閉会を宣言した。

〔出 席 代 議 員〕

1 番 山 内 励  
（予備代議員）  
2 番 市 来 能 成  
3 番 金 丸 禮 三  
4 番 田 中 俊 正  
5 番 千 阪 治 夫  
6 番 岡 田 光 司  
7 番 栗 林 忠 信  
8 番 中 山 健  
9 番 成 田 博 実  
10 番 金 田 太 郎  
11 番 中 村 周 治  
12 番 川 名 隆 司  
13 番 増 田 好 治  
14 番 原 田 一 道  
15 番 山 村 善 教  
16 番 夏 田 康 則  
17 番 飯 屋 純 人

18 番 小 牧 文 雄  
19 番 飯 田 正 幸  
20 番 瀬ノ口 頼 久  
21 番 岡 村 公 子  
22 番 牧 野 剛 緒  
23 番 佐 藤 靖 美  
24 番 甲 斐 文 明  
25 番 渡 邊 康 久  
26 番 永 友 和 之  
27 番 相 澤 潔  
28 番 山 元 敏 嗣  
29 番 長 友 英 仁  
30 番 大 森 臣 道  
31 番 前 原 東 洋  
32 番 榎 健一郎  
33 番 佐 藤 元二郎  
34 番 高 崎 眞 弓  
35 番 池ノ上 克

〔出 席 役 員〕

会 長 秦 喜八郎  
副 会 長 大 坪 睦 郎  
" 志 多 武 彦  
常任理事 稲 倉 正 孝  
" 西 村 篤 乃  
" 富 田 雄 二  
" 早稲田 芳 男  
" 河 野 雅 行  
" 濱 砂 重 仁  
" 浜 田 恵 亮  
" 吉 田 建 世  
" 野 崎 藤 子  
理 事 長 倉 穂 積  
" 高 橋 政 見  
" 上 田 章  
" 済 陽 英 道  
" 金 丸 吉 昌  
監 事 甲 斐 允 雄  
" 大 藤 哲 郎

## 本県の医療体制整備について 東国原県知事へ要望

と き 平成 20年 3 月 5 日(水)

ところ 県庁知事室

秦会長，西村産婦人科医会長，千阪小児科医会長は，東国原県知事を尋ね，本県における医療体制整備について要望を行った。東国原県知事から，充分認識しており，検討して参りたいと回答を得ることが出来た。なお要望書の内容は，下記のとおりである。

### 1．助産師の養成・確保について

本県の助産師充足状況も全国と同様な傾向にあるが，県内の分娩取扱い施設における助産師の充足率は低く，特に診療所においては，全国よりも助産師不足の傾向が強い。県内では，年間約 1 万余の分娩の約 60%が診療所で行われ，一次，二次の機能分担を有効に働かせて周産期医療の成果を上げており，周産期死亡率は平成 11年と 16年は全国で最も低く，全国でもトップレベルで推移している。

しかし今後，絶対的な助産師不足は診療所にも影響を及ぼし，この周産期医療の致命的崩壊の因子となりかねないと危惧している。国は平成 18年に，産科に勤務している看護師のための助産師養成施設(社会人コース)の新設・増設や看護師養成所における助産師養成施設の併設を推し進めている。

このような動きに対応して本会としては，宮崎市郡医師会立の宮崎看護専門学校および九州保健福祉大学総合医療専門学校へ助産師養成所の設置を要望したが，各事情により実現には至らなかったものの，現在，都城の社団法人八日会都城洋香看護専門学校が助産学科(定員 10名)の併設の手続きを行っている。

現在の助産師養成は，宮崎大学医学部看護

学科(定員 5 名)および宮崎県立看護大学(定員 5 名)のみであり，卒業生は各々数名である。

現在の危機的状態を打破するために，緊急的措置として宮崎県立看護大学に 1 年の助産師コース社会人枠(要看護師免許資格者)を一定数設けて，独自に養成することが必要と思われる。医師確保がままならない現状において助産師の力が必要であり，平成 20年度からそのための方策を講じられるよう要望する。

### 2．小児救急医療体制の整備について

本会は，平成 14年 1 月に本県における小児救急医療のあり方を巡って県民向け公開講座を開催して問題点を指摘したが，現在に至るまで小児救急医療を含めた小児医療の整備は進んでいない。むしろ本県の小児医療は全国と比較しても低い水準にある。

小児救急医療体制の整備は，宮崎県地域医療対策協議会小児科検討部会が取りまとめた「こども医療圏」における「小児科医療の集約化・重点化」を早急に実施する道しかないと考えられる。

率先して小児医療，特に小児救急医療体制の整備に取り組まれるよう要望する。

### 3．喫緊の医師確保策について

1) 自治医大卒業生(義務就業年数修了者)の確保

2) 潜在女性医師の再活用

出席者—秦会長，西村産婦人科医会長，千阪小児科医会長，田中事務局長，鳥井元・那須主事

## 九州医師会連合会常任委員・ 九州各県医師会次期会長合同会議

と き 平成 20 年 3 月 8 日(土)

ところ ホテルニュー長崎

### 1. 開 会

#### 2. 九州医師会連合会長挨拶

九医連会長で長崎県医師会長の井石哲哉先生より、今回が担当県としての最後の会議ということで、お礼の挨拶が述べられた。

### 3. 報 告

1) 九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期日医代議員協議会(3月8日(土)長崎市)について

2) 九州ブロック日医代議員(含・次期)連絡会議(3月8日(土))について

2 事項について会議日程及び協議内容について報告があった。

### 4. 協 議

1) 九州医師会連合会第 29 回常任委員会の開催について

平成 20 年 4 月 19 日(土)ホテル日航熊本での開催を決定した。

2) 九州ブロックから推薦する次期日医役員等の候補者について

理事候補は北野邦俊熊本県医師会長・沖田信光佐賀県医師会長、裁定委員候補は佐賀県医師会の凌俊朗先生の推薦を決定した。

3) 平成 20 年度、21 年度における日本医師会代議員会の諸委員について

議事運営委員は横倉義武福岡県医師会長、予算委員は玉城信光先生(沖縄県)・近藤 稔

先生(大分県)・蒔本 恭先生(長崎県)・決算委員は園田勝男先生(鹿児島県)・河野雅行先生(宮崎県)以上の推薦を決定した。

4) 第 118 回日本医師会定例代議員会開催に伴う九州ブロック日医代議員連絡会議の開催について

4 月 1 日(土)午前 9 時から日本医師会館九州ブロック控え室に於いて開催することが決定した。また、例年どおり九州ブロックが推薦した役員候補者と一緒に各ブロックへの挨拶回りを行うことが確認された。

5) 日本医師会次期会長候補者の推薦について

九州ブロックとしては、唐澤現会長を推薦することが確認された。

6) 日本医師会次期役員等候補者の推薦届出と都道府県医師会選出日医代議員への文書による協力依頼等について

慣例により、九医連担当県である長崎県医師会に於いて、届出と協力依頼文書作成を行い、全国の日医代議員等へ協力依頼をする旨報告があった。

7) その他

日医代議員会での質問は今後調整する。

出席者 - 秦会長、稲倉次期会長、田中事務局長

## 九州医師会連合会常任委員・ 九州各県医師会次期日医代議員協議会 九州ブロック日医代議員(含・次期)連絡会議

と き 平成 20年 3 月 8 日(土)

ところ ホテルニュー長崎

九医連会長で長崎県医師会長の井石哲哉先生より、今回が担当県としての最後の会議ということで、お礼の挨拶が述べられた。引き続き座長に選出され、報告・協議に入った。

### 1. 報 告

九州ブロック日医代議員(含・次期)連絡会議(3月8日(土))について

井石座長から会議日程及び協議内容について報告があった。

協議に入る前に、来る4月1日の日医役員選挙での唐澤日医会長候補に対する理解と協力を求め、東京都医師会役員(唐澤日医会長候補選対本部)による挨拶があった。

### 2. 協 議

#### 1) 九州ブロックから推薦する次期日医役員等の候補者について

井石座長より、九医連の申し合わせに基づき、先に行われた常任委員会において、理事候補は北野邦俊熊本県医師会長・沖田信光佐賀県医師会長、裁定委員候補は佐賀県医師会の凌 俊朗先生の推薦が確認された旨報告があり、協議の結果、推薦することが決定した。

#### 2) 平成 20年度、22年度における日本医師会代議員会の諸委員について

井石座長より、九医連の申し合わせに基づき、先に行われた常任委員会において、議事運営委員は横倉義武福岡県医師会長、予算委員は玉城信光先生(沖縄県)・近藤稔先生(大分県)・蒔本恭先生(長崎県)、決算委員は園田勝男先生(鹿児島県)・河野雅行先生(宮崎県)の推薦が確認された旨報告があり、協議の結果、上記のとおり決定した。

#### 3) 第 118回日本医師会定例代議員会開催に伴

う九州ブロック日医代議員連絡会議の開催について

4月1日(土)午前9時から日本医師会館九州ブロック控え室に於いて開催することが決定した。また、例年どおり九州ブロックが推薦した役員候補者と一緒に各ブロックへの挨拶回りを行うことが確認された。

#### 4) 日本医師会次期会長候補者の推薦について

井石座長より、現況としては近畿ブロック以外の全てのブロックが、現日医会長の唐澤祥人先生を推薦している。九州ブロックとしても、唐澤先生を推薦することが再確認され、了承された。

#### 5) 日本医師会次期役員等候補者の推薦届出と都道府県医師会選出日医代議員への文書による協力依頼等について

慣例により、九医連担当県である長崎県医師会に於いて、届出と協力依頼文書作成を行い、全国の日医代議員等へ協力依頼をする旨報告があり、了承された。

引き続き九州ブロック日医代議員(含・次期)連絡会議が開催され、九州ブロック推薦の日医委員会委員により、下記のとおり報告があった。

### 報 告

#### 1) 社会保険診療報酬検討委員会

近藤 稔 委員(大分県)

#### 2) 有床診療所に関する検討委員会

美川 隆造 委員(佐賀県)

出席者 - 秦会長、大坪副会長、

稲倉・富田常任理事

田中事務局長、島原課長、福元主査

## 都道府県医師会廃棄物担当理事連絡協議会

と き 平成 20年 2 月 13日(水)

ところ 日本医師会館

日医今村常任理事の司会にて、日医竹嶋会長代行の挨拶後、議事が進行された。

### 議 事

#### 1. 経過と報告

##### 1) 感染性廃棄物等に関する検討委員会報告

日医感染性廃棄物等に関する検討委員会

宮崎委員長

平成 19年度、プロジェクトチームとして「感染性廃棄物等に関する検討委員会」が発足した。その際に、「医療機関における感染性廃棄物適正処理の普及方策」について唐澤日医会長からの諮問を受け、策を講じ提言した。5 項目の提言については、感染性廃棄物等に関する教育講習会の設置について、感染性廃棄物等に関するアンケート調査の実施について、在宅医療廃棄物の取り扱いについて、感染性廃棄物等に関する質疑応答集(Q & A)の作成について、都道府県医師会・郡市区医師会の感染性廃棄物等に関する情報機能についてである。それらの提言を受け、平成 18年度に再度委員会が発足した。提言に沿った形で委員会は遂行され、感染性廃棄物等に関する教育講習会については、日本医師会において平成 19年 2 月から、医療関係機関等を対象とした「特別管理産業廃棄物管理責任者」資格取得講習会をこれまでに 10回実施している。感染性廃棄物等に関するアンケート調査の実施については、平成 19年 1 月に都道府県医師会および郡市区医師会へ依頼し、A 票として、医師会の廃棄物問題に対処する体

制や在宅医療に伴い家庭から排出される廃棄物の取り扱いの実態、現状における感染性廃棄物等の問題点などを調査した。また、B 票は、医療機関を対象として調査を実施した。ただし、廃棄物分類および容器の種類など、調査結果にばらつきが生じており、纏めきれっていないところもあるので、今後更なる検討が必要であるとする。在宅医療廃棄物の取り扱いについては、平成 18年度から協議を重ね、委員会へ答申し、在宅医療廃棄物の取り扱いに関するガイドラインとして纏めた。また、このガイドラインを要約し、分かりやすく配布用として、在宅医療廃棄物の取り扱いガイドを作成した。都道府県医師会・郡市区医師会の感染性廃棄物等に関する情報機能については、本日、都道府県医師会廃棄物担当理事連絡協議会を開催し、担当理事の先生方へ在宅医療廃棄物の取り扱いに関するガイドラインを示し配布することが出来たことが有意義であったとする。調査結果が示しているとおり、郡市区医師会が地元市町村と話し合い等の機会を持たれている方が、お互いの理解が得られ、在宅医療廃棄物の処理および処分がスムーズにしていることが結果として現れている。環境省が行った調査に関しても同じような結果が得られている。在宅医療廃棄物の処理・処分に関しては、法律上、感染性廃棄物の範疇ではなく、一般廃棄物として処理・処分がなされることになる。しかしながら、収集する現場においては、

感染性が全くないとも否定はできないと危惧されている。これら法律上の問題と現場サイドの問題点についての溝をお互い埋めていかないと、医師会と市町村との合意は得られないと考える。

## 2) 在宅医療廃棄物の適正処理について

### 日医今村常任理事

在宅医療廃棄物は、一般廃棄物として市町村に収集責務があることは環境省および厚労省からの通知からでも明らかであるが、実態は、市町村からの回収がなかなか進んでいない。地域事情はあるが、医療系廃棄物は全て危険であるという固定観念を払拭するため、「在宅医療廃棄物適正処理ガイドライン」を作成した。内容が詳細に記載されているので先生方には、ぜひお目通しいただきたい。しかし、行政に理解いただくには内容が専門的すぎる。そこで、「在宅医療廃棄物の取り扱いガイド」も同じく作成させていただいた。これは、行政担当者と話し合いを持つ際にぜひ活用していただきたい。ガイドラインの在宅医療廃棄物の市町村受け入れ状況では、注射針、注射筒、バック類・チューブ類、脱脂綿・ガーゼに分けた場合、全て受け入れると回答があったところが5.3%、注射針以外の収集は25.7%である。在宅医療廃棄物は一般廃棄物であるが、針など鋭利なものは医療機関が処理して、それ以外は自治体が処理することが望ましいとされている。しかし、全く処理に対応していない自治体が67.3%もある。出来る限り、各医師会の中に廃棄物担当理事をおいて、市町村との交渉に当たっていただくことが今後在宅医療を進めるうえでの重要な取組みと考える。話し合いの手順として、鋭利な注射針等の収集が不可とされた場合でも、インシュリン自己注射のようにキャッ

プをしてさらに専用容器に入っていれば、十分処理可能な自治体もあると聞いている。また血液が付着した注射筒、バック類・チューブ類は安全で全く問題ないので、「在宅医療廃棄物の取り扱いガイド」を活用して自治体担当者へ説明していただきたい。

## 3) 特別管理産業廃棄物管理責任者講習会について

### 日医感染性廃棄物等に関する検討委員会 岡田委員

今年度は、10か所で特別管理産業廃棄物管理責任者講習会を開催し、1,432名が受講した。昨今、不法投棄等の排出業者責任に医師側が問われ、被害に遭うケースもある。感染性廃棄物の適正処理としては、排出業者責任をはじめ、委託基準・契約書、帳簿、マニフェストなどの基礎の部分と法令などを講義している。医師に代わって事務職員の講習会受講も勧めている。

## 4) 感染性廃棄物等に関する適正処理の伝達事項

### 日医今村常任理事

電子マニフェストについては、医療機関の利用のほかに処理業者も電子マニフェストを利用しなければならない等の制約があり、普及を遅らせる一因となっている。電子マニフェストの利用は簡便に帳簿を記載が出来ること、あるいはマニフェスト交付等状況報告書の作成が不要であるなどの利点が多い。しかし、多くの紙マニフェスト利用者には、帳簿記載、マニフェスト交付等状況報告書の作成など煩雑な事務負担を強いられている。このため、環境省に対して手書きによる紙マニフェストの軽減を図るため、紙マニフェストを時系列的に綴ることで帳簿の記載に代えられるよう要望し、承諾されている。

## 〔手書きマニフェストの利用者〕

- (1) マニフェストを時系列的に整理しておくことで代えられる。これを保存する(帳簿の記載項目は、マニフェストの記載事項とほぼ同じである)。
- (2) 利用する紙マニフェストに記載のない不足項目については、契約書写し、または契約書に添付する処理業者の許可証の写しのどちらかで不足項目に該当する部分を添えるなどして、次の記載項目が速やかに確認できるようにしておく。契約書の写し、契約書に添付する許可証の写しが速やかに取り出せる形でも良い(記載項目：処理業者の名称、許可番号、処分方法)。
- (3) 帳簿は、法的に正確には、特別管理産業廃棄物(感染性廃棄物等)のみが規定されている。
- (4) 毎月末までに、前月分の記載を終了し、1 年ごとに閉鎖し、5 年間保存である。なお、罰則は罰金 30 万円である。
- (5) マニフェストについて、返送漏れ、記載漏れ、期日遅れなどないか、十分な確認が必要である。

## 〔電子マニフェストの利用者〕

- (1) 受渡確認票またはデータのダウンロードにより、帳簿の記載に代えられる。
- (2) 電子マニフェストに記載のない不足項目は、あらかじめ入力しておく(不足項目：許可番号、処分方法など)。あるいは、上記(2)によっても良い。
- (3) 上記(3)・(4)・(5)と同様。

## 2. 各地の事例報告

## 1) 岩手県医師会の事例

岩手県医師会岩動副会長

いわて医師協同組合が会員と契約し、優良業者を紹介している。会員から手数料を受け取り、処理実績をまとめて報告書を作成している。会員は報告書に印を押して岩

手県に提出すれば済むシステムを確立した。現在のところこのシステムの弊害は出ていない。平成 11 年に岩手県・青森県境で国内最大級の産廃不法投棄が発覚した。当事者の収集・処理業者は岩手県外の業者で医協とは契約していなかった。医療機関では、廉価なところを選んだとしても、マニフェストも保存して県にも報告しており、落ち度はなかったが、「不法投棄による産廃の処理責任も排出業者にある」とのことから、自主的に回収することになった。以後、当該医療機関は、いわて医協と契約している。「IC タグ」や「バーコードと携帯電話」により GPS を利用して、収集運搬から処理まで追跡する「廃棄物のトレーシングシステム」が考えられているが、岩手県では普及していない。電子マニフェストの対応可能な業者は数社に限られ、医療機関で電子マニフェストを使用しているところは殆どない。在宅医療廃棄物について 70 の県内市町村のうち、回収しているのは 6 にとどまり、殆どが医療機関で回収・処理されている。回収しない問題点として、収集運搬時の従業員等の事故が心配なこと、過去に住民の通報により CAPD バッグが出され市が個別に回収した例があり、在宅医療のものなのか感染性があるのかわからないなど意見があった。現在のところ、在宅医療廃棄物のうち注射針など鋭利なものは医療機関で回収して処理しているが、今後は少なくとも鋭利でないものについては、市町村で回収してほしいとの意見が郡市医師会から出されている。よって市町村との話し合いが早急に必要と考える。

## 2) 東京都医師会の事例

東京都医師会目澤理事

感染性廃棄物がたとえ 1 個でも不適正に処理された場合、社会や環境に与える影響

は重大である。そこで、東京都医師会・東京産業廃棄物協会・東京都環境整備公社は、医療機関が安心して簡便に且つ適正価格で廃棄物を排出できるシステムを構築し、医療廃棄物適正処理推進事業として積極的に展開している。個人開業医からの廃棄物の排出量は比較的少なく、都内に分散して立地されている。よって、収集コストを抑えるため、受付センターを設置して地区ごとに収集運搬業者を組織している。1個だけの排出であっても対応可能であり医療機関からも好評を得ている。また公社では、廃棄物の追跡システムと電子マニフェストを連動させたマニフェスト管理業務が不必要となる「FDM メディカル IC」システムを構築して、医療機関側の負担を軽減している。

### 3) 静岡県医師会の事例 1

#### 磐田医師会石坂理事

産業廃棄物の適正処理を目的に産廃監視機構の取組みについて、7 医師会 844 医療機関が機構に加入しており、会員に対し産業廃棄物の分別、保管、排出、マニフェスト回収確認等の教育と指導を行い、各医師会でネットワーク化することにより、広範囲にわたる情報の共有を可能としている。活動内容については、全会員の収集運搬契約状況、マニフェストのチェック、契約を交わした産廃業者の直接調査、その結果として収集運搬業者の安全度ランキングの公表を行い、定期的に運搬から最終処理の現況について監視を行う。問題が生じた場合、監視機構は会員に対して取引中止等の勧告を行っている。また会員へのアンケート調査、運搬受託者・中間処分業者へのアンケート調査を実施し、99%のアンケート回答率から会員の高い関心を集める事業であると

考えられる。なお、844 医療機関と契約した産廃業者、31 収集運搬業者別に取り引している医療機関、6 中間処理施設別の取引医療機関、さらに適正な価格帯を把握することができた。

### 4) 静岡県医師会の事例 2

#### 静岡県医師会鈴木副会長

平成 14 年度に静岡県西部地域の産廃業者が紙マニフェストの改ざんを行い、処分され、結果、排出医療機関の責任が問われたことを受けて、県医師会・行政・産廃協会で三者協議会を立ち上げることになった。法令遵守に基づいた適正処理の検討および研究、優良業者の選定方法の検討などを行った。平成 19 年度に実施された産業廃棄物処理センターの「電子マニフェスト普及推進キャンペーン」を利用することになったが、排出業者・収集運搬業者・処分業者の三者が電子マニフェストを導入することが必要であるため、排出業者のマニフェスト交付状況報告の免除や事務処理の効率化、データの透明性などの利点を三者に説明したうえで、検討の結果、「EDI 版電子マニフェスト」を採用した。本システムの採用により、医療機関は、収集運搬業者が持参した端末で数量確認とパスワードを入力するだけでよく、医療機関にインターネットの環境がなくても、医師会のパソコンで廃棄物の状況を確認することができ、費用も団体加入制度を利用することにより、割安にすることが出来た。今後も定期的に会合を行い、電子マニフェスト運用の検証を行う。結果、運用の改善・改良を実施していく。

出席者 - 稲倉常任理事 早稲田常任理事(日医感染性廃棄物等に関する検討委員会委員)  
杉田課長

## 都道府県医師会情報システム担当理事連絡協議会

と き 平成 20 年 3 月 6 日(木)

ところ 日本医師会館

常任理事 富 田 雄 二

本協議会は ITV 会議システムを用いて都道府県医師会を双方向に結んで開催され、宮崎県医師会を含む 8 医師会が地元で参加した。

### 議 題

1. IT 化推進検討委員会答申について
2. レセプト情報等の活用に関する検討会報告について
3. レセプトオンライン請求について
4. 日医標準レセプトソフトについて
5. 社会保障カード(仮称)に関する見解について
6. 日医認証局について

#### ・ IT 化推進検討委員会答申について

大橋委員長より答申の概要が報告された。

参照 <http://www.med.or.jp/japanese/members/inkai/it19.pdf>

#### ・ レセプト情報等の活用に関する検討会報告について

「医療サービスの質の向上等のためのレセプト情報等の活用に関する検討会」から報告書が出された(本検討会には日医担当常任理事も参加)。調査分析する対象は、全てのレセプトデータ及び特定健診データ。個人情報情報は削除した上で収集するが、医療機関・薬局コードは残す。また個人情報は除くものの、同一人物の時系列分析が可能となるよう工夫する。国が行う分析の目的は、医療の効率的な提供の推進並びに国民の健康保持であり、データを用いて各種施策の検証・評価を行う。国以外の

データ利用としては、都道府県が行う医療費適正化計画の評価、公益目的で分析・研究・学術研究の発展に資するような研究を考えている。

#### ・ レセプトオンライン請求について

セキュリティガイドラインが整理されつつあり、送信のためのコンピュータはレセコンの兼用が可能であり、回線も既存のインターネットを用いた方式(IPsec + IKE)を認める方向にある。

#### ・ 日医標準レセプトソフト(ORCA)について

利用者数は順調に伸びており、2 月時点での導入済みは 4464 施設でシェアは 5.4%。平成 18 年度にリブレースえたレセコンに占める割合は約 11% である。2 月から ORCA 使用施設の中から参加をつのり定点調査事業を本稼働させた。

#### ・ 社会保障カード(仮称)に関する見解について

以下の見解を日医から表明した。年金記録問題の解消や、即時被保険者資格確認の実現は意義のあるものと考えるが、医療実務者を加えた検討を速やかに行い、どのような「仕組み・制度」を構築しようとしているのかを明確に示すことを要求する。カードの導入にあたっては将来的に社会保障番号も検討されることを見据え、国民・患者視点から目的外利用の禁止、管理医療の可能性排除を明確にした法律等を含めた制度面の整備が前提であり、それができない限りは社会保障カード(仮称)の導入は時期尚早と考える。また、導入の環境

が整ったとしても管理医療施策(受療動向の監視,保険給付の縮小,抑制等)への誘導については,国民医療を守る立場から受け入れられない。

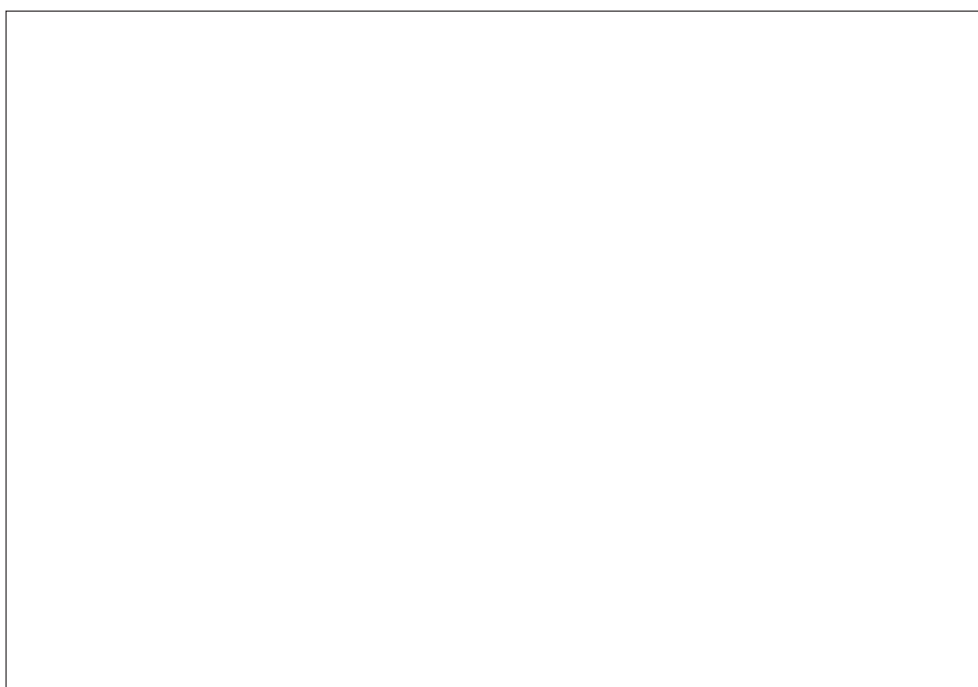
・日医認証局について

認証局とは,情報化された世界において厳密な審査の上で電子的に個人の存在と身分(資格)を保障する仕組みである。医療分野において身分(資格)を保障するとは,すなわち医師の資格を保障することを意味する。今後の IT 社会の基本となる仕組みであり,民間営利企業に任せることなく,日医が認証局を運営推進しなければならない。

・質疑応答

質疑の中心は,レセプトオンライン請求義務化に対する問題であり,各県医師会からは,オンラインに対応できない小規模診療所が廃業に追い込まれることとのないよう日医が交渉することが強く求められ,日医としてもそのように対応することが確認された。一方で,医師会は IT 化宣言を行い医療の情報化を進める立場から,レセ電算やオンラインに対応可能な医療機関については,今後積極的に進めていただきたいとの要望がなされた。

出席者 - 富田常任理事,鳥井元主事



## 日医 FAX ニュースから

## 新型インフル発生時は在宅医療が望ましい

与党の鳥由来新型インフルエンザ対策に関するプロジェクトチーム(PT)は 2 月 29 日、世界保健機関(WHO)西太平洋地域事務局長の尾身茂氏を招き、WHO の知見に基づく新型インフルエンザ対策について意見聴取した。尾身氏は「新型インフルエンザウイルスへの感染が確認された地域の患者が病院に殺到すれば、診療機能がパンクするだけでなく、感染をさらに拡大させることになる」と強調。感染が確認された場合は在宅医療を行うのが望ましいとし、医療従事者が対応すべき内容などについて事前に医師会などと役割分担を決めておくことが必要だと指摘した。

尾身氏は、感染の拡大を封じ込める初期対応が失敗すると瞬く間に感染が拡大し、社会的にも経済的にも混乱をきたすと説明。対策を講じる上では、感染拡大を遅らせ社会機能の維持を図ることなどが重要だと述べた。その上で尾身氏は、学校閉鎖が感染拡大を遅らせ、自宅隔離が感染者数の増加を防ぐことが近年、明らかになってきたと紹介し、感染が確認された地域では、家族単位の自宅隔離やタミフルの配布といった対策が必要だとした。

また尾身氏は「タミフルやワクチンは、対策の必要条件だが十分条件ではない」と述べ、パンデミック(世界的な流行)対策マニュアルの構築や社会機能を維持する人の確保などが必要との認識を示した。

(平成 20 年 3 月 4 日)

## 療養再編について

厚生労働省老健局の小関正彦計画課長は 2 月 2 日の全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長

会議で、第 4 期介護保険事業計画(2009 年度～11 年度)の策定について説明した。療養病床再編に当たって転換見込み数を適切に反映させるため、今年 5 月ごろには各都道府県で再度、療養病床を持つ医療機関に対し転換意向調査を実施するよう求めた。

また、療養病床転換を推進するために、第 4 期計画では医療療養病床から介護保険施設への転換に定員枠を設けない方針を重ねて説明。「地域ケア体制整備構想をもとに最新のデータを利用し、再編の影響を的確に盛り込んでほしい」と担当者に呼び掛けた。

第 4 期計画では、医療療養病床から老健施設などへの転換については年度ごと「施設(サービス)種別ごとの必要定員総数を設定せず、すべて受け入れる。このため、医療療養病床からの転換申請があった場合には指定を拒否することはできない。

介護療養型医療施設から老健施設などへの転換については、必要定員総数を転換分、非転換分に分けて定める必要がある。ただ、転換分は同じ介護保険財源での種別変更であるため、定員超過になっても指定拒否はしない方針だ。

厚労省が同日示した策定スケジュールによると、各自治体は 5 月をめどに実施する転換意向調査の結果をもとにサービス見込み量の設定作業に入る。10 月にはサービス見込み量・保険料を仮設定し、来年 2 月には計画を取りまとめる。

(平成 20 年 3 月 4 日)

## 療養病床の目標数は「病院の意向を反映」

厚生労働省老健局の阿曾沼慎司局長は 3 月 3 日の社会保障審議会・介護給付費分科会で、国全体の療養病床の削減目標について、「今回、点数が出たので、各病院で判断してもらって、各県はもう一度調査して地域ケア整備構想に反映

させる」と述べ、あくまで介護療養型老健の介護報酬を参考にした上での病院の判断を優先する考えを示した。

分科会の席上、木下毅委員(日本療養病床協会会長)は「各県の地域ケア整備構想が出そう3月末に療養病床の数が決まってしまうのは、今回示された報酬を受けた病院の意向が反映されない」と指摘した。

これに対し阿曽沼局長は「心配されなくてもよい。まず病院の意向が固まって、県の数字が決まった上で、オールジャパンの数字となる。3月に直ちに決まるわけではない。何度もフィードバックして進めていく」と強調した。

(平成 20年 3 月 7 日)

## 健診データの電子化支援

2008年度から始まる特定健診・保健指導で健診データの電子化が義務化されることに伴い、日医は電子化に対応できない会員健診機関を支援する。紙媒体に記録された健診データを CD-R などの電子的媒体に変換する代行入力について NTT データから全国の郡市区医師会にサービスを提供するとの了解を得たという。単価は 1 件につき 500円程度になる予定だ。

健診・保健指導のデータは、保険者間や事業者から保険者など、複数の経路で複雑に情報がやりとりされるため、厚生労働省は健診機関などに対し大臣告示で健診データを電子化して保険者に送ることを義務付けている。

特定健診が始まると健診機関は毎月、保険者に健診結果のデータと健診の請求データを送る必要がある。パソコンを活用している健診機関ではフリーソフトや有料ソフトを使い健診データを自ら電子化して送ることができる。しかしパソコンに不慣れな健診機関では外部の代行入

力機関に紙媒体を電子媒体に変換してもらう必要が出てくる。

日医では電子化が困難な会員に対し NTT データが提供する代行入力のサービスを薦めている。郡市区医師会単位で紙媒体の健診データをまとめ、一括して NTT データに電子化を依頼し保険者に送る。日医では各健診機関が NTT データに送る健診入力票などの標準仕様を作成し、先月 25日に都道府県医師会に通知した。

日医の内田健夫常任理事はメディアファックスの取材に対し、「会員や郡市区医師会に日医総研の開発したソフトやフリーソフトの使い勝手がいいかを検討してもらった上で、自前で電子化が難しい場合には NTT データを活用してもらう」と述べた。代行入力の費用負担については、保険者に負担してもらうか国が補助してくれるかを交渉する考えを示した。

(平成 20年 3 月 7 日)

## 医師の職業倫理指針改訂版を公表

日医は 3 月 26日、会内の「会員の倫理・資質向上委員会」が答申としてまとめた「医師の職業倫理指針」の改訂版を公表した。近く製本し、会員らに配布する。

倫理指針は 2004年に策定された。改訂版では、個人情報保護法が 05年に全面施行となったことを受けて、患者の個人情報や診療情報の保護と開示に関する項目を盛り込んだ。患者の個人情報を安全で確実に保管するよう対策を求めている。研究発表や診療内容の情報公開に際しても、患者の承諾を得ることや患者個人が識別されない配慮が必要としている。このほか、終末期医療に関する部分を章として独立させた。生殖医療の着床前診断に関する主要国の制度の比較表も掲載した。

(平成 20年 3 月 28日)

## 医 事 紛 争 情 報

— メディファクスより転載 —

### ■ 抗癌剤の血中濃度測定を怠った 過失を認め 1600万円支払で和解

兵庫県姫路市の姫路赤十字病院で、悪性リンパ腫だった篠原大騎君(当時 9)が死亡したのは医師が感染症対策や説明義務を怠ったのが原因として、遺族が日赤と主治医に計約 1 億円の損害賠償を求めた訴訟は 12 月 26 日、1 審判決の賠償命令額を上回る和解金 1600 万円を支払うことなどで大阪高裁(井垣敏生裁判長)で和解した。

和解の条件には、病院側が感染症対策に必要な抗癌剤の血中濃度測定を怠った過失を認め、陳謝することや、インフォームド Consent(説明と同意)を徹底することなどが盛り込まれた。

父親の聖二さん(49)は成立後の記者会見で「どんなことをしても息子は帰ってこないが、親としてやるべきことはやった。謝罪がもらえ、有意義な裁判だったと思う」と話した。

1 審判決によると、大騎君は 1999 年 10 月、同病院で悪性リンパ腫と診断され、抗癌剤を大量投与する化学療法を受けたが、合併症の間質性肺炎で翌年 10 月に死亡した。

1 審神戸地裁は今年 1 月、濃度不測定の過失は認めたが、死亡との因果関係は認めず、説明義務違反により 1000 万円の支払いを命じた。

### ■ 抗癌剤 3 倍投与され死亡

岐阜県立多治見病院で 1 月 6 日、通常の約 3 倍の抗癌剤を投与された同県恵那市の末期がんの男性患者(54)が死亡していたことが 1 月 9 日、分かった。

県警多治見署が業務上過失致死の疑いで、患者の遺体を司法解剖して死因を調べている。病

院は医療ミスを認め、遺族らに謝罪した。

県立多治見病院によると、男性患者は別の病院で食道がんの手術を受けた後、手足の脱力感などを訴えて昨年 11 月に多治見病院の診断を受け、脳への転移が認められたため入院した。昨年 12 月 1 日から今年 1 月 2 日にかけて、担当の消化器内科の男性医師(34)が、本来は 5 日間連続投与の後に 3 週間の間隔を空けなければならなかった 2 種類の抗癌剤を、誤って 3 週間連続で投与。患者は白血球数が急激に減少し、1 月 6 日に死亡した。敗血症によるショック死の可能性があるという。

舟橋啓臣院長は「過剰投与と死亡の因果関係はまだはっきりしないが、ミスがあったのは確か。無関係ではない」と話している。

### ■ 警報音解除で異常気付かず

徳島県病院局は 1 月 9 日、県立三好病院(三好市)で、患者のモニターの警報音が解除されていたため、心停止するまで血液中の酸素濃度の低下に気付かない医療ミスがあったと発表した。患者は意識不明の状態だという。

病院の説明によると、患者は県内の 70 代男性。昨年 10 月に脳腫瘍の手術を受けた後、肺炎などの感染症で状態が悪化した。12 月末に気管内チューブにたんがつまって血液中の酸素濃度が減少したが、数値の異常を知らせるモニターの警報音が解除されていたため鳴らなかった。16 分後に心停止の警報音で看護師や医師が駆け付けて対処したが、意識は戻らないという。

脳腫瘍手術でも、開頭の場所が 2 センチずれただけで腫瘍を発見出来ず、摘出できないミスがあった。

モニターは、直前に使っていた患者の死亡時に警報音が解除されたが、データ保存のため設定を戻しておらず、今回の患者に使う際に確認もしなかったという。

## ■ 誤診で医師を書類送検

埼玉県警捜査 1 課などは 1 月 17日、埼玉県白岡町の会社員男性(当時 54)の病気を誤って診断し死亡させたとして、業務上過失致死の疑いで、同県白岡町の医師(42)を書類送検した。

調べでは、白岡町の白岡中央総合病院に勤務する医師は、2005年 11月 3 日午後 4 時ごろ、腹痛で救急外来に来た男性は腸に穴があく直腸穿孔だったのに、急性小腸炎と誤って診断し、翌 4 日午後 1 時 40分ごろ、直腸破裂による腹膜炎で死亡させた疑い。

医師は CT スキャンや超音波検査なども行ったが、直腸穿孔を見つけられず、3 日夜に男性の容体が急変した後も必要な治療をしなかった。死亡の 2 日後に男性の妻が「誤診ではないか」と相談し、県警が捜査していた。

## ■ 交通事故と水準異ならず、 医療過誤の賠償命令確定

長野県軽井沢町の国民健康保険軽井沢病院で 2003年、出産後死亡した女性の遺族が同病院を運営する町や担当医に損害賠償を求めた訴訟の上告審で、最高裁第 1 小法廷(涌井紀夫裁判長)は 1 月 24日、遺族側の上告を棄却する決定をした。町などに計約 7000万円の賠償を命じた 2 審東京高裁判決が確定した。

1 審東京地裁判決は 2 審判決とほぼ同じ賠償額を認定し「医療過誤は交通事故より高額になる場合がある」との判断を示したが、2 審判決は「算

定水準が一概に異なるとは言えない」と変更、最高裁も支持した。

2 審判決によると、女性は 03年 10月、同病院で帝王切開手術を受けて長男を出産後、腹腔内の出血が原因で容体が急変し、転院先で死亡した。担当医が出血の可能性を検討する注意義務を怠ったと認定された。

## ■ 新生児の蘇生措置めぐり 8000万円 支払いで和解

仮死状態で生まれた長女が重度の脳障害になったのは病院が適切な措置をとらなかったためとして、岐阜県各務原市の 40代夫婦が同県内の産婦人科病院と担当した医師を相手に損害賠償 1 億 2000万円を求めた訴訟は 1 月 25日、岐阜地裁(西尾進裁判長)で、病院側が 8000万円を支払うことで和解した。

原告代理人によると、裁判所は、仮死状態で生まれた長女を蘇生させるための挿管を、病院が片方の肺にしかしなかったことなどが低酸素状態を招き、脳障害の原因になったと判断し、和解を勧めた。両者が受け入れたという。

母親は「裁判の長期化を避けるため和解に応じた。二度と起きてほしくない」と話した。

訴状などによると、母親は 1998年 12月に長女を出産。出産直前に胎児の心音が弱くなるなどの兆候があったにもかかわらず、病院は監視装置を外し、出産後も十分な措置を行わなかった、として 2005年 9 月に提訴した。長女はその後、植物状態になり 06年 12月に死亡した。

## 薬事情報センターだより ( 251 )

## 新薬紹介( その 14 )

今回は昨年の 12 月に薬価収載されましたイミグランキット皮下注 3 mg ( 一般名 : スマトリプタンコハク酸塩 ) とコンサータ錠 18 mg ・ 27 mg ( 一般名 : 塩酸メチルフェニデート ) について紹介したいと思います。

イミグランキット皮下注 3 mg ( 一般名 : スマトリプタンコハク酸塩 )

5-HT_{1B/1D} 受容体作動型片頭痛治療剤「イミグラン」の新剤形「イミグランキット皮下注 3 mg ( 一般名 : スマトリプタンコハク酸塩 )」が 2008 年 2 月 25 日に販売開始となりました。

本剤は、片頭痛および群発頭痛の効能効果を持つ、トリプタン製剤で日本初の、在宅で自己注射が可能な「皮下注キット製剤」です。シリンジ内に一回分の薬液が充填され用量調節が不要であり、キャリーケース付きのため持ち運びができ、頭痛発現後の速やかな治療が可能になります。悪心・嘔吐により経口が困難な発作や速効性を求める患者さんに適した剤形です。

本剤の発売により、「イミグラン」は 4 剤形 ( 錠剤、点鼻液、注射液、皮下注キット製剤 ) が揃い、患者様の症状やニーズに合わせた幅広い頭痛治療の選択肢が提供されるものと考えられます。現在、注射液 ( 自己注射 ) は 90 か国以上、錠剤は 100 か国以上、点鼻液は 50 か国以上で臨床使用されています。

コンサータ錠 18 mg ・ 27 mg ( 一般名 : 塩酸メチルフェニデート )

コンサータ錠は、中枢神経刺激剤である塩酸メチルフェニデートを有効成分とする徐放性製剤です。小児期における注意欠陥 / 多動性障害 ( AD / HD ) に対する本邦初の承認薬として 2007 年 12 月に発売になりました。

急性耐性の克服のために血中濃度推移が ascending カーブを描くように設計されており、効果持続時間は 12 時間と長く、1 日 1 回投与で十分な

効果が得られます。AD / HD に対する有効性は海外のプラセボ対照無作為化比較試験でリタリンとほぼ同等であると認められ、国内外臨床試験で長期投与の有効性と安全性も確認されています。コンサータ錠はアドヒアランスの向上が期待でき、安定した効果がタ刻まで持続することから、患児の学校からの帰宅後の生活を安定化でき、保護者の治療満足度が高いことが知られています。主な副作用は、食欲不振、不眠、体重減少、頭痛などです。

本剤の添付文書には、下記のとおり【警告】【承認条件】が付記されています。

【警告】本剤の投与は、注意欠陥 / 多動性障害 ( AD / HD ) の診断、治療に精通し、薬物依存を含む本剤のリスク等についても十分に管理できる医師・医療機関・管理薬剤師のいる薬局のもとでのみ行うとともに、それら薬局においては、調剤前に当該医師・医療機関を確認した上で調剤を行うこと。

【承認条件】本剤の投与が、注意欠陥 / 多動性障害 ( AD / HD ) の診断、治療に精通し、薬物依存を含む本剤のリスク等についても十分に管理できる医師・医療機関・管理薬剤師のいる薬局のもとでのみ行われるとともに、それら薬局においては調剤前に当該医師・医療機関を確認した上で調剤がなされるよう、製造販売にあたって必要な措置を講じること。

これらより、本剤の取り扱い是有識者からなる第三者委員会 ( コンサータ錠適正流通管理委員会 ) によりリスト化された医師・薬剤師・医療機関・薬局に限定されています。

( 宮崎県薬剤師会薬事情報センター

永井 克史 )

資料提供・協力

グラクソ・スミスクライン株式会社 ( イミグランキット皮下注 3 mg )

## 医師国保組合だより

## 平成 20年度 4 月から 医師国民健康保険料が変わります

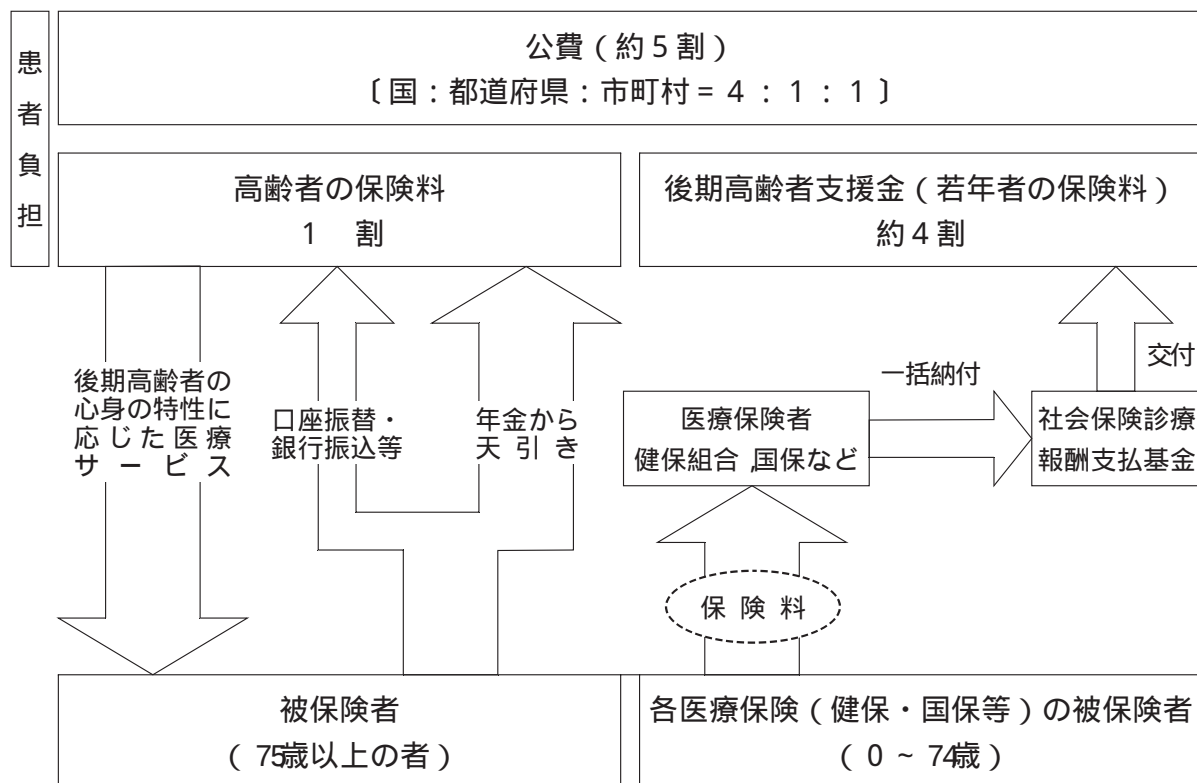
平成 20年度から後期高齢者( 75歳以上の方 )のための  
後期高齢者医療制度が始まります。

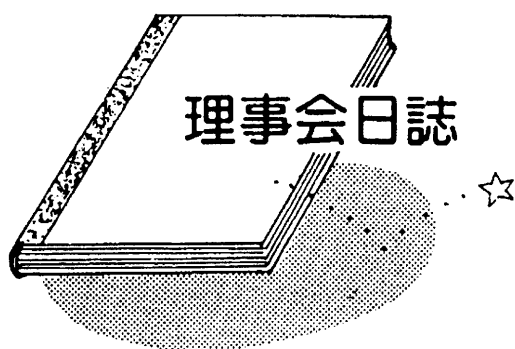
この制度にかかる費用のうち、後期高齢者自身の窓口負担を除いた分を、公費  
( 国, 県, 市 ) から約 5 割, 後期高齢被保険者の皆さんから保険料として納めてい  
ただく分として 1 割( ただし現役並み所得者 3 割 ) 残りの約 4 割を現役世代( 0 ~  
74歳 ) からの支援( 後期高齢者支援金 )として各保険者が負担することになります。

つきましては、この 4 割の負担分を「後期高齢者支援金」として、従来の保険料  
とは別に被保険者 1 人あたり 1,000円を徴収することとなりました。

この制度の趣旨をご理解頂き、ご協力賜りますようお願い申し  
上げます。

### — 後期高齢者医療制度の運営のしくみ —





平成 20 年 2 月 19 日(火) 第 28 回常任理事会

#### 医師会関係

##### (議決事項)

##### 1. 後援・共催名義等使用許可について

3 / 19(火) 県総合保健センター 平成 19 年度  
感染症危機管理(結核)研修会の開催に伴う  
後援依頼について

後援することが了承された。

##### 2. 介護給付費審査委員会サービス担当者代表 委員の推薦について

新理事を推薦したいとの提案があり、了  
承された。

##### 3. 県特定不妊治療費助成金給付事業協議会委 員の推薦について

西村常任理事と戸枝通保先生を推薦する  
ことが了承された。

##### 4. 2 / 25(月)県医師会創立 119 年記念医学大会に ついて

当日の持ち方について検討を行った。

##### 5. 3 / 28(金) ~ 3 / 30(土)移動(奈良他)全理事会に 係る会長代行について

この間の危機管理対策等について、会長  
代行に河野常任理事、副会長代行に浜田・  
野崎両常任理事が対応することになった。

##### 6. 4 / 1(火) ~ 2(水)第 118 回日医定例代議員会に おける九州ブロック代表質問・個人質問に

##### ついでにの照会

消費税の問題について提出することが了  
承された。

##### 7. 2 / 26(火)次期各都市医師会長協議会の持ち 方について

議事録署名人の選出等について、協議を  
行った。

##### 8. 3 / 6(木)日医)「新たな死因究明制度等」に 関する都道府県医師会担当理事連絡協議会 の開催について

開催案内であり、出席者について検討を  
行った。

##### 9. その他

##### 会館建設顕彰銘について

原案の提示があり、各常任理事へ検討の  
お願いがあった。

##### (報告事項)

##### 1. 週間報告について

##### 2. 2 / 14(木)県庁)県成人病健診管理指導協議 会乳がん部会について

##### 3. 2 / 15(金)県医)広報委員会について

##### 4. 2 / 16(土) ~ 17(日)日医)日医医療情報システ ム協議会について

##### 5. 2 / 13(火)日医)感染性廃棄物等に関する検 討委員会及び都道府県医師会廃棄物担当理 事連絡協議会について

##### 6. 2 / 19(火)刑事施設視察委員会について

##### 7. 2 / 19(火)ひまわり荘)地方公務員災害補償 基金県支部審査会について

##### 8. 2 / 16(土)サミット)病院部会・医療法人部 会合同医療従事者研修会について

##### 9. 2 / 16(土)県医)セミナー「生活習慣病の克服 をめざして」について

##### 10. 2 / 18(月)県庁)たばこ対策検討会について

##### 11. 2 / 14(木)県医)介護サービス情報の公表指 定調査機関運営推進適正化委員会について

##### 12. 2 / 15(金)県医)アンチエイジング対策研修

会について

13. 2 /18(火) 県医 )女性医師フォーラムについて

14. 2 /19(火) 県福祉総合センター )県介護実習・普及センター運営委員会について

15. 2 /10(日) 県医 )日医医療秘書認定試験について

医師国保組合関係

( 議決事項 )

1 . 3 /5 (水) 県医 2 F )医師国保組合通常組合会提出議案について

議案について詳細な説明があり，原案通り提出することが了承された。

( 報告事項 )

1 . 2 /16(土) 福岡 )九医国保連全体会議について  
医師協同組合・エムエムエスシー関係

( 報告事項 )

1 . 2 /19(火) 県医 )医協運営委員会について

医師連盟関係

( 議決事項 )

1 . 2 /20(水) 県医師会と民主党議員団との「医療問題に関する意見交換会」について

民主党からの申し出により開催することになった旨の説明があり，当日の持ち方について検討を行った。

平成 20年 3 月 4 日(火) 第 29回常任理事会

医師会関係

( 議決事項 )

1 . 県腎臓バンク役員の就任について

次期会長の稲倉常任理事を推薦することが了承された。

2 . 特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づく特別児童扶養手当及び特別障害者手当等の障害程度判定のための嘱託医の推薦について

現委員に再就任の方向でお願いし，推薦することが了承された。

3 . 平成 20年度講師ならびに健診医派遣のお願いについて

委嘱することについて，了承された。

4 . 評議員の推薦について

次期常任理事の石川智信先生を推薦することが了承された。

5 . 教職員疾病審査委員の推薦について

現委員を再推薦する方向でお願いし，確認を行いし，推薦することが了承された。

6 . 宮崎市特定不妊治療助成事業評価委員会の委員の推薦について

県産婦人科医会に推薦のお願いをすることが了承された。

7 . 後援・共催名義等使用許可について

3 /30(日) (JA 会館) 「若年期認知症：本人と家族の集い」名義後援のお願いについて  
後援することが了承された。

6 /29(日) (JA 会館) 「高血圧市民公開講座」ご後援のお願いについて

後援することが了承された。

8 . 日本医師会役員及び裁定委員の選挙について

4 月 1 日に行われる選挙の公示であるとの説明があった。

9 . 会費減免申請について

1 件の高齢会員会費減免申請について，承認された。

10. 平成 19年度在宅緩和ケア対策推進事業に係る緩和ケア従事者研修の委託契約について  
原案どおり締結することが了承された。

11. 3 /7 (金) 日医 )平成 19年度臨床検査精度管理調査報告会の開催について

開催案内であり，宮崎市郡医師会臨床検査センター技師長の出席について，了承された。

12. その他

治験促進センター機構臨時職員の雇用に

ついて

1 名の採用について，了承された。

米寿会員 1 名の表彰直前死亡について

2 / 25 月 県医師会創立 119 年記念医学会  
の米寿会員表彰予定者 1 名につき協議し，  
表彰することになった。

3 / 18 月 執行部引き継ぎに関して

次期執行部への引き継ぎ書を作成して  
ほしいとの要請があった。

( 報告事項 )

1 . 週間報告について

2 . 2 月末日現在の会員数について

3 . 3 ・ 4 月の行事予定について

4 . 2 / 2 月 支払基金 支払基金幹事会について

5 . 2 / 2 月 県医 がんを語ろう県民フォーラ  
ムについて

6 . 2 / 2 月 県医 県医師会創立 119 周年記念医  
学会について

7 . 2 / 2 月 都城 社保医療担当者( 医科 )個別  
指導について

8 . 2 / 2 月 県庁 県医療費適正化計画策定検  
討委員会について

9 . 2 / 2 月 都城 社保医療担当者( 医科 )個別  
指導について

10 . 2 / 2 月 県医 次期各都市医師会長協議会  
について

11 . 2 / 2 月 県医 第 145 回臨時時代議員会につ  
いて

12 . 2 / 2 月 県立宮崎病院 結核感染症発生動  
向調査委員会について

13 . 2 / 2 月 県医 広報委員会について

14 . 2 / 2 月 ・ 3 / 4 月 県医 治験審査委員会に  
ついて

15 . 2 / 2 月 県医 県医療計画( 案 )説明会につ  
いて

16 . 2 / 2 月 県医 労災診療指導委員会について

17 . 2 / 2 月 県医 損害保険医療協議会について

18 . 3 / 1 月 総合保健センター 地域リハビリ  
テーション研修会について

19 . 3 / 2 月 県医 スポーツドクター連盟総会・  
健康スポーツ医学委員会について

20 . 3 / 2 月 県医 特定健診・特定保健指導実  
践者育成研修会について

21 . 3 / 1 月 県医 勤務医部会理事会・講演会  
について

22 . 3 / 1 月 県医 園医部会総会・講演会( 落成  
記念県民公開講座 )について

23 . 2 / 2 月 県医 県医互助会監査について

24 . 2 / 2 月 県医 県認知症高齢者グループ  
ホーム連絡協議会理事会について

25 . 2 / 2 月 県医 会員福祉委員会について

26 . 2 / 1 月 都城 ・ 2 / 2 月 県医 ・ 2 / 2 月  
( 延岡 ) 介護保険に関する主治医研修会につ  
いて

医師連盟関係

( 議決事項 )

1 . 4 / 6 月 都城 日本創造研究会主催「 第 1 回  
特別セミナー 」について

パーティ券の購入依頼であり，次期執行  
部で検討することになった。

( 報告事項 )

1 . 2 / 2 月 民主党議員団との意見交換会につ  
いて

平成 20 年 3 月 11 日( 火 ) 第 14 回全理事会

医師会関係

( 議決事項 )

1 . 本会外の役員等の推薦について

宮崎県肝炎治療認定審査会委員の推薦に  
ついて

次期執行部で検討することになった。

宮崎県小児慢性特定疾患対策協議会委員  
の推薦について

次期執行部で検討することになった。

## 専門相談員の派遣について

次期執行部で検討することになった。

## 2. 後援・共催名義等使用許可について

7 /19(土) 宮崎市民プラザ 宮崎大学医学部脳神経外科市民公開講座のご後援のお願い

後援することが了承された。

## 3. 3 /15(土) 高千穂 移動常任理事会及び西臼杵郡医師会との意見交換会について

当日の持ち方について検討を行った。なお、常任理事会は開催せず、意見交換会を長めに設定することが了承された。

## 4. 僻地医療・地域医療に尽力されている医療施設へ学生( 公衆衛生学実習 )を派遣することのお願いについて

協力することが了承された。

## ( 報告事項 )

## 1. 週間報告について

## 2. 3 /5 (水) 県庁 県知事への面談( 産科・小児科関係要望 )について

## 3. 3 /5 (水) 日医 都道府県医師会社保担当理事連絡協議会につて

## 4. 3 /10(月)各郡市区医師会社保担当理事連絡協議会について

## 5. 3 /8 (土) 長崎 九医連常任委員・九州各県医師会次期会長合同会議について

## 6. 3 /8 (土) 長崎 九医連常任委員・九州各県医師会次期日医代議員協議会及び九州ブロック日医代議員( 含・次期 )連絡会議について

## 7. 3 /9 (日) 日医 医療政策シンポジウムについて

## 8. 3 /6 (木) 日医 「新たな死因究明制度等」に関する都道府県医師会担当理事連絡協議会

## について

## 9. 3 /6 (木) 県医 ｻｾﾞ会議参加 都道府県医師会情報システム担当理事連絡協議会について

## 10. 3 /7 (金) 県庁 県准看護師試験委員会について

## 11. 3 /7 (金) 宮崎観光ホテル 産業保健連絡協議会・産業医研修連絡協議会について

## 12. 3 /8 (土) 市民プラザ 病院部会・医療法人部会合同診療報酬改定研修会について

## 13. 3 /6 (木) 県医 学術生涯教育委員会について

## 14. 3 /5 (木) 日医 感染症危機管理対策協議会について

## 15. 3 /10(月) 県福祉総合センター 県介護支援専門員連絡協議会理事会について

## 16. 2 /22(金) 県医 救急医療委員会について

## 17. 3 /9 (日) 県医 県医師会ACLS研修会について

## 18. 3 /6 (木) 県医 落成記念県民公開講座「人間らしく生きて死にたい」

## 19. 3 /6 (木) 県医 在宅緩和ケアに関する医療従事者研修会について

## 20. 各郡市区医師会事業現況について

## 医師国保組合関係

## ( 議決事項 )

## 1. 傷病手当金支給申請について

1 件の申請について、承認された。

## ( 報告事項 )

## 1. 2 /28(木)全医連国保問題検討委員会について

## 2. 3 /5 (水)医師国保組合通常組合会について

## 3. 県医師国保組合同国保問題検討委員会答申について

## 県 医 の 動 き

( 3 月 )

- 1 地域リハビリテーション研修会(会長他)  
県医師会園医部会総会(大坪副会長他)  
勤務医部会理事会(会長他)  
落成記念県民公開講座「子供が危ない! ~ メ  
ディア漬けが子供を蝕む ~」(大坪副会長他)  
勤務医部会講演会(会長他)  
各都市内科医会会長(志多副会長)
- 1 ~ 2 ひむかセミナー(西村常任理事他)
- 2 県医師会スポーツドクター連盟総会  
(河野常任理事)  
特定健診・特定保健指導実践者育成研修  
(技術編)(河野常任理事他)  
宮崎日日新聞社役員との懇談会(会長他)  
県内科医会評議員会(志多副会長他)  
県産婦人科医会社保委員会(西村常任理事)
- 3 ~ 4 「介護サービス情報の公表」制度調査員指  
導者養成研修(東京)(事務局)
- 4 治験審査委員会(大坪副会長他)  
第 29 回常任理事会(会長他)
- 5 感染症危機管理対策協議会(日医)  
(吉田常任理事)  
都道府県医師会社保担当理事連絡協議会  
(日医)(志多副会長他)  
県知事への面談(産科・小児科関係要望)  
(会長他)  
医師国保組合通常組合会(会長他)
- 6 「新たな死因究明制度等」に関する都道府県医  
師会担当理事連絡協議会(日医)  
(西村常任理事他)  
都道府県医師会情報システム担当理事連絡協  
議会(富田常任理事)  
落成記念県民公開講座「人間らしく生きて死  
にたい」(会長他)  
在宅緩和ケアに関する医療従事者研修会  
学術生涯教育委員会(大坪副会長他)
- 7 産業医研修会(延岡市社会教育センター)  
県准看護師試験委員会(濱砂常任理事他)  
産業保健連絡協議会・産業医研修連絡協議会  
(会長他)
- 8 日本良性乳腺疾患研究会(東京)  
(西村常任理事)  
県介護支援専門員協会設立準備委員会  
(野崎常任理事)  
九医連常任委員会・次期会長合同会議(長崎)  
(会長他)  
県内科医会総会・会員発表会・特別講演会  
(志多副会長他)  
九州ブロック日医代議員(含む次期)連絡会議  
(長崎)(会長他)  
病院部会・医療法人部会合同診療報酬改定研  
修会(濱砂常任理事)
- 9 県医師会 ACLS 研修会(済陽理事)  
産婦人科乳がん学会(東京)(西村常任理事)  
医療政策シンポジウム(日医)  
(稲倉常任理事)
- 10 各都市医師会社保担当理事連絡協議会  
(志多副会長他)  
県介護支援専門員協会連絡協議会理事会  
(野崎常任理事)  
宮崎市産婦人科医会総会(西村常任理事)
- 11 「特定不妊治療費助成事業」及び「不妊サポ  
ート事業」関連研修会(事務局)  
第 14 回全理事会(会長他)  
次期執行部全理事会
- 12 全国国保組合協会九州支部総会(福岡)  
(会長他)  
特定健診・特定保健指導に関する都市医師会  
事務担当者との打合せ会(事務局)

- 都道府県医師会医療関係者担当理事連絡協議  
会(日医)(長倉常任理事)  
宮崎産業保健推進センター運営協議会(会長)  
各専門分科医会会長  
特定健診・特定保健指導の集合契約に関する  
社会保険事務所との打合せ会  
(稲倉常任理事他)
- 13 ~ 14 「介護サービス情報の公表」制度調査員指  
導者養成研修(東京)(事務局)
  - 14 乳がん検診専門委員会(西村常任理事)
  - 15 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会研  
修会  
九医協連購買保険部会(熊本)  
(西村常任理事)  
西臼杵医師会役員との意見交換会  
(ホテル高千穂)(会長他)  
西臼杵医師会役員との懇親会(ホテル高千穂)  
(会長他)
  - 16 落成記念シンポジウム「高木兼寛を語ろう」  
(会長他)
  - 17 県福祉サービス運営適正化委員会及び運営監  
視部会(野崎常任理事)  
九州地区健康教育研究大会宮崎県実行委員会・  
総会(会長他)  
宮崎の医療を考える会・広報委員会  
(大坪副会長他)  
南那珂医師会理事会(南那珂)(会長)  
県特定不妊治療費助成金給付事業協議会  
(西村常任理事)
  - 18 産業医研修会  
大規模津波防災総合訓練実行委員会  
医協運営委員会(会長他)  
執行部引き継ぎ・懇親会(会長他)
  - 19 全体課長会(事務局)  
刑事施設視察委員会(早稲田常任理事)  
県腎臓バンク理事会(会長)  
県アイバンク協会理事会(会長他)  
県立宮崎病院研修管理委員会(河野常任理事)
  - 20 【春分の日】  
医師国保組合歩こう会(霧島)(会長他)
  - 21 胃がん検診車貸与式(会長)  
地域治験ネットワークの整備に関する研究成  
果発表会(東京)(富田常任理事)  
県成人病検診管理指導協議会子宮がん部会  
(西村常任理事)
  - 22 県民健康セミナー(会長他)  
シッコ(SICKO)上映会 in 都城  
(都城市総合文化ホール)
  - 24 広報委員会(富田常任理事)  
県産婦人科医会全理事会(会長他)  
医療機関事務職員を対象とした特定健診等研  
修会  
県小児救急医療電話相談事業運営協議会  
(会長他)
  - 25 県地域医療対策協議会(会長)  
県介護予防市町村支援委員会(野崎常任理事)  
県医療審議会(会長他)  
日常生活自立支援事業契約締結審査会  
(早稲田常任理事)  
第 15 回全理事会(会長他)  
役職員懇談会(会長他)
  - 26 労災診療指導委員会(河野常任理事他)  
西諸医師会理事会(西諸医師会館)(会長)
  - 27 県公衆衛生センター理事会(会長)  
県医療費適正化計画策定検討委員会  
(稲倉常任理事)  
県健康づくり協会の理事会(会長)  
県整形外科医会新旧評議員会(河野常任理事)
  - 28 県精神科救急医療システム連絡調整委員会  
(早稲田常任理事)
  - 28 ~ 30 移動全理事会(会長他)
  - 29 臨床検査精度管理調査に基づく勉強会
  - 31 宮崎大学経営協議会(会長)  
全国医師会医療秘書学院連絡協議会常任委員  
会・運営委員会(東京)(大坪副会長)

## 追 悼 の こ と ば

宮 崎 市 郡 医 師 会

え び は ら か ず ま さ  
海老原 和 正 先生

( 昭和 30年 5 月 5 日 生 52歳 )

弔 辞

本日、ここに、故 海老原  
和正先生の告別式が執り行  
われるにあたり、宮崎市郡  
医師会を代表して、謹んで  
お別れの言葉を申し上げます。

2月15日午前1時4分、  
先生がお亡くなりになったとの、突然の訃報に  
接し、にわかには信じられず、会員一同、深い  
悲しみに包まれております。

今ここに、先生の御遺影に向かい、お別れの  
言葉を申し上げる事になろうとは、痛恨の極み  
でございます。享年52歳、医師として最も円熟  
の期にあられ、地域の医療界での御活躍を想い  
ます時、誠に残念で申し上げる言葉もございま  
せん。ましてや、奥様をはじめ御家族の皆様方  
のお嘆きは如何ばかりかとお察し申し上げ、衷  
心より哀悼の意を捧げる次第でございます。

先生は、昭和30年5月5日に都城市夏尾町に  
お生まれになり、多感な少年時代を過された後、  
医学の道を志され、昭和55年3月、宮崎医科大学  
を優秀な御成績で御卒業になりました。同年  
4月、宮崎医科大学附属病院内科において実地  
修練を積まれた後、昭和59年5月から東京女子  
医科大学腎臓病総合医療センターを振り出しに、  
宮崎医科大学附属病院泌尿器科、お兄様が開  
業されております海老原内科医院で幾多の研鑽  
を積まれました。

さらに、平成5年12月に、市内丸島町に海老  
原クリニックをご開業になり、以来今日まで、

13年有余の歳月をひたすら医療現場の第一線に  
おいて、昼夜の別なく診療に献身的に従事され、  
地域医療の充実と地域住民の健康福祉の向上発  
展に御尽力いただきました。先生の誠実で飾り  
気のない、そして温かいお人柄は、地域の人々  
にも親しまれ、多くの患者さんから信望を集め  
て、地域に根ざした診療活動を展開され、我々  
医師会員にとりまして、正に範たるものであり  
ました。

一方、診療を離れられました休日にあっては、  
読書、音楽鑑賞を御趣味にしておられ、宮崎医  
科大学では、野球部にも所属されていたとお聞  
きしております。また、先生は全国各地で開催  
されます医学会・講演会にも積極的に御出席さ  
れ、医学の道を深く究めようと自ら研鑽を積ま  
れておられました。

御家庭にありましては、慈しみと優しさをもっ  
て導き育てられました3人の御子息様があられ  
ますが、御長男、史高さんが医学の道を志され  
ておりますので、御成長を楽しみにしておられ  
たことと存じます。草葉の陰からしっかり、御  
見守り、御導きされるものと拝察いたします。

今ここに、先生の御遺影の前に立ちますと、  
誰とでも気さくにお話をしておられたお姿が目  
に浮かびます。

海老原先生、惜別の情つくし得ませんが、こ  
にお別れにあたり、私共会員一同は、永年に  
わたり、地域医療に尽くして来られました先生  
の御功績に対して、衷心より敬意と感謝の念を  
表し、お別れの言葉といたします。

先生、どうぞ安らかに眠りください。

平成 20年 2 月 19日

宮 崎 市 郡 医 師 会

会長 中 村 典 生

## 追 悼 の こ と ば

西都市・西児湯医師会

あり かわ まさ お  
有 川 昌 男 先生

(大正 8 年 6 月 20 日生 88 歳)

弔 辞

本日、ここに故有川昌男先生の告別式が執り行われるに当たり、西都市・西児湯医師会を代表致しまして、先生の御霊に謹んでお別れの言葉を申し上げます。

先生はまだまだお元気で診療に携わられていると思っておりましたところ、平成 20 年 2 月 20 日午後 8 時 9 分、ご逝去されたとの突然の悲報に驚愕し、会員一同、深い悲しみに包まれているところでございます。

会者定離、生者必滅は、世の常とは申しながら、享年 88 歳と 8 か月にして先生は遼遠なる安息の地へと旅立ってしまわれたのであります。

私ども医師会の長老として会員が等しく尊敬申し上げます先生をここに失ったことは、誠に痛恨の極みであり、長寿を全うされたとはいえ、奥様をはじめ、ご親族のみなさまのご心中如何ばかりかとお察し申し上げ、心から哀悼の意を表する次第でございます。

思い起こせば先生は、大正 8 年 6 月 20 日朝鮮の地でこの世に生を享けられ、すぐに宮崎県小林市にご帰還されました。

幼少にしてその才誉れ高く、長ずるにおよび医学の道に志をたてられ長崎医大附属専門学校に進まれ、昭和 1 年 9 月ご卒業になられたのであります。卒業後陸軍軍医として台湾に出征され復員後国立都城病院、県立南浦診療所、小林

町立病院(現 小林市立病院)等で勤務され、昭和 28 年 6 月から新田村立国保直営病院、昭和 35 年 5 月から新田町新富に有川医院を開業され、昭和 54 年、今あるところに移転され現在に至っておられました。

この間、学校医として児童生徒の健康管理、保健指導にも積極的に意を注がれ、平成 5 年には宮崎県教育長から学校医の功績として表彰、平成 8 年には学校医保健功勞として勲五等瑞宝章を受章、また同年には学校保健及び学校安全功勞として文部大臣より表彰される等先生の業績には敬服せずにはおられません。先生の温厚誠実なお人柄は、地域住民の皆様にも敬愛され厚く信望を集めておられました。

また、当医師会におかれましては、昭和 39 年から理事として医師会の発展に寄与されてきました。

今、私ども医師会を取り巻く環境は大きく変革しようとしており、将来への展望が見いだせない状況にあります。

先生、これからは天国で私ども医師会をどうぞお守りください。

有川先生、惜別の情尽くしえませんが、先生の長年のご功績、ご功勞に敬意と感謝を表しつつ、心からご冥福を申し上げ、私ども会員一同微力ながら地域医療の発展に努めることをお誓いし、お別れの言葉と致します。

先生どうぞ安らかにお眠りください。

平成 20 年 2 月 23 日

西都市・西児湯医師会

会長 相 澤 潔

## 追 悼 の こ と ば

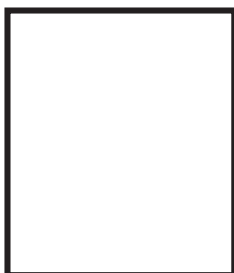
宮 崎 市 郡 医 師 会

ふく だ よういちろう  
福 田 陽 一 郎 先生

(昭和 25年 7 月 24日生 5歳)

弔 辞

本日、ここに故 福田陽一郎先生の告別式が執り行われるにあたり、宮崎市郡医師会を代表して、謹んでお別れの言葉を申し上げます。3月4日午後1時40分、先生がお亡くなりになったと



の、突然の御訃報に接し、にわかには信じられず、会員一同、深い悲しみに包まれております。

今ここに、先生の御遺影に向かい、お別れの言葉を申し上げる事になるうとは、誠に残念、痛恨の極みでございます。

ましてや、奥様をはじめ御家族の皆様方のお嘆きは如何ばかりかとお察し申し上げ、衷心より哀悼の意を捧げる次第でございます。先生は、昭和25年7月24日に鹿児島市にお生まれになり、医師であられた父、純一先生の大きな影響を受けられ、幼い頃から医学の道を志し、昭和4年、ラ・サール高等学校から鹿児島大学医学部に進学されました。

昭和50年3月、鹿児島大学医学部を優秀な成績で御卒業になられた後、同年4月から8年半の間、鹿児島大学医学部附属病院第二内科において幾多の研鑽を積まれ、昭和58年6月、医学博士の学位を授与されました。

先生は、昭和58年10月から国立都城病院、昭和59年10月から宮崎市郡医師会病院でご勤務になられた後、昭和63年1月から父 純一先生が開業されておられました、福田医院をご継承されました。以来今日まで、20年有余の歳月をひたすら医療現場の第一線において、昼夜の別なく

御診療に献身的に従事され、地域医療の充実と地域住民の健康福祉の向上発展に御尽力いただきました。先生の誠実で飾り気のない、そして温かいお人柄は、地域の人々にも親しまれ、多くの患者さんから信望を集めて、地域に根ざした診療活動を展開され、我々医師会員にとりまして、正に範たるものでありました。

また、先生には御診療の傍ら、医師会活動にも積極的に御参加いただきまして、昭和63年から市郡医師会心臓検診委員会委員を現在まで20年、平成58年から平成16年までは、同委員会委員長として、学童心臓検診、健康管理や衛生活動に多大なご貢献をいただいております。また、成人病検診センター心胸部判定委員として1年、宮崎県国民健康保健連合会審査委員として9年など、その他多くの要職を歴任されておられます。

また、御診療を離れられました休日にあつては、音楽鑑賞・読書・パソコンなど、幅広い御趣味をお持ちだったとお聞きしております。

一方、ご家庭におかれましては、2男1女のお子様と2人のお孫さんに恵まれ、良き夫、良き父、良きお爺ちゃんであられました。

今ここに、先生の御遺影の前に立ちますと、人なつっこい笑顔をとたたえて、誰とでも気さくにお話をしておられたお姿が目には浮かびます。

惜別の情つくし得ませんが、私共会員一同は、20年間の永きにわたり、地域医療に尽くして来られました先生の御功績に対して、衷心より敬意と感謝の念を表し、お別れの言葉といたします。福田陽一郎先生、どうぞ安らかに眠りください。

平成 20年 3 月 7 日

宮 崎 市 郡 医 師 会

会長 中 村 典 生

## 追 悼 の こ と ば

都城市北諸県郡医師会

おおしま やす ひろ  
大 島 康 宏 先生

(昭和 5 年 12 月 4 日生 7 歳)

弔 辞

本日ここに、故 大島康宏先生のご葬儀が執り行われるにあたり、先生のご霊前に都城市北諸県郡医師会を代表して心より謹んで、お別れの言葉を申し上げます。

先生は、これまで非常に  
お元気でおられまして、地域医療一筋にご活躍されてこられました。昨年の 12 月に体調を崩され、都城市内の病院にご入院され、心臓疾患の治療をお受けになられておられました。しかし、奥様やご家族の手厚い看護にもかかわらず、去る 3 月 14 日の午前 10 時に先生がご逝去されたとの突然の訃報を受け、一瞬我が耳を疑うと同時に、ただただ驚く他ありませんでした。先生急逝の知らせは、程無く全会員に伝えられ、会員一同、深い悲しみに包まれているところでございます。ましてや、最愛なるご主人様を亡くされた奥様のお悲しみは察するに余りあり、ご遺族の皆様方のご悲嘆(ひたん)も、如何ばかりかと心中をお察し申し上げます。私ども医師会員一同、心より哀悼の意を表する次第でございます。

先生は、昭和 5 年 12 月 4 日、地元都城にお生まれになられ、長じて医学の道を志し、昭和 31 年 3 月に熊本大学医学部をご卒業され、大蔵省印刷局東京病院、国立都城病院にて実地修練をつまれた後、医師としてのスタートをきられました。その後、母校熊本大学の大学院医学研究科に入学、学位を取得され、その後も同大医学部整形外科教室に席を置き、玉井教授の元で研

鑽を積まれました。昭和 3 年から、旧国立療養所霧島病院に勤務され、昭和 41 年、母校の熊本大学医学部に戻り、昭和 42 年に文部教官教育職として講師を、翌年には大学院生の指導教官も務められました。昭和 43 年には、国立都城病院リハビリテーション部長として勤務され、同病院を退職後、昭和 44 年 4 月、都城市吉尾町に大島整形外科医院を開業されました。体調を崩される今日まで、39 年余りの永きにわたり、地域住民の医療、保健、福祉の向上の為に尽力されてこられました。

私ども医師会事業におきまして、昭和 49 年から 8 年間、都城市北諸県郡医師会の理事を、昭和 51 年から 2 年間、宮崎県医師会の理事を歴任、救急医療を担当され、県内の救急医療の充実、発展にご尽力されました。

また一方では、昭和 49 年 4 月から平成 6 年 3 月までの 19 年間の永きにわたり、都城市立沖水小学校及び中学校の学校医として、児童生徒の保健衛生並びに健康管理に精力的に取り組まれました。

これらのご功績に対し、平成 7 年 11 月に学校保健功労として、都城市教育長表彰を受賞されておられます。

また、先生のご功績の中で特筆すべきことは、日本の高度経済成長時代において、軽視されていた労働安全衛生に対する意識がようやく高まり始めた頃、宮崎県において、産業医活動の重要性をいち早く認識され、県内における産業医制度の確立に中心的な役割を果たされたことです。特に当都城医師会と西諸医師会の産業医活動におきましては、部会長を昭和 55 年から 19 年間務められるなど、医師会員の認定産業医の取得に力を入れられ、産業医の発展に尽力されました。先生のこのような活動により、産業医活

動が広く内外に認識され、医師会の重要な活動として認知されるようになりました。労働基準監督署と企業、医師会との間で三者協議会を設立するなど産業医活動の推進にも寄与されました。先生の、このような地道な活動が評価され、都城保健所結核予防審査委員として、地域住民の健康管理、衛生教育を通し、公衆衛生の充実、発展に寄与したとして、平成 10年 11月に公衆衛生事業功労者宮崎県知事表彰を、平成 12年 11月には、同功労者厚生大臣表彰の栄誉を受けられました。

大島先生、昨今の医療技術の進歩は、目をみはるものが有り、皮膚の細胞から様々な臓器や組織に育つ能力を秘めた、新たな万能細胞を作製する研究が進んでいます。その一方で、新型インフルエンザ等の感染症出現の恐怖に怯えていると言う現状も有り、医学が進んでも、まだまだ我々最前線を任されている医師の疾病との

やむなき闘いは、これからもつきの事が無いと思われず。

先生は、既に幽明境^{ゆうめいさいかい}を異^{こと}にされたとはいえ、先生がこれまで、地域医療の発展にご尽力された数々のご功績を、私共医師会員は、決して忘れることなく、先生に学び先生の偉業を継いで地域住民の医療、保健、福祉の発展の為に会員一丸となり、努力することをお誓い申し上げますと共に、先生がこれまで地域医療に捧げられましたご功績に対し、深い尊敬と感謝の念を申しあげます。

最後に、先生のご冥福を心よりお祈り申し上げ、お別れの言葉と致します。

平成 20年 3 月 16日

都城市北諸県郡医師会

会 長 夏 田 康 則

## 追 悼 の こ と ば

南 那 珂 医 師 会  
と や ま せ い や  
外 山 誠 也 先生  
( 昭 和 43年 3月 5日 40歳 )

弔 辞

本日ここに、故 外山誠也先生のご葬儀が執り行われるにあたり、南那珂医師会を代表いたしまして、謹んで哀悼の意を表し、ご霊前にお別れの言葉を申し上げます。

先生は、ご逝去される前日まで診療に従事されておられたとお聞きいたしましたので、この度の突然のご逝去は誠に痛恨の念に絶えず残念で仕方ありません。ましてやご家族ご親族の皆様のご悲嘆は如何ばかりかとお察し申し上げ、医師会員一同衷心より哀悼の意を表する次第でございます。

先生は総会、学校医等の医師会活動には積極的にご参加いただくなどご協力いただき、大変感謝いたしておりました。また、今年の1月の南那珂医師会総会では、活発にご意見やご質問いただく等お元気なお姿を拝見し、頼もしく思っておりましたところでございます。

お聞きするところによりますと、先生は昭和43年3月5日に故外山 衛先生の長男として東京で生をお受けになり、昭和63年3月に宮崎県立宮崎西高等学校を卒業され、その後、平成8年3月には鳥取大学医学部医学科を卒業されておられます。平成8年5月には宮崎医科大学附属病院小児科、平成12年4月には国立病院九州が

んセンター小児科、平成15年1月には宮崎県立日南病院内科等に勤務され、退職後の平成15年6月に外山小児科内科を開業され小児科・内科医として地域医療に多大な貢献をされておられました。

先生は診療の傍ら、南那珂医師会の救急医療対策委員、心臓検診委員会委員、園医部会委員として4年間、同じく裁定委員会の委員として1年間、委員を歴任され、医師会の事業活動にも大変ご協力いただきました。また、学校医として、平成17年9月から油津小学校を2年6か月、平成18年4月から鶴戸中学校を1年間、平成18年4月から潮小学校を1年11か月の間、児童生徒の健康管理と保健予防に献身的に取り組まれ、児童の健やかな成長に多大な役割を果たされました。

一方、ご家庭におかれましては2人のご子息に恵まれて良きお父さんであったことと思えます。

私共医師会員は、先生亡き後、現在の厳しい医療制度の中にあっても、地域住民の健康を守るという原点に立って、日々の診療を行って参りたいと思います。

最後になりましたが、先生の地域医療へのご貢献に対しまして会員一同深甚なる敬意と感謝の言葉を捧げますと共に、心からご冥福をお祈り申し上げます、お別れの言葉と致します。

平成 20年 3月 16日

南 那 珂 医 師 会

会 長 大 井 正 文

## ドクターバンク情報

( 無料職業紹介所 )

平成 20年 3 月 1日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク( 求人・求職等の情報提供 )を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しております。ご覧ください。

### 1 . 求職者登録数 8 人

#### 1 ) 男性医師求職登録数 7 人 ( 人 )

希 望 診 療 科 目	求 職 数	常 勤 ・ 非 常 勤 別
内 科	3	常勤, 非常勤
整 形 外 科	1	非常勤
心 療 内 科	1	非常勤
精 神 科	1	非常勤
健 診	1	非常勤

#### 2 ) 女性医師求職登録数 1 人 ( 人 )

希 望 診 療 科 目	求 職 数	常 勤 ・ 非 常 勤 別
老 健 施 設 , 健 診 等	1	非常勤

### 2 . 斡旋成立件数 23人

#### 1 ) 男性医師 16人 2 ) 女性医師 7 人

### 3 . 求人登録 79件 254人 ( 人 )

募 集 診 療 科 目	求 人 数	常 勤 ・ 非 常 勤 別
内 科	87	常勤( 65), 非常勤( 22)
胃 腸 科	5	常勤( 4 ), 非常勤( 1 )
循 環 器 科	9	常勤( 8 ), 非常勤( 1 )
呼 吸 器 科	4	常勤( 4 )
外 科	25	常勤( 18), 非常勤( 7 )
整 形 外 科	28	常勤( 20), 非常勤( 8 )
産 婦 人 科	3	常勤( 3 )
眼 科	8	常勤( 7 ), 非常勤( 1 )
耳 鼻 咽 喉 科	1	常勤( 1 )
放 射 線 科	7	常勤( 7 )
リハビリテーション科	5	常勤( 4 ), 非常勤( 1 )
脳 神 経 外 科	7	常勤( 6 ), 非常勤( 1 )
神 経 内 科	8	常勤( 7 ), 非常勤( 1 )
精 神 科	16	常勤( 14), 非常勤( 2 )
麻 酔 科	8	常勤( 7 ), 非常勤( 1 )
小 児 科	7	常勤( 7 )
人 工 透 析	1	常勤( 1 )
健 診	4	常勤( 3 ), 非常勤( 1 )
検 診	10	常勤( 2 ), 非常勤( 8 )
小 児 循 環 器 科	1	常勤( 1 )
消 化 器 内 科	7	常勤( 6 ), 非常勤( 1 )
心 療 内 科	1	非常勤( 1 )
そ の 他	2	常勤( 2 )

### 4 . 病医院施設の譲渡・賃貸 譲渡 2 件 賃貸 8 件

## 求 人 登 録 者 ( 公 開 )

求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	医 療 機 関 名	募 集 診 療 科	求人数	常 勤	非常勤
150001	医 明成会 吉松病院	外( 1) 整( 1) 内( 1)	3	3	0
150002	医 再生会 鈴木病院	内( 1)	1	1	0
150004	西都医師会病院	内( 2) 外( 2)	4	4	0
160006	都農町国保病院	内( 2) 整( 1) 放( 1)	4	4	0
160008	医 正立会 黒松病院	内( 2)	2	1	1
160009	財 弘潤会 野崎東病院	麻( 1) 消内( 1) 放( 1)	3	3	0
160010	医 敬和会 戸嶋病院	内( 4) 小( 1)	5	2	3
160011	赤十字血液センター	検診( 6)	6	1	5
160013	医 三晴会 金丸脳神経外科病院	脳( 2) 整( 1) 循( 1) リハ( 1) 放( 1) 神( 1)	7	7	0
160015	医 浩洋会 田中病院	内( 1) 精( 1)	2	2	0
160016	医 望洋会 鯨島病院	精( 2)	2	1	1
160017	医 プレストピア なんば病院	外( 1) 放( 1) 内( 1) 婦( 1)	4	4	0
160018	医 宏仁会 海老原記念病院	内( 1)	1	1	0
160020	財 弘潤会 野崎病院	精( 1) 放( 1)	2	2	0
160021	医 悠生会 吉田病院	精( 1)	1	1	0
160022	医 愛鍼会 山元病院	内( 4) 胃( 2)	6	4	2
160023	医 宏仁会 海老原総合病院	整( 1) 内( 1) 麻( 1) 眼( 1) , 健診( 1)	5	5	0
160024	医 隆徳会 鶴田病院	整( 1) 内( 1) 眼( 1) 放( 1) 耳( 1)	5	5	0
160025	医 養気会 池井病院	内( 1)	1	1	0
160026	医 養気会 老健施設みずほ	老施( 1)	1	1	0
160028	東郷町国保病院	整( 1)	1	1	0
160029	医 橘会 橘病院	整( 2) 内( 1) 麻( 1)	4	4	0
160031	医 同心会 古賀総合病院	精( 2) 内( 3) 循( 1) 麻( 1) 健診( 2) 老施( 1)	10	10	0
160032	医 如月会 若草クリニック	整( 2) 内( 2)	4	2	2
160033	医 如月会 若草病院	精( 1) 内( 1)	2	2	0
160034	医 健寿会 黒木病院	外( 2) 麻( 1) 内( 1)	4	4	0
160037	医 十全会 県南病院	内( 1) 精( 1)	2	2	0
160039	医 誠和会 和田病院	外( 1) 神( 1) 麻( 1) 整( 1) 循( 1) 透( 1)	6	6	0
170042	医 豊栄会 豊栄クリニック	内( 1)	1	1	0
170043	医 和芳会 小林中央眼科	眼( 1)	1	1	0
170044	宮崎社会保険病院	検診( 2)	2	0	2
170045	医 博愛社 佐土原病院	内( 1)	1	1	0
170047	国保中部病院	整( 1) 眼( 1) 内( 1) 神( 1) リハ( 1)	5	5	0

登録番号	医 療 機 関 名	募 集 診 療 科	求人数	常 勤	非常勤
170048	医 )慶明会 けいめい記念病院	内( 2) 眼( 1) 健診( 1)	4	2	2
170049	五ヶ瀬町国保病院	内( 1) 外( 1)	2	2	0
170052	医 )春光会	胃( 2) 外( 2) 内( 2) 整( 2)	8	4	4
170053	医 )尚成会 近間病院	内( 1) 外( 1) 整( 1)	3	0	3
170056	医 )アブラハムクラブ ペテスダ クリニック	循( 2) 内( 1) 呼( 1) 神経( 2) 脳( 1) 小循( 1)	8	8	0
170057	医 )清陵会 隅病院	内( 2) 整( 2) 外( 2)	6	3	3
170058	国立宮崎病院	呼( 2) 麻( 1) 内( 2)	5	5	0
180061	医 )あいクリニック	精神( 1)	1	1	0
180063	美郷町国保南郷診療所	内( 1)	1	1	0
180064	国立都城病院	内( 2)	2	2	0
180065	美郷町国保西郷病院	内( 1) 整( 1)	2	2	0
180066	医 )青隆会 野口脳神経外科	脳( 1) 神( 1)	2	2	0
180067	小林市立市民病院	小( 2)	2	2	0
180068	医 )洋承会 今給黎医院	循( 1)	1	1	0
180069	社 )八日会 大悟病院	精神( 1)	1	1	0
180070	高千穂町国保病院	内( 4) 神( 2) 循( 2) 脳( 2)	10	5	5
180071	串間市民病院	麻( 1) 小( 1) 眼( 1)	3	2	1
180073	医 )牧会 小牧病院	整( 1)	1	1	0
180074	社 )八日会 藤元早鈴病院	小( 3) 婦( 1)	4	4	0
180076	医 )友愛会 園田病院	外( 1) 内( 1)	2	2	0
180077	医 )聖山会 川南病院	内( 1) 外( 1) 整( 2) 小( 1)	5	4	1
180078	医 )三和会 池田病院	内( 1)	1	1	0
180079	医 )仁徳会 渡辺病院	内( 2)	2	1	1
180081	医 )恵心会 永田病院	精神( 1)	1	1	0
180082	国立宮崎東病院	内( 2)	2	2	0
190084	医 )一誠会 新生病院	精神( 2)	2	1	1
190085	医 )恒英会 田上医院	内( 1)	1	1	0
190086	早田病院	内( 1)	1	1	0
190087	宮崎市郡医師会病院	消内( 2)	2	2	0
190088	日之影町国保病院	内( 2) 外( 2) 整( 2)	6	3	3
190089	上田脳神経外科	内( 1) 外( 1) 心内( 1)	3	1	2
190090	特医 )浩然会 内村病院	精( 1)	1	1	0
190091	医 )友愛会 野尻中央病院	整( 1) 内( 1)	2	2	0
190092	都城市郡医師会病院	消内( 2)	2	2	0
190093	社 )八日会 藤元早鈴病院検診センター	検診( 2)	2	1	1
190094	医 )耕和会 迫田病院	内( 4) 整( 3) 外( 3)	10	4	6
190095	医 )慶明会 宮崎中央眼科病院	眼( 2)	2	1	1
190096	医 )晴緑会 宮崎医療センター病院	内( 3) 外( 2) 消内( 2) 小( 2)	9	5	4
200100	医 )育生会 井上病院	婦( 1) 内( 1)	2	2	0

## 病医院施設の譲渡・賃貸

譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

1. 譲渡物件	児湯郡新富町富田 1 丁目 50-1   建物：鉄筋コンクリート一部 2 階建( 築 10 年 ) 面積：1 階 184.04㎡( 55.6坪 ) 2 階 38.48㎡( 11.64坪 )居室 敷地面積：577.5㎡( 駐車場：10 台分 + 1 台分( 院長用 ) 商店街 / 小学校 / 保育園に隣接しております。
	宮崎市大塚台西 1 丁目 38-1   ( 診療所 ) 土地：200坪 建物：鉄筋コンクリート造り 3 階建( 昭和 52 年 4 月：築 30 年 ) 1 階：404㎡ 2 階：384㎡ 3 階：34㎡ 駐車場：7 台 現在使用中の医療機器( レントゲン周辺機器・心電計等 )を含む ( 住 宅 ) 土地：150坪 建物：1 階：145㎡ 2 階：83㎡ 駐車場：2 台
2. 賃貸物件	宮崎市恒久南 1 丁目 9 -15( 三井田内科医院跡 )   建物：鉄筋コンクリート造一部 2 階建( 築 26 年 ) 1 階 138.40㎡, 2 階 54.57㎡ 駐車場：約 6 台分 医療器具等は利用できます。
	日南市園田 2 -2 -5( 診療所跡 )   建物：鉄骨コンクリート造 2 階建 1 階 147.17㎡, 2 階 54.66㎡ 日南市油津で町の中心部です。
	宮崎市曾師町 209-3( 診療所跡 )   建物：鉄筋コンクリート造 2 階建 1 階 183.35㎡, 2 階 166.69㎡ 駐車場：10 台分
	都城市中原町 14 街区 11 号   建物：鉄筋コンクリート造 2 階建( 診療所 ) 1 階 256.27㎡, 2 階 288.38㎡ 駐車場：15 台分
	宮崎市中村西 2 丁目 3 番 19 号   建物：鉄筋コンクリート造一部 3 階建 面積：1 階 89.73㎡( 診療所 ) 2 階 97.96㎡( 住宅 ) 3 階 28.39㎡( 住宅 ) 駐車場：5 台分( 診療所前 ) + 10 台分
	宮崎市矢の先 80 ふくとみ小児科跡 )   建物：鉄筋コンクリート造り 2 階建( 1 階の診療所部分のみ賃貸 ) 面積：1 階 診療所面積 約 42坪 駐車場：12 台駐車可
	都城市鷹尾町 2 丁目 7 -20 塚田小児科跡 )   建物：鉄筋コンクリート造り 2 階建( 築 31 年 ) 面積：1 階 194㎡ 2 階 77㎡ 駐車場：25 台 平成 18 年 3 月閉院
	日向市原町 3 丁目 2-11( 児玉小児科跡 )( 築 8 年 )   面積：診療所( 420.06㎡：127坪 ) 建物：鉄骨造り 2 階建( 294.98㎡：89.38坪 ) 1 階：玄関 , 階段下倉庫( 31.64㎡ ) 駐車場 12 台 2 階：待合室 , 受付 , 診療室 , 処置室 , レントゲン室 , 職員休憩室 , 院長室 , 事務室 , 資料室 , トイレ( 263.34㎡ ) 診療所南側に隣接し借地( 駐車場 600.29㎡ )有 平成 18 年 6 月 30 日閉院 , 各室の必要備品あり

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所( 宮崎県医師協同組合 )

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地( 宮崎県医師会館 1 階 )

0985-23-9100( 代 ) FAX 0985-23-9179 E-mail: isikyou@m-iyazakim ed.or.jp

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 20年 3 月 25日現在

4				月			
1	火	9：00(日医)九州ブロック日医代議員連絡 会議 9：30(日医)日本医師会定例代議員会	16	水			
			17	木			
2	水	9：30(日医)日本医師会定例代議員会 15:00(日医)日本医師会定例総会	18	金	14:00	産業医研修会	社 保 審 査 ↓ 査
			19	土	16:00(熊本)	九医連常任委員会	
4	金	14:30 県精神科医会全理事会 18:00 第1回医師国保理事会 19:00 執行部写真撮影会 19:10 第1回全理事会	20	日	(東京)全医協連広報部会		査 保 審 査 ↓ 査
			21	月	18:30	県内科医会会計監査	
			22	火	19:00 県医定例代議員会 20:30 県医連執行委員会		
5	土		23	水	13:00(東京)全国医師国保組合連合会代表 者会 15:00 支払基金幹事会 19:00 広報委員会		
6	日		24	木	14:00 県認知症高齢者グループホーム連絡 協議会理事会 19:00 産業医部会理事会		
7	月						
8	火	18:00 治験審査委員会 19:00 第2回全理事会	25	金	14:00 産業医研修会		
9	水	19:00 県プライマリ・ケア研究会学術広報 委員会					
10	木	19:00 各専門分科医会長会	26	土	14:30 日産婦宮崎地方部会評議員・県産婦 人科医会全理事合同会議 15:00 県産婦人科医会春期定時総会		
11	金	19:00 県医師会病院部会・医療法人部会合 同理事会					
12	土		27	日			
13	日						
14	月	19:00 医家芸術展第1回世話人会 19:00 広報委員会	28	月			
			29	火	(昭和の日)		
15	火	18:00 医協運営委員会 19:00 県医連常任執行委員会 19:20 第3回全理事会	30	水			
			都合により、変更になることがあります。				

都合により、変更になることがあります。

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 20 年 3 月 25 日現在

5 月			
1	木		16 金
2	金		17 土
3	土	( 憲法記念日 )	16: 45 県外科医会・整形外科医会・ 労災部会合同学会 ( 熊本 ) 九医連常任委員会・定 例委員総会
4	日	( 国民の休日 )	18 日
5	月	( こどもの日 )	19 月
6	火	( 振替休日 )	20 火
7	水		21 水
8	木		22 木
9	金		23 金
10	土		24 土
11	日		25 日
12	月		26 月
13	火	18: 00 治験審査委員会 19: 00 第 1 回常任理事会	27 火
14	水		28 水
15	木	18: 30 医協会計監査	29 木
			30 金
			31 土

都合により、変更になることがあります。

## 医 学 会 ・ 講 演 会

### 日本医師会生涯教育講座認定学会

注：数字は日本医師会生涯教育制度認定単位。当日，参加証を交付。

がん検診＝各種がん検診登録・指定・更新による研修会 太字＝医師会主催・共催  
アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名 称	日 時	場 所 会 費	演 題	そ の 他 ＝ 連絡先
延岡医学会学術講演会(衛星中継講演会) ( 5 単位 )	4 月 2 日(水) 19: 15 ～ 21: 00	ホテルメリージュ延岡	ARBはACEより本当にすぐれているのか - エビデンスからの検証 - 自治医科大学内科学講座循環器内科部門 矢野 裕一郎 ARB史上最大規模のエビデンスから分ること - ONTARGET試験から得られた知見 - 千葉大学大学院医学研究院循環病態医科学教授 小室 一成	共催 延岡医学会 アステラス製薬(株) 日本ベーリンガーインゲルハイム(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎ 0982-21-1300
東洋医学学術講演会・都城講座 ( 3 単位 )	4 月 3 日(木) 19: 00 ～ 21: 00	都城市北諸 県郡医師 会館 2,000円	漢方でアンチエイジング けいめい記念病院東洋医学 研究所長 川越 宏文	主催 都城市北諸県郡医師 会東洋医学会 共催 大杉製薬(株) 後援 都城市北諸県郡医 師会 ☎ 0986-22-0711 都城市北諸県郡薬剤 師会
宮崎G Iフォーラム ( 3 単位 ) がん検診(胃・大腸)	4 月 4 日(金) 18: 45 ～ 20: 35	宮崎観光 ホテル 500円	肥満に対する内視鏡下治療 大分大学第一外科講師 太田 正之	主催 宮崎G Iフォーラム 共催 ゼリア新薬工業(株) ☎ 092-411-1241 後援 宮崎県内科医会
都城市北諸県郡医 師会内科医会学術 講演会 ( 3 単位 )	4 月 4 日(金) 18: 45～	都城ロイヤ ルホテル	うつ病について - 労働者のうつ病 - 東邦大学佐倉医療センター 准教授 黒木 宣夫	主催 都城市北諸県郡医師 会内科医会 共催 ファイザー(株) (連絡先) 都城市北諸県郡医師会 ☎ 0986-22-0711
日向市東臼杵郡医 師会心臓検診講演 会 ( 3 単位 )	4 月 4 日(金) 19: 00 ～ 21: 00	ホテルベル フォート日向	学校心臓検診と心臓突然死予防 鹿児島医療センター小児科部長 吉永 正夫	主催 日向市東臼杵郡医師 会心臓検診班 後援 日向市東臼杵郡医 師会 ☎ 0982-52-0222

名 称	日 時	場 会 所 費	演 題	そ の 他 = 連絡先
第 6 回宮崎皮膚疾患研究会 ( 3 単位 )	4 月 5 日(土) 18: 15 ~ 19: 30	宮崎観光 ホテル	メラノーマの診断と治療: 最近の知 見と話題 信州大学医学部皮膚科学講座 教授 齋田 俊明	共催 日本皮膚科学会宮崎 地方会 宮崎県皮膚科医会 第一三共(株) ☎ 0985-23-5710
第 14 回宮崎県泌尿 器科医会 ( 3 単位 )	4 月 10 日(木) 19: 00~	宮日会館	小児泌尿器科外来 宮崎大学医学部泌尿器科 上村 敏雄	主催 宮崎県泌尿器科医会 ( 連絡先 ) 宮崎大学医学部泌尿 器科 ☎ 0985-85-2968
延岡内科医会総会 及び講演会 ( 3 単位 )	4 月 11 日(金) 18: 30 ~ 20: 30	ホテルメリ ーージュ延岡	JIKEI HEART Study から得られた ARB の有用性 東京慈恵会医科大学附属柏病院 循環器内科教授 清水 光行	共催 延岡内科医会 ノバルティスファ ーマ(株) 後援 延岡医学会 ( 連絡先 ) 延岡市医師会 ☎ 0982-21-1300
南那珂医師会生涯 教育医学会 ( 5 単位 )	4 月 17 日(木) 18: 30 ~ 20: 00	南那珂 医師会館	保険診療における随証治療 - エキス 製剤の漢方医学的運用のために - 宮崎県医師会東洋医会長 井上 博水	共催 南那珂医師会 ☎ 0987-23-3411 (株)ツムラ
第 42 回宮崎県核医 学研究会 ( 3 単位 )	4 月 18 日(金) 18: 30 ~ 20: 30	M R T - m i c c 500 円	メタストロン治療の現況( 仮 ) 東京医科大学病院放射線科 講師 吉村 真奈	共催 宮崎県核医学研究会 日本メジフィジッ クス(株) ☎ 099-805-2005
第 5 回宮崎がん疼 痛治療懇話会学術 講演会 ( 3 単位 )	4 月 19 日(土) 16: 00 ~ 18: 00	宮崎観光 ホテル 500 円 ( 学生無料 )	がん疼痛に対する薬物治療の現状と その限界 兵庫医科大学病院ペインクリ ニック部・緩和ケア部長 村川 和重	共催 宮崎がん疼痛治療懇 話会 大日本住友製薬(株) ☎ 0985-29-5855
宮崎腰部脊柱管狭 窄症フォーラム 2008 ( 3 単位 )	4 月 19 日(土) 16: 30 ~ 18: 30	宮崎観光 ホテル 1,000 円	腰部脊柱管狭窄症の治療戦略 宮崎大学医学部整形外科助教 濱中 秀昭 宮崎県腰部脊柱管狭窄症実態調査報告 宮崎市郡整形外科医会長 川野 啓一郎 腰部の病態と治療 - 新しい概念と戦略 - 福島県立医科大学副理事長・ 附属病院長 菊地 臣一	共催 宮崎県整形外科医会 宮崎県臨床整形外科 医会 宮崎大学整形外科 ☎ 0985-85-0986 後援 宮崎県医師会

名 称	日 時	場 所 会 費	演 題	そ の 他 = 連絡先
第 26回宮崎血液研 究会 ( 3 単位 )	4 月 19日(土) 17: 00 ~ 19: 00	ホテルJAL シティ宮崎 1,000円 ( コメディカ ル・学生無料 )	血液形態学の基本 長崎大学大学院医歯薬学 総合研究科原研内科教授 朝長 万左男	共催 宮崎血液研究会 大日本住友製薬(株) ☎ 0985-29-5855
第 4 回循環器症例 検討会 ( 3 単位 )	4 月 21日(月) 19: 00~	県立宮崎 病院	症例検討	共催 循環器症例検討会 第一三共(株) ☎ 0985-23-6495
第 30回江南医療連 携の会・症例検討 会 ( 3 単位 )	4 月 24日(木) 19: 00 ~ 20: 30	宮崎社会保 険病院 100円	上腕動脈損傷 2 例の経験 宮崎社会保険病院形成外科医員 檉山 和也 200年後期における肝・胆・膵手術 症例について 同病院外科部長 秦 洋一 脊髄出血の 5 症例: M R I による経時 的变化 同病院健康管理センター長 杜若 陽祐 嚥下性肺炎と嚥下機能評価 同病院内科主任部長 松尾 剛志	共催 江南医療連携の会 エーザイ(株) ☎ 0120-855-082 ( 宮崎社会保険病院 内 )
宮崎医師漢方研究 会 ( 3 単位 )	4 月 28日(月) 18: 30 ~ 20: 30	宮崎観光 ホテル 2,000円	勿誤薬室「方函」「口訣」の解説 日本東洋医学会評議員・ 専門医制度指導医 木下 恒雄	共催 医師漢方研究会 (株)ソムラ ☎ 0985-28-9663 後援 宮崎市郡医師会
第 6 回宮崎緑内障 セミナー ( 3 単位 )	5 月 10日(土) 18: 30 ~ 21: 00	ホテルJAL シティ宮崎 2,000円	緑内障のEBM 現在の視点 東京大学大学院医学系研究科 外科学専攻眼科学講師 富所 敦男 分子遺伝学的に緑内障性視神経症 ( G O N ) を斬れるか? 東北大学医学系研究科神経感覚 器病態学講座眼科視覚学分野 准教授 布施 昇男	主催 宮崎緑内障研究会 共催 ファイザー(株) ( 連絡先 ) 尾崎眼科 ☎ 0982-52-5600

名 称	日 時	場 会 所 費	演 題	そ の 他 = 連絡先
宮崎県内科医会総 会並びに学術講演 会 ( 5 単位 )	6 月 14日(土) 16: 00 ~ 19: 00	宮崎観光 ホテル	心房細動に出合った 心臓血管研究所付属病院 研究本部長 山下 武志 糖尿病神経障害の診断と治療 - 神経 障害の多彩な症状を見逃さないため の注意点 - 東京医科大学内科学第三講座 教授 小田原 雅人	共催 宮崎県内科医会 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118 小野薬品工業(株)
第 85回宮崎県腹部 超音波懇話会 ( 3 単位 )	6 月 20日(金) 19: 00 ~ 20: 30	ホテル マリックス 1,000円	心エコーについて( 仮 ) 川崎医科大学循環器内科心血管 画像解析室長 渡邊 望	共催 宮崎県腹部超音波懇 話会 大日本住友製薬(株) ☎ 0985-29-5855

## ● ● ● 読者の広場 ● ● ●

## 読者からの投書 1

九州医師会連合会第 2 回各種協議会の記事を読みました。アップデートな課題に日医及び各県医師会の代表が活発に議論し、非常に有意義な協議会であると感じました。この中の介護保険協議会において、療養病床の転換について触れており、本県では「……確保する新規介護ベッド枠 1,645床へ誘導し…」とあります。中々困難が予想されますが、介護療養型老健施設要件も決まりましたので、県医師会は会員サイドに立ち県と折衝していただきたいと思います。

（平成 20年 3 月 14日 K 生）

## 読者からの投書 2

この 4 月から保険点数の改定があり、またしても医療費削減という名の医師いじめが行われようとしています。

最近の世間でのマスメディアの風潮では、医師不足などが今頃になって取り上げられています。しかしながら、過酷な労働条件の中で、患者さんにはいつも笑顔で接しているにもかかわらず、それに見合った収入を得られないような職業に魅力はなくなってしまったように感じられます。唯一の救いは、無過失補償制度でしょうか？

今回の号は、保険改定と無過失補償制度の話題が掲載されており、興味をひかれました。激動の世の中を生きてゆくために、必要な情報を得られたことに感謝します。

無過失補償制度について、もっと詳細な情報がほしいと思います。機会、紙面の余裕があれば、再度特集などを組んでいただきたく思います。

（平成 20年 3 月 16日 M 生）

## 広報委員会からの回答

日州医事では、読者の皆様からのご意見をお待ちしております。医政に関すること、診療報酬改定に関すること、なんでも結構ですのでご投稿下さい。宮崎県医師会広報委員会は、皆様のご意見を今後の企画、運営に生かして活動して参ります。

4 月号より診療メモのレイアウトを変更し、見開き 2 ページでの掲載としました。皆さんお気づきになったでしょうか？今までは、ページを切り取って保存できるようにとの考えで 1 枚の裏表に印刷してミシン目を入れていました。今後もいろいろな工夫をして参りますので、ご意見をお願い申し上げます。

## 3 月のベストセラー

1	サイモンの災難	茅 田 砂 胡	中央公論新社
2	きょうの猫村さん 3	ほ し よ り こ	マガジンハウス
3	ぼく, オタリーマン。3	よ し た に	中 経 出 版
4	夢をかなえるゾウ	水 野 敬 也	飛 鳥 新 社
5	おひとりさまの老後	上 野 千 鶴 子	法 研
6	ホームレス中学生	田 村 裕	ワニブックス
7	女性の品格	坂 東 眞 理 子	P H P 研 究 所
8	公務員クビノ論	中 野 雅 至	朝 日 新 聞 社
9	零崎曲識の人間人間	西 尾 維 新	講 談 社
10	ジーン・ワルツ	海 堂 尊	新 潮 社

宮脇書店本店調べ  
提供：宮崎店(宮崎市青葉町)  
☎ (0985) 23-7077

## お知らせ

宮崎県医師会勤務医住宅ローン  
の融資利率の改定について

標記の件につきましては、下記のとおり改定されましたので、  
お知らせいたします。

## 1. 改定内容

融資利率

区 分	改 定 後	現 行	改 定 幅
変動金利型	年 2.15%	年 2.55%	- 0.40%

## 2. 実施日

平成 20 年 4 月 1 日以降の新規貸出実行分より適用。

## お 知 ら せ

## 入会時負担金の変更について

宮崎県医師会入会時負担金賦課規程「第 2 条」の一部改正が下記のとおりなされましたのでお知らせいたします。

* 同一の病院又は診療所内における会員区分が異動の場合及び父子孫配偶者兄弟姉妹継承の場合の改正がなされました。

## 記

第 1 条 変更なし

第 2 条 B 会員が ,A 会員となる場合は第 1 条の入会時負担金を納めなければならない。  
但し , 同一の病院又は診療所内における会員区分が異動の場合は次のとおりとする。

- 1 管理継承者で , 自ら病院・医院 ( 診療所 ) を管理する場合 ( 相続継承者でない者が A 会員となるもの )  
1 0 0 , 0 0 0 円
- 2 親子及び配偶者等相続継承者が A 会員となる場合  
5 0 , 0 0 0 円

本規程 ( 第 2 条 ) は , 平成 20 年 4 月 1 日改正施行とする。

## 診療メモ

# 宮大病院橋通歯科口腔外科クリニック

### 設立経過

橋通クリニックは、宮崎大学医学部附属病院・歯科口腔外科のサテライトとして発足しました。国立大学法人として、一つの診療科がサテライトを開設するのは全国で初めての試みです。私たちは、宮崎医科大学の歯科口腔外科として開設された時点から紹介制を取り入れており、現代風に言えば病診連携を推進する態度で診療に従事しています。開設以来、開業医の先生方といろいろな話をする中で、紹介しようと思うけど清武は遠すぎて患者が嫌がるとの意見を多くいただきました。また、サテライト構想について、宮崎県歯科医師会からも「本県及び地域住民に対する歯科医療の中核として、歯科医療技術の向上を図るためにも是非、開設計画を実現してもらいたい」との要望書をいただきました。そこで、患者の利便性を考慮し、附属病院と同じ治療が身近な環境で提供でき、かつ地域医療に貢献することができればとの考えで、市内はもちろん、県南県北の人たちが公共交通期間を利用して受診しやすい場所として宮崎市内に診療所を設立しました。

### 診療科目

歯科、歯科口腔外科、矯正歯科で、原則として紹介された患者を診療します。特徴的な事項としては、デンタルCT撮影装置を導入しましたので、顎骨病変を中心にして短時間での画像診断が可能となり、多くの開業医の先生方に日常臨床において利用して頂けると確信しており、顎顔面口腔領域の画像診断センターであると自負しております。

診療内容は、1) 抜歯(埋伏歯など)、2) 顎骨病変の小外科、3) 歯科インプラントおよびその前外科処置等の日帰り手術、4) 原因不明の

顎顔面痛、5) デンタルCT撮影などによる口腔領域の画像診断、6) 口唇裂、口蓋裂あるいは顎変形に伴う矯正歯科の相談、7) 口腔粘膜疾患、8) 顎口腔領域のよろず相談、などが挙げられます。

### その他の活動

当クリニック開設の目的の一つとして、歯科・医科の先生方と病診連携の精神のもとで分担して診療を行い、地域医療に少しでも貢献することです。したがって、紹介された患者は、当科の主治医が診療を行い、あるいは紹介された開業医の先生と共同で診療し、一緒に必要な日帰り手術を行います。したがって開業医の先生方には開かれた医療施設であるとも言え、そのような施設として利用して頂きたいと考えております。さらに、歯科医を対象とした歯科インプラントや小外科手術などのライブオペや講演会を開催して、より良い治療法の開発、改良および普及に努力し、地域医療水準の向上に少しでも貢献できることを医局員一同願っております。

### 問題点

当クリニック開設に当たって、育成医療、厚生医療の手続きは可能でしたが、本院で可能な顎変形症の手術前後の矯正治療・顎口腔機能診断料、先進医療の顎堤造成による歯科インプラント治療、および卒後研修医医療施設などは施設基準の点からできませんでした。今後の課題として解決しようと思います。

### 診療日

当クリニックの正式名称は、『宮崎大学医学部附属病院歯科口腔外科橋通りクリニック』ですが、通称名『宮大病院橋通歯科口腔外科クリニック』で診療活動を行います。診療日は図1に示します。院長は講師の鹿嶋光司ですが

図 2 に示すように診療要員として医局員を派遣します。

おわりに

当クリニックは、上記のような主旨で開設しました。消化器官の入り口でもある口腔器官のあらゆる疾病を、病診連携のもとで診療を担当し、このことにより地域医療に貢献し、

かつ医療水準の向上にも貢献したいと願っております。今後とも先生方の信頼を得て、口腔疾患を有する人たちの紹介をして頂けるよう努力します。

( 宮崎大学医学部附属病院歯科口腔外科

迫田 隅男 )

図 1 宮大病院橋通歯科口腔外科クリニック

住 所：880-8586 宮崎市橋通西 3-10-32  
ボンベルタ橋東館 8 階  
診療日：月・火・水・金・土曜日  
午前 10: 00~ 12: 00  
午後 13: 15~ 19: 00  
休診日：木曜日、日曜・祝祭日  
電話・FAX：0985-65-6480  
院長：鹿 嶋 光 司

図 2 おもな派遣医局員

月曜	井川加織 ( 助教 )
火曜	井川加織 ( 助教 ) / 石村公子 / 吉田真穂 ( 医員 )
水曜	井川加織 ( 助教 ) / 石村公子 / 吉田真穂 ( 医員 )
金曜	迫田隅男 ( 教授 ) , 濱砂 友 ( 助教 )
院長の鹿嶋光司は原則として常駐しております。	

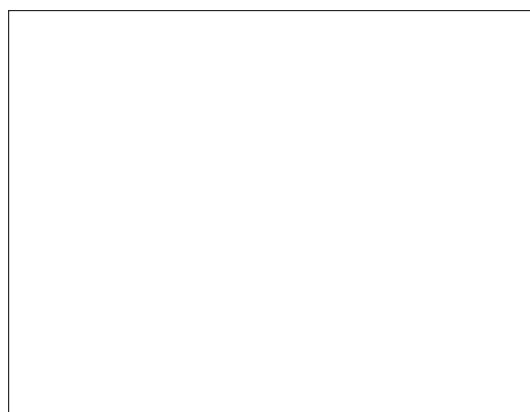
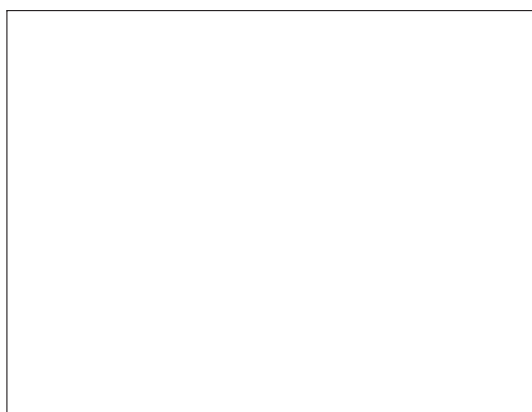


写真 1 処置室と循環動態監視装置および笑気鎮静装置

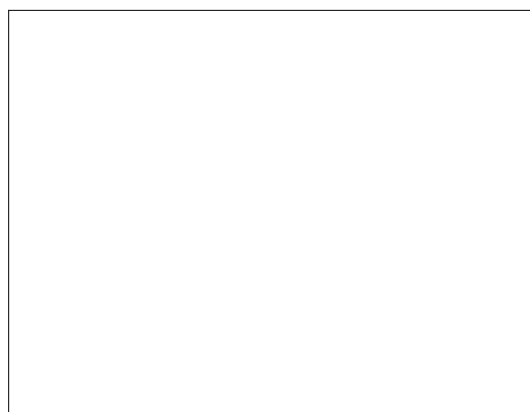
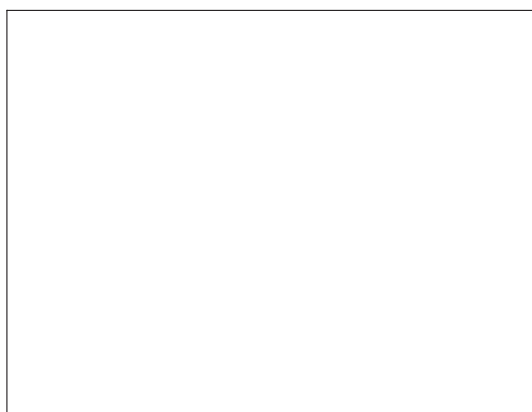


写真 2 デンタル CT 撮影装置と撮影位置決め

## おしえて！ドクター 健康耳寄り相談室

M R T ラジオ

毎週土曜日 午前 11 時 20 分 ~ 11 時 30 分 放送

漢方薬・漢方医学に対する 3 つの  
誤解 その 3 : 漢方薬には即効性はない？

(平成 20 年 2 月 2 日放送)

東洋医学会 井 上 博 水

一般によく言われることに「漢方薬は身体の中からジワジワ効いてくる」とか、「漢方薬は、すぐには効かない」という言葉がある。

この 3 つの誤解シリーズの、「その 2」で触れたように、漢方医学的診断により、随証治療を行うと、必ずしも、そうとばかりは言えない。

慢性疾患については、東西両医学ともに治療に長期間を要するのは勿論であるが、風邪などの急性疾患には、体質・体力に合わせた適正な処方を選ぶことにより、驚くほどの即効性を発揮することがある。

例えば風邪薬として有名な「葛根湯」があるが、本当は風邪薬ではなく、「肩こりの薬」で、「風邪にも使う薬」である。葛根湯の漢方医学的使い方に 3 つのキマリ(診断基準)がある。第 1 は発病 2 ~ 3 日目までの罹患初期。第 2 は発病の頃から肩こりが強くなること。第 3 は体力がしっかりしていること。華奢な人や虚弱な人には使えない。この 3 つのキマリに当てはまれば、風邪だけでなく、水様性の下痢や蕁麻疹にも葛根湯は、即効性を発揮する。

骨セメント注入で圧迫骨折の  
痛みを軽減

(平成 20 年 2 月 9 日放送)

放射線科医会 榮 建 文

骨粗鬆症の患者さんは、胸腰椎移行部に圧迫骨折を来しやすい。椎体の圧迫骨折により起立動作や歩行ができなくなり、著しく生活の質が低下する。通常の圧迫骨折の治療では数週間の安静を要するが、高齢者の長期入院は筋力低下や認知症を併発する可能性があり、可能な限り、早期の社会復帰が望まれる。早期に疼痛を緩和して入院期間を短縮する方法のひとつとして、骨セメント注入療法(経皮的椎体形成術)が有効であると考えている。

その治療法だが、治療装置の寝台に腹臥位とし、局所麻酔下で X 線透視や CT 装置を用いながら病変に針を刺し、骨折部に骨セメントを注入するというインターベンションである。治療後の数時間は安静が必要だが、翌日には歩行可能となるケースが大部分である。入院期間も 3 日程度のことがほとんどあり、早い社会復帰が可能となる治療法である。なお、この治療法は骨転移の痛みに対しても効果がある。

宮崎大学附属病院では放射線科で治療を行っている。

## 眼瞼下垂について

(平成 20年 2 月 16日放送)

眼科医会 中 馬 秀 樹

眼瞼下垂は、文字通り、まぶたが正常位置より下にさがってしまう状態である。視界を遮ってしまうだけでなく、眼精疲労、頭痛や頭重感の原因になる。眼瞼下垂の多くは眼瞼挙筋腱の伸展によりおこり、最も多い原因は、加齢性である。一般的に筋肉自体の働きは正常である。治療は、眼瞼挙筋腱短縮術となる。手術は、局所麻酔で、時間は一時間弱である。視界が広がった、頭が軽くなったと喜ばれる方が多いようである。

最近増加しているのは、コンタクトレンズ長期装用者に生じる眼瞼下垂である。原因は、加齢性のものと同じで、眼瞼挙筋腱の伸展にあるが、30代から 40代と、すこし発症年齢が低い。その他、重症筋無力症や、動眼神経麻痺なども時折みられる。

眼瞼下垂に似た病気で、眼瞼痙攣もみられる。原因は不明である。自覚症状は、羞明、眼を開いているのがつらい、眼乾燥感、といったものが多い。治療は、ボトックス注射である。自覚症状の改善が得られる。

## 狭 心 症 の 診 断

(平成 20年 2 月 23日放送)

県内科医会 野 崎 勝 宏

外来で初対面の患者様に、既往歴のことをきくと時々「狭心症」という診断を聞くことがある。しかし、患者様から「胸痛」の話をよくきいてみると、どうも冠動脈疾患由来の症状とは違う病気が疑われることを経験する。

一般に外来で出来る検査として、安静時心電図検査があるが、症状が治まった後で心電図をとっても、狭心症の所見は数分で消失しており、よっぽど大きな発作の後でないで安静時心電図のみから狭心症の診断をすることは不可能である。しかし、詳細な問診をするだけで、狭心症かどうか、動脈硬化性が冠攣縮性か、安定性が不安定性かの診断が 7 ~ 8 割は可能であり、次の正しい検査や処置を決めることが出来る。そして、処方も患者背景などに適したオーダーメイド処方が必要である。そのためにも、ぜひとも、「胸痛」という症状がでたときは、一度は循環器内科医を受診すること勧めていただきたい。

### 今後の放送予定

平成 20年 4 月 19日(土)	県 医 師 会	稲 倉 正 孝
4 月 26日(土)	小 児 科 医 会	高 山 修 二
5 月 3 日(土)	外 科 医 会	倉 元 光 明
5 月 10日(土)	泌 尿 器 科 医 会	井 上 勝 己

## お知らせ

県医師会から各都市医師会へ送付しました文書についてご案内いたします。詳細につきましては、会員専用ホームページをご覧ください。所属都市医師会へお問い合わせください。

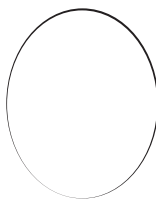
送付日	文 書 名	備 考
3 月 3 日	・ 広告が可能な医師の専門性に関する資格名等について     ・ 第十五改正日本薬局方の一部改正について     ・ 医療機器の保険適用について     ・ 使用薬剤の薬価( 薬価基準 )等の一部改正について     ・ 検査料の点数の取扱いについて	
3 月 4 日	・ 「薬価算定の基準について」の通知について     ・ 「保険医療機関又は保険薬局に係る光ディスク等を用いた費用の請求等に関する取扱いについて」の通知について	
3 月 5 日	・ 「全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議」資料の送付について	
3 月 6 日	・ 日本医師会の退会日における会員資格の取扱いについて	
3 月 7 日	・ 労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令及び特定化学物質障害予防規則等の一部を改正する省令等の施行等について( ホルムアルデヒド ,1,3-ブタジエン及び硫酸ジエチルに係る健康障害防止対策関係 )	
3 月 10日	・ 診療科名の標榜方法の見直しに関するホームページについて     ・ 医師免許証申請等について	
3 月 12日	・ 「病原微生物検出情報」, 「病原微生物検出情報( 普及版 )」の送付について     ・ 心とからだの健康づくり運動( T H P )の研修案内等の送付について     ・ 医療機関等からの医薬品又は医療機器に係る副作用等報告の電子報告の方法の変更について     ・ 新医薬品等の再審査結果 平成 19年度( その 4 )について	

送付日	文 書 名	備 考
3 月 14日	・老人保健法の廃止にともなう健康診査対象者について	
3 月 26日	・指定介護療養型医療施設における療養病床環境減算の平成 20年 4 月以降の取扱いに関する事務連絡について( 情報提供 )     ・がん診療連携拠点病院の整備について     ・厚生労働省「第 2 回特定健康診査及び特定保健指導のアウトソーシング先実態調査結果」の送付について     ・厚生労働省「介護事業経営実態調査」に関する協力依頼について	

○ 期間中の感染症・食中毒情報( № 2446- 2460)

あなたできますか？（解答）

1	2	3	4	5	6	7	8
b	b	d	a	e	e	c ,e	a ,d



今年 4 月の実施を予定していた全国初の取組みである宮崎市のコミュニティ税は、まだ市民に十分に周知されていない、使い道や評価方法が明らかにされていない等の理由により、導入が 1 年延期されました。一方、この日州医事 4 月号が皆様のお手元に届くころには、すでに後期高齢者医療保険制度や特定健診・特定保健指導がスタートしていることになります。これらの制度については、テレビや新聞、

自治体の広報誌などで取り上げられてはいるものの、一体、どのくらいの国民が理解し、納得しているのでしょうか。

私事ですが、ひょんなことから 4 年前に医師会広報委員になりました。初めは毎月届けられる膨大な原稿を目の前にただ必死で校正作業を行いました。目まぐるしく変化する医療制度の原稿には苦労しましたし、それまでなじみのなかった医師会の各種会議や委員会の報告は難しく感じました。その中で、会員の皆様から送られてくる随筆、旅行記、短歌、川柳などはとても楽しく拝見し、お会いしたことのない先生方のお人柄を想像し、親しみを感じたりもしました。少し慣れてくると、医療を取り巻く問題の多さに改めて考えさせられました。私たちは与えられた問題に対してただ受け身の対応をしていくだけではなく、自ら行動を起こしていかなければいけないと思うようになりました。

裏表紙に書かれている広報委員のメンバーでの仕事は今号で終わりです。これまで原稿を書いてくださった方々、いろいろとご教示いただいた方々、ご意見やご感想をいただいた方々すべてに感謝申し上げますとともに、これからも日州医事が会員の皆様のお役に立ち、親しまれる雑誌であることを願っています。(荒木早)

* * *

春、到来。庭のキンモクセイも次々と新芽を出し、冬の間コツコツと準備していたものを一気に爆発させるかと思うとその力に驚かされます。20 年前に滞在したカナダでは 5 月に新緑と開花が一度に訪れ、雪からの開放とともに自然の美しさと強さになお一層感動した事を思い出します。この 4 月、医療界では後期高齢者医療制度、特定健診等が始まります。患者に対する思いは保ちながら、いろいろな改革・変化に対応する努力が迫られているようです。(比嘉)

* * *

転職、異動時期となりました。私が勤務する病院もさまざまな方々が、退職、異動となり、4 月からの新体制に不安と期待を感じるこのごろです。かく言う私も転職が決まり、送るほうばかりでなく、送られる側も同様に不安と期待がないまぜとなった不安定な気持ちになることが理解できました。また、広報委員も交代致します。2 期 4 年間勤めさせていただきましたが、勉強になることが多く、また委員の皆様方とも楽しく交流させていただき、有り難く思っております。これからは原稿を投稿する側になるでしょう。宜しく願い致します。(林)

* * *

お彼岸に因んだウンチクをひとつ。ぼたもち(牡丹餅)は春の彼岸に、おはぎ(御萩)は秋の彼岸にお供えるもの(まあこれは常識レベル)。ぼたもちはこしあんでおはぎが粒あんというのは、かつて秋はとれたての柔らかい小豆を皮ごとつぶしてつぶあんに、春は小豆が硬くなっているため皮を取り除いてこしあんにしていたことに由来(中級?)。夏は夜船、冬は北窓という呼び方があり、お餅と違い杵でつかないことから、つきしらずが着きしらずとなり夜船、月知らずとなり北窓となったとか(上級?)。ホント日本語って深いですね。(和田)

広報委員を仰せつかって、はや 6 年が経ちました。この 4 月号を皆様に送り出して無事に私も卒業が来るそうです。日州医事には、医師会活動の記録誌として、医療情勢の広報誌として、会員相互の交流の場として、様々な目的をもった活字が並んでいます。読者にとっても受け取り方は様々でしょうが、医師会と会員との間を取持つ機関紙として一方通行にならないように、皆様からのご投稿お待ちしております。(森)

* * *

昨年の夏から気象学の勉強を始めました。1 月の気象予報士試験、学科試験は辛うじてクリアしたものの、実技試験はぜんぜん出来ず、おっこちました。高層天気図や衛星画像等の資料をよみ、天気図の概況を分析したり、今後の変化を考えるのが実技試験です。気象学のかんりの部分を、物理と数学が占めています。ネットで日々のレーダー画像や天気図を眺めつつ、テキストで気体の状態方程式などを確かめながら、練習問題に取組む受験生です。

(荒木康)

* * *

今は 3 月末、この日州医事が届く 4 月にはどのような混乱が待ちかまえているのか、それとも杞憂に終わるのか...

県医師会執行部の改選とともに、4 月から広報委員会の構成も大きく変わります。森委員長をはじめ、今まで委員を務めていただいた先生方には、多くの時間を県医広報活動に費やしていただき本当に感謝いたします。同時に、新しいメンバーによる新しい日州医事に期待しています。(富田)

## 今 月 の ト ピ ッ ク ス

### 心・いのちを考える お茶の間作文コンクール

宮崎県医師会新会館落成記念企画として、募集いたしました中から受賞作品を2月号から3か月にわたって掲載いたしました。今回は銅賞を受賞された3名の作品をご紹介します。

➡ 19ページ

### 都道府県医師会廃棄物担当理事連絡協議会

医療廃棄物の管理について、医療機関は排出業者責任が問われる為、業者にまかせっきりではいけません。マニフェストの管理等につきまして各県での取り組みを紹介。

➡ 44ページ

### 診療メモ 宮大病院橘通歯科口腔外科クリニック

本年1月より、ボンベルタ橘東館8階に開設された宮大病院橘通歯科口腔外科クリニックについて、その開設趣旨や活動内容を宮大歯科口腔外科教授迫田先生にご紹介して頂きました。全国でも初めての試みだそうです、確かに患者さんの利便性を考えると有難い事です。ご一読ください。

➡ 82ページ

日 州 医 事 第 704号 (平成 20年 4 号) (毎月 1 回 10日発行)

発行人 社団法人 宮 崎 県 医 師 会

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10番地 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550

<http://www.miyazakimed.or.jp/> E-mail: office@miyazakimed.or.jp

代表者 稲 倉 正 孝

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 森 継則・副委員長 荒木 康彦

委 員 山内 励, 長嶺 元久, 津守伸一郎, 川野啓一郎

比嘉 昭彦, 林 透, 和田 俊朗

担当副会長 富田 雄二・担 当 理 事 荒木 早苗, 済陽 英道

事 務 局 学術広報課 久永 夏樹, 小川 道隆

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円 (但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)